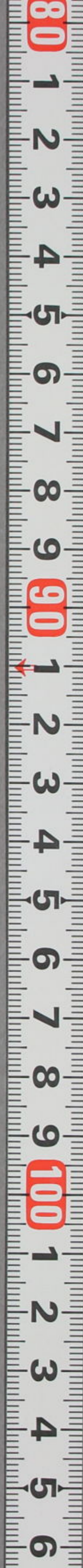


唐
國字辨

律詩排律





唐詩國字辨卷之三

五言律

五言律ハ七言律ヨリカタユニ作リヨイ方キヤ皆知テイル通リ破題領聯頸聯結
句ト云フカアル領聯テハ上ノ句ヲ承テ云ヒ頸聯テハ轉ニテユクフキヤサリナガラ始
終ノ命脉ガツカ子ハナラヌ今ノ詩人ノ詩ヲ見ルニ唐詩ナトノ中カラ一二字ツ切テ作ルニ間ハ
ヨイ句モアレ氏命脉カツカヌニヤクニタヌ是ヲ合点ノ字フガヨイ三體詩ナトモ云テアル如ク
色々ノ名カ有テムツカシイナレ上ノ手ニ成テハ此ノヤウナハハイラヌ初心ノ内ノキヤ上ノ手ハ其
中ニ自然ニソナワツテイル初メハ能ク守テ破題テハ景ニ對シ或ハ事ヲ引テ起リ或ハ題ニ就テ起
破題トハ題ヲセツパスルフキヤ次ノ領聯テハ上ノ句ヲ承テ云ヒ次ノ頸聯テハ轉ニテ云フ未ノ二句ヲ結句
ト云題ニ就テ結ヒ或ハ前聯ノ意ヲ繼ス兎角一ヘンノ命脉ノツマクカヨイ去リナカラ唯ナニナク平地ヲ
ミルヤツテハヨクナイ其中ニハ山モアリ川モナケレハ風景カ面白クナイ領聯テハ上ヲ承テ頸聯テハ轉ニ
テ云タカヨイ○排律ハ四句ツマシテアル隨分長イガ十二句ト四句キヤ排ハ行列ヲ立並ヘタ如クテ
アル五言體カラ一體タテモノデザンキヲ作タ如クザンキバカリデハスマヌカザリカナケレハナラヌ
ニ色々ノ文字ヲツカフフキヤ中テタルムヤウナフカアルツコムリニ句ヲ置タ分デハ前後ノ
ツリ合ガワルイ能クツリアイヲアジテ作ルフユヘ故事ナドヲ引用ユルフキヤスレハ學問モ
ナケレハナラヌ先ツ四句ツ全篇ノツリ合ヲスルフデ長句上意ニ短フ變スルハヨクナイ是ヲ
合点スレハ四六對ナドモカケル四六ヲ書ク筆テナケレバ排律ハ作ラヌ前ニモ云タ如ク句カラヨ
リモツリアイガ大切デ字眼ガアルコレニアル皆ドレモ手本ニナルヨイ詩デアル

野望

野外ヘ出テワコラヲ望ミ見テ作ル王績ハ隋ノ末
ノ者デ亂世フユヘヨリ処モナイヤウスヲ云フ

王績

東臯薄暮望徙倚欲何依

東臯ハ王績カフヲ東臯子ト云タフカアレ氏コメテ
ハ東方ノヲカ山ト云ニナル○暮方只ヒトリ東方ノヲ

カ山へキテ人家モナイ野外ヲノゾミヨリ処モナク徒倚ハ徘徊ノ
貞デアラリトシテイル上ノ句ヲウケテ欲何依ノ三字字眼ナリ

落暉 常サヘモノサヒシイ野原ナルニ山々ハ秋ノ気色ヲ
催シタガケノ体モノアワレニ思ハル遠ヲ望ムヲ云 牧人驅犢返獵馬帶禽歸

近ヲミレハ合ニナルユゴガイノ牛ヲ先立テ返モアリ獵人ハ馬
ノクラニケタモノヲクハリ付テ歸ル近付テモナケレハ頼ミナラヌ 相顧無相識長歌懷

采薇 詩ヲ作り長歌スルニツイテ古伯夷力無道ヲ悲シテ采薇ノ詩ヲ歌フタト同シチヤト云
テ言外ニ亂世ヲカ
ナシムカ知レル

從軍行 樂府題デ人ノ軍ニ從テユク
ヲミテキ前ノ不遇ヲ憤ル

烽火照西京心中自不平 牙璋辭鳳闕鐵騎繞龍城
イニ思テ心 牙璋辭鳳闕鐵騎繞龍城 牙ハ將軍ノ旂ナリ璋ハワリフナリノソコ
中ノ不平 牙璋辭鳳闕鐵騎繞龍城 牙ハ將軍ノ旂ナリ璋ハワリフナリノソコ

辭都ヲ出テ邊塞ヘユキツクト鐵騎ノヨロイ 雪暗凋旗畫風多雜鼓聲
キタ武者カ龍城ヲ二重三重ニトリマウス 雪暗凋旗畫風多雜鼓聲 フルニ

莫旗ヲ立ナラテ軍ヲスルユモヤウナドモシボシタヤウニナリ邊塞ハ風モ強イニヨリ
人數ヲカケヒキスル太鼓ノ声ト風ノ音カヒトツニキスル此レ軍兵ノ寒苦ノヤウスヲ云フ 寧爲

百夫長勝作一書生 千夫長方夫長ト云ガアルニヨリ百夫ノ長ト云ハ小頭グライ
ノチヤコノマヌナガラモ寧ワズカナ百夫長ニナル此ノ方

杜少府之任蜀州 杜少府ハ官テ蜀役人ニ
任セラレテ行ヲ送別スルナリ 王勃

城闕輔三秦風烟望五津 城闕ト云ハ禁裡ノ一闕ノ字ヲ付タハ蜀要害ノヨイ処
子ハナラヌ玄宗蜀ヘ落サセラレテヨリ後蜀ヲ南京ト云タモノユハ闕ノ字ヲツケタ三秦ト云ハ

項羽ガ時ニ關中ヲ三分シ置タカアルユハ三秦ト云テ長安ノ都ノニナルノ輔ト云ハ漢ノ時ニ
有タデ都ノニナカニ京兆院ト云テ町奉行ガ立テアル三里モ西里モ隔テ東ノ方ニ左衛門云ガ

所カラ人ヲ出シテ相互ニ救ヒ合ニヨリ輔ト云ノサテ其元ノユカル蜀ノ城闕ニツイテハ都ノ難儀ナ
時ハ三秦ノ輔トナル処テ大切ナテアル又風景ハ南ノ方五津ヨリ南蠻ノ夷ノ地ヘツイテ時々

ハ夷氏ノサワギ出ス処テ大切ノ処ナレハ其 與君離別意同是宦遊人
元ノヤウナオノスグレタ人デナケレバナラヌ 與君離別意同是宦遊人 ヲギヤウサニ

云ヒ立ルカ其人ノオヲホメルニナル○今君ト離別ノワケナゴリヲシト云ハ吾モヲナタモ共ニ官遊
ノ身ノヲ今此都テ其元ニ別レテ來年ハ吾モドコノ國ヘ追ヒヤラセウモシレヌナレハ再ニ逢フ

海内存知己天涯若比鄰 去リナガラ互ニ心ヲシリ合タ知ニト云モハ海内
リガタイ 海内存知己天涯若比鄰 四海ノ内トコニイテモ志レズニ心ニ存シ天涯ノ

天ノハテニ居ヤム此 無爲在岐路兒女共沾巾 無爲ハ公ニキナト云フ能ク思フニ
鄰ニイル同前テアル 無爲在岐路兒女共沾巾 ル別レキワ岐路ニシテ女兒ノ

如ク沾巾ナゲクト云ハムエキナフチヤ心サヘカワラ子ハ天涯ヲヘダテモトナリト同前チヤ去リナカ
ラコハ男ナキチヤ別レユク人ト送ル人ト共ニ沾巾ナゲクテアル

五事

題次樂鄉縣

南方ニアリ。是ハ訓解ノ註ヨクナシ。征ノ字カアルニ從軍ノ一ニ見タソウデナイ。亂後ノ体ヲ云。前此ノ處ニ來テミ

タトハチガイガアルト云フヲ作ル

陳子昂

故鄉杳無際日暮且孤征

今此ノ樂鄉縣ノ近處ニキテ故鄉ヲフリ歸テミレハ杳然ト遙ニ限リモナイヲチヤヒトリ旅ノコトニハ

方マテホツク宿ヘツクマデハ行カズナラヌ物ウイフチヤ

川原迷舊國道路入邊城

マカタ此ノ處ニキテミタトハ何モカモナガイ。舊國

コレモトガフタアレモチカフタト思ハ別レテ心ボソイ。迷ノ字ニ非ノ字ヲコメテ非舊國ト云フテ

アルノツレコリノ路ノカタワラノ山城ナドノアル處ヲ通テミレハ是ハ少シ昔ニカワラス存レテアル

野戍荒烟斷深山古木平

野戍ノ番手ノ居處ナドモ荒レバテ人カゲモナイ段々ノク山ヲ見レハ古木ノ枝ナドカミツ平ヲニ揃テ見ユル

如何此時恨噉噉夜猿鳴

只サハ悲イニ此ノ時ノ恨噉噉タトカミスレクツラメシゲニ猿ノ鳴ヲキイテハドモ堪ヘラヌデアル

春夜別友人

銀燭吐青烟金尊對綺筵

夜酒モリノコトニ銀燭ナドヲ以テ飾タリツハナ燭燭ヲ立トボスノナレハ烟リモコク吐キ金尊ノカミナナ

離堂思琴瑟別路繞山川

サテ今夜離堂ノ別レノサレキニキツレク琴瑟ヲシヤ

明月隱高樹長河沒曉天

明月ノ隱高樹ノ長河ノ沒曉天ノ

悠悠洛陽去此會在何年

悠悠ノ洛陽ノ去此ノ會ニ在何年ノ

送別崔著作東征

金天方肅殺白露始專征

金天ハ秋天ノコトデカタイ文字ナレ下ノ白露ト對スルニハヨイ。金天秋物ヲ鳴ヌ殺伐ノ時ニ乘シテ征伐ス

王師非樂戰之子慎佳兵

王師ノ非樂戰ノ子ノ慎佳兵ノ

海氣侵南鄙邊風掃北平

海氣ノ侵南鄙ノ邊風ノ掃北平ノ

歸邊麟閣名

盧龍塞ノタリテヨイクライニコニラヘトヤレソレヲウリツケテ都ヘカエ

蓬萊三殿侍宴奉敕咏終南山

杜審言

御酒宴カ有テ審言モ御供ニ侍ニテ終南山ト云題ヲ作リマセイト勅ニヨツテツクル

北斗挂城邊南山倚殿前

長安ハ北斗星ノ真下ニ當

雲漂金闕迥樹杪玉堂懸

雲ノ漂金闕ノ迥樹ノ杪玉堂ノ懸

ヨリミレバ金闕カ遙ニ雲ノハツレニ見ヘテ玉堂ハ大抵天子ノゴサナサレル処ヲ云時ニコノミテハ終南山ノ上ニアル山神堂ヲ云トミヘルソウモレテミ子バツリ合カワルクナル南山ノ頂ノ樹杪ヲソチコレト山神堂カ高ク懸テミヘル半嶺通佳氣中峯繞瑞烟御所ノ佳氣カ南山ノ嶺マデ通シトイハル中峯ノマシナカコロミテ天子ノ目出度イ瑞烟ガヒキメ
グツテ 小臣持獻壽長此戴堯天小臣壽ヲ獻シイワフテイツマテモ長ク堯ノ如ク御世ニツクテテリタイモノト君ヲ思ハ身ヲ思
ト云辨ヲツケテミ
レバヨクシレル

和晉陵陸丞早春遊望早春ノ遊望ト云ガサキノ題ニノ晉陵ハ南方ノ陸氏ノ者ナリ

獨有宦遊人偏驚物候新春ハ面白イハツナルニ吾モソナクモヒトリ官遊ノ人バカリニ偏ニ節物氣候ノ新ニウツリ替リアラタニ驚マデアル

雲霞出海曙梅柳度江春コトニ南國ニキテイルコトハ朝ノ雲ヤ霞ガ少シ赤フミヘルト云ニ海ヨリ日ノ出ルガミヘル梅柳ナドニハマダ花ノサカスジ

南國百花盛リ見ナレヌ早春ハ都デハ花ハサカスニルト云ハ見タノモナイ梅ナドモ早春ハ都デハ花ハサカスニ

淑氣催黃鳥晴光轉綠蘋淑氣ノアタカナキカ黨ナドヲ催促ヒテナカセ○春ノ初ノコトニウキ草モハナナルニ晴光ノ日ノカゲガキラウツルデアル轉ノ字デ浮草ノアラト云カシレル

忽聞歌古調歸思欲沾巾其元ノスケレタ古調ノ中ニ故郷カコイシイト云ガ作テアルヲミテ吾モ忽チ故郷ヘカエリタラ成テ欲沾巾

和康五望月有懷康氏カ望月有懷ト云題ノ和ナリ

明月高秋迥愁人獨夜看秋ノツラノ高クスミワタリタルニ月カ高クカハリテ遙ニミハ只サハ月ハモノ哀レナリ懷マール愁人カ獨リミルユハ除カ

暫將弓並曲翻與扇俱團將ノ字兼ノ字與ノ字皆同意テ前後ノ文字ヲ結デアル○此比七八日ノ間弓張月テ有タガ早ヤ十五

夜三成夕團露濯清輝苦風飄素影寒露ガレツホリト下リ清輝ノ月ガサエ扇ノ形ニ成タ露濯清輝苦風飄素影寒

羅衣一此鑒頓使別離難羅衣一此鑒頓使別離難

送崔融崔融カ從軍シテ書記ニニクヲ送ルト見ヘル

君王行出將書記遠從征此時分天子ノ御出陣ト云フハナカツタ親王方カ諸侯

祖帳連河關軍麾動洛城祖帳連河關軍麾動洛城

祖帳連河關軍麾動洛城祖帳連河關軍麾動洛城

祖帳連河關軍麾動洛城祖帳連河關軍麾動洛城

祖帳連河關軍麾動洛城祖帳連河關軍麾動洛城

祖帳連河關軍麾動洛城祖帳連河關軍麾動洛城

祖帳連河關軍麾動洛城祖帳連河關軍麾動洛城

祖帳連河關軍麾動洛城祖帳連河關軍麾動洛城

祖帳連河關軍麾動洛城祖帳連河關軍麾動洛城

祖帳連河關軍麾動洛城祖帳連河關軍麾動洛城

邊聲

此二句邊塞ノ景ヲ思イヤツテ云。朝旌旗ヲ立テ朝氣ノ北風ノ寒イニモダシセズニ立ツラニ置夜モスガヲ固ナレヌ胡笳ノ哀ノ聲ナドヲキカレタナラバサソカナシイフデアラフ

坐覺烟塵掃秋風古北平

其元ノヤウナスグレタ人ノユカル、ユニ邊塞ノ烟塵ニモ坐ナガラ掃イヅム。胡人ニトラレタ北平郡モ秋ノ時分ハナリカヘサ

ルテ
アラフ

扈從登封途中作

宋之問

高祖ノ時秦山ニ封禪ノアリシニ扈從シテ途中ノ御休足所ヲ作ルナリ

帳殿鬱崔嵬仙遊實壯哉
崔嵬ハ高ク鬱然トシテモリトシタ中

帳殿カアル天子ノ出行ノアル処帷帳ヲ以テ宮殿ヲ設ルナリ
今ヤカヤウニ天子ノサカニ仙遊ナサルハ實壯哉トイフデアアル

曉雲連幕捲夜火雜星

山ニ登レハハツロク夜ガアケテクルナリ帳殿ノ幕ハツテアル処カラレラニクナリ雲ト幕トヲ一ツニマクヤウニアルマダクライユハ松明ヲ持テユクガ甚タ高イ処ニ登ルニヨリ星ト雜リ一ツニナリ同ルヤウ

見谷暗千旗出山鳴萬乘來

谷アイノ暗イ処ヲ大勢御供ヲツレウチハヤレナレガコタニヒキ山モ鳴リワタル漢ノ武帝ノ時山呼ヲ

歲云々タフガアル

扈遊良可賦終之授天才

カクノ如クノ仙遊ニ扈從スルト云ハ珍ラシイフデ良可賦ハ楊雄如キ授天才ノオガ

之イユハ天子ノ御目通りヘ召出サレハヤウナハナイト云テ実ハ楊雄ニモヲトフヌオデアアルト云フナヤ

送沙門弘景道俊玄莊還荊州應制

此三人ハ天子ノ歸依僧デアアル

一乘歸淨域萬騎餞通莊

三人ノ高僧タチカ一ツ車ニ乘テ蜀ノ方清淨ノ地ヲ尋子ユカルニツイテ天子カラ仰付ラレ萬騎ノ大勢ヲ通莊ノ

錢スルタル

就日離亭近彌天別路長

別レル処モ天子ノ御近処ヲ遙三天ノハテカラハテマテラシワタレニアアル処ヘ遠クユカルギ

ナレハ別路

荆南旋杖鉢渭北限津梁

南方蜀ノ地荆南ノアタリヲ杖鉢ヲタケラシ濟度セラレテアラフガ今都渭北ノ方ニテ

梁ハ渭北ニ船ヲタシ難所カアルユヘトリ合テ云

何日紆眞果還來入帝鄉
何レノ日カ紆眞果還來入帝鄉ニ修行成就

シタイモノチヤの眞果禪証ナリ

長寧公主東莊侍宴

李嶠

長寧公主ハ中宗ノ姫宮ヲ揚慎ト云モ

別業臨青甸鳴鑾降紫雲
サテ此別業ニテミハ東方都

ハツノ野原ガ一面ニ三ノ青ハ東方ノ色テ東郊ナリノカヤウニ景色ノヨイ

長筵鵝鷺集仙管

鳳凰調

去ル程ニ公主ノサシキノ長筵ニ百官百五カ鵝鷺集ニヨツテ順ニナラフノ調ハ和調ノフテ調テ

カ故事ヲ引テ公主御夫婦中ヨク

樹接南山近煙含北渚遙

ヒロミカラ樹木カ終南山ヲテ引ツバイナルマ

天子ニ御馳走申ト云フニナル

承恩咸已醉戀賞未還鑣
皆御酒宴ニ

立見ヘル見ワタスルノ風景トイハ北渚ニテ

承恩咸已醉戀賞未還鑣
皆御酒宴ニ

ヲ舍ニメテアルヤウニ至極ヨイ景色ニナル

承恩咸已醉戀賞未還鑣
皆御酒宴ニ

五律

五律

テテ酒ニ酔テイル曼レ公主ヘノイサツテ皆酒ニ酔テ座敷ノ風景ニ
ミホレ天子ヘ御歸リラス、ムルモノナク天子モ御忘レサレテコサルヲ云

恩敕麗正殿書院賜宴應制得林字

開元十二年玄宗麗正
殿ヲ置テ文學ノ士ヲ

聚メ修書侍講シ其外テ御酒宴ニツカリ詩ヲ作りセシ
ト詔アツテ作ルニツイテ切リ韻テ林ノ字ヲエタモノナリヤ

張說

東壁圖書府西園翰墨林

東壁ニ星ハ文籍ヲ主ル星テ天下ノ圖書ガイレテアル今
麗正書院ニライテモ東壁ト同シテ大切ノ圖書ヲ入

レヲカル外ヤ其外ノ翰墨ニ達者ナオ人カ林ノ如ク
集テイル翰墨林トイハオ人々大勢集テイルニナル
誦詩聞國政講易見天心
セテ風俗ヲアラタムルヲオキナサレ或ハ
易ヲ講セサセテ天ノ思召考ヘラル、位竊和羹重恩叨醉酒深
ヨト有テ天下ノ政ヲオラハント云フガアルコトハ重位ノニナル吾カ如キ不オナモ今和羹ノ重イ位ヲウ
ケテアルト云モノハ及ヒモナイ、テアル如此ノ御恩ヲウケテ御酒宴ヲタハルト云アリガタイ、ナヤ、位
恩ト云字折用タモノヲ
詩經ノ文字テアル 載歌春興曲情竭爲知音
如此ハハカラス情ヲツクシテ申上ル知音ハ音樂ニツイタ
一ナレ氏天子ノ詩ニ巧ナト云フニナルナリ

還至端州驛前與高六別處

嶺南ヨリ端州ノ驛ニ歸ルニツイ
テ前ニ高六ト別レシ地ニテ高

六ハ死セシヲ思ヒ出シ
舊館分江口凄然望落暉
端州ノ驛ニキテミテ此分江ノホトリノ館
テ昔ニ高六ト別レタ外ノアルト思ヒ出シタ

日カキモ凄然トシテノミトナク良ヲミシ高六ト
此處ニ別レル時分ニ相互ニ禮義ヲセシガ
相逢傳旅食臨別換征衣
旅食トハ儀禮
ニマフテ互ニキテイタウワキノヤウナモ
ノヲ重テ出逢レシニ取テテミ別カ
昔記山川是今傷人代非
吾今此ノ外ニ歸ルニミ
ハ昔ニカソラスモノ

ハ山川ハカリヤ人代ハ非ナ
眞モ死テ今ハ跡カタモナ
往來皆此路生死不同歸
別レル時分ニモ今ノ歸ルニモ此
路ヲ通ル、ナルカ高六ハ死

レ歸フ同フセヌハ
ザン子シテアル

幽州夜飲

幽州ハ北方ノ地ナリ大將ナ
ト成テイタモノトミル

涼風吹夜雨蕭瑟動寒林
時分カラ秋ノ、ニ涼風カ夜雨ヲ吹キ寒林ヲ
動シ風ナル音ガ蕭瑟トモノサビシクキコヘル
正有
高

堂宴能忘遲暮心

上ノ句ヲウケテサビシイニツケテ皆カトリハヤレテ高堂ニ酒宴ヲ催
慰メテクレラルレ氏此ノ年モ未ニ成タヨト思ヒ出シテ忘レカ子ル、遲

暮ハ月日ノクレユク、ナレ氏年ノヨル
マデコヤウニ志シラエヌト云意アル
軍中宜劔舞塞上重笳音
軍中ノ、ニ常
ニテササムト云ニモ
劔舞ナトラスル吹キモノトイハ人カ動ミスル筈ヲ
フタカ何レモ都ニチイ、ニ馳走ミスレ氏却テ悲フナル
不作邊城將誰知恩遇深
此
ヤウニ邊塞ニ來テ人ニモテハヤサルト云モノハ天子ノ御恩ノ深イニチヤ邊塞ノ大將ニ成テミ、ハ
トスラリト云テ置ヤウナレ氏能ク氣ヲツケテ見ルカヨイ涼風蕭瑟ト都ヨリモノサビシク劔舞胡笳
ナトモ面白カフヲモテ都ノ音樂トハイコフチカフヲモテナ
天子ノ御前テ御酒宴ニツカルヤウナモノデハナイト云心也

宿雲門寺閣

山門ニ登テ宿スルナリ

孫逖

香閣東山下烟花象外幽

雲門寺ハ東山下ノ一段高イ処ニアル烟花ノコトヲアタリノ風景モ人間世トナリ格別靜カニシタカクナリ

千ヤ象外ハ人懸燈千嶂夕卷幔五湖秋

日クレテアラフミハ山寺ノコトニ高ク燈ナドカ懸テアルノ夕ノ字ト夜ノ字ト同シ

畫壁餘鴻雁紗窗宿斗牛

壁ニカイトテアル畫ニ古ク成テ所々ニ雁ナドカニ羽殘テアル紗窗ノモチ

更疑天路近夢與白雲遊

上ノ句テ斗牛ノ間近クミユルハ更ニ上天ヘ上ル路モチカイヤクニ疑ハレ

夢ニ白雲ノスヘイテ白雲ト共ニアソビダヤウニ思ハル

幸蜀西至劔門

玄宗ノ蜀カラ歸リガケノ詩トミル

玄宗皇帝

劔閣橫雲峻鑾輿出狩回

劔閣山ハワト雲ニ横テ峻ク天子ノコトニ鑾輿ヲメクラシ出狩ノ回ル出狩ハ天子ノ他國ヘ出ル春秋以來出狩ト云フ

翠屏千仞合丹嶂五丁開

道ノ左右ヲミルニ屏風ヲ立タ如ク千仞ノ山カワキ連ツテミル切リ通シノ道ノ西カワハ丹嶂ニ昔シ五人ノ力カガ切

灌木紫旗轉仙雲拂馬來

樹木ノ間ダラ旗ヲタテガリ轉シテ御通リナサラルニヨリ木末ニ旗カ

乘時方在德嗟爾勸銘才

今ニ時ニ乘ジテ天下ヲ治ムルト云ハ方ニ德ニ

在ル義チヤト嗟嘆シ孟陽ガオヲオホメナサルニテアル

塞下曲

樂府題ナリ

李白

塞虜乘秋下天兵出漢家

秋ハ馬モ速者ナニツイテ塞虜ノエビスモ秋ニ乘レテ都ノ方ヘ攻メ下ル都ハ北狄ノ地ヨリヒタイユヘ下ルト云スニテ

將軍分虎竹戰士臥龍沙

漢制ニ銅虎符竹使符ト云アル共ニワリフテ平生ハ竹使符ヲ用ユルワリ

邊月隨弓影胡霜拂劍花

夜モスガラ急度子ズ弓矢ヲトリ劍ヲヌキミシテイルニ

玉關殊未入少婦莫長嗟

ツテイルユヘ玉關ニ入ルガナラヌニテ都ニ歸ルト云フハ思ヒ切テイルニヨツテ

都ニイル女庄モ思ヒ切テ泣キヨイ婦人段デハナイ

秋思

景色ニツイテ閨怨ヲ云フ

燕支黃葉落妾望自登臺

時分カラ秋ノコトニ吾カ夫ノイル燕支山アタリモスノ葉モ紅葉シ散タデアラフト思ニツイテ益ナクナ

海上碧雲斷單于秋色來

吾カ夫ノイル方ハアソコカト海上ヲ望メ庄一向ニ何ノ別チモナク碧雲ガ斷

テ北狄單于ノ方カラ秋色ノ物サヒ
レイ気カ見ヘテ唯遠イノテアル
コノゴモ都カライタ御使カ王爾
カラ升キハ通リカ子テ歸冬泰
ルクレタラ夫ノ婦ラスウチニ顔色モ催ケ表ヘヤウガダカワ
レイ丁キヤ。蕙草ハ婦人ノ顔色ノナリ

送友人

青山橫北郭白水遶東城
今別レル場カ北方ヲミレハ青山ガ北郭ノ
方ニヨコタワリ白水ガ東城ヲメグリ流ル此地

一為別孤蓬萬里征
蓬ハ草ノ根ナク風ニ隨テ飄轉スルナリ。今此処ヨリ別ルニ
ツイテハ蓬ノ風ニ吹キチラサルガ如ク萬里ヲツレモナク獨リユカル

浮雲遊子意落日故人情
遊子ハ居処ヲ定メヌ人其元ノ心ヲ思ヒヤル萬里ヲ獨リ
ユカレドモ落着ト云フモノナク浮雲ノ如クナレバサゾモ

揮手自茲去蕭蕭班馬鳴
ノガナレイフデアラフ此地ニ止テイル我モ落着ノ
日クレ方ニ其元ノ心ヲ思ヒ出シテヲルデアラフ

馬班左傳ノ文字テ東西ニ乘リ別ル馬ノ悲ミヲ云テ人ノ悲ヲフクマセテ置ナリ

送友人入蜀

見說蠶叢路崎嶇不易行
見說ハ只見ルト云ギナリ蠶叢最ト云ハ黃帝ノ子テ蜀
開イタ人ナリ蠶叢トイハ蜀ノフニナル其元ノユカルハ

棧道男ノ路入りロニ劍閣山ナド云テサガレイ山ガアルフレラ
ユカルフナレハサキカツカエテ不易行処ヲ通ラレデアラフ
生山ハツト高ク白巖ノサキカラ起リ
雲ナドモムラクト馬ノ前カラ立ノボル
芳樹籠秦棧春流遶蜀城
道スカラノ風
ノ兩ワキニウエテアル芳樹ニ花カ咲テ覆ヒカリ其下タ
春ノアタカナ水カ流ルヲ見ナラ行ルナラガ面カラ
人ノ仕合不仕合ハ前カラ定テイル必ズ疑ヲ起
シテト者ノ君平ナド問ハルニ又ギト存スル

秋登宣城謝眺北樓

江城如畫裏山曉望晴空
謝眺ハ名高イ詩人テ眺カ北樓
殘テアルニ登リ思出シテ作ル

朝日水ニサシシテクル時分
ニハ別レテ晴切テ見ナリ
兩水夾明鏡雙橋落彩
虹宛溪白溪ノ兩水ガ宣城ノ
テミル落ト云ハ水ニウツラフニモ水ノ上テヒクミルヤウナ意ニミル

人烟寒橘柚秋色
ハサス如クキラク見ヘ兩水ニカケテアル橋ガ虹ノ如クツツテ水中ニウツラフ

老梧桐人烟ハ人家ノヤウス楚ノ地夷ノ近処テ人家モバヲナト云フカ寒ノ字テキコル橘柚ハ青
モ落テ物サヒシイ気色ヤ

誰念北樓上臨風懷謝公
秋モ未ニ成タニ梧桐ノ葉
コノウチノ風景ヲミルニツタテ
モ古ノ謝眺カ如キ詩人ナリ

謝公ヲミタイ思テイルト誰モモ気カツクマイトミソケデアアル

臨洞庭

岳陽樓三登り洞庭ヲ
見ラロレテ作ル

孟浩然

八月湖水平、涵虛混太清。

八月、只湖水カ一面ニ湛ヘテ、ツ平ラニ成テアル。湖水、コト外廣ク、太清ニ混シテ、マイニミル。太清、天ノ清キ

氣、蒸雲夢澤、波撼岳陽城。

朝日ナトノ出ル時分、楚ノ七澤ノ内、雲夢ノ下カラ、水カミ、上リ、大波ガ起テ、岳陽樓ノ石垣ニウチツケル。

欲濟無舟楫、端居恥聖明。

書經ニ、若濟、巨川、用、汝、作、舟、楫。ト云。ガアル。濟トハ、天下ヲ治ルナリ。舟楫ハ、天下ヲ治ルオ。ナリ。

吾人ツ天下ヲ治メテ、ミタイト思ヘ、舟楫トナルオカナイユ。ニ御當代ノ聖明ニ恥シテ、端居ト

ツ、クリト手ヲコマ、マイテ、ナニモセズニ居ル。實ハ、吾モ舟楫ノオアレ、今ノ天子、カクライヌ。我カ器

量ガ知レヌト、坐觀無釣者、徒有羨魚情。

董仲舒カ策ニ、臨淵羨魚、不如退而結網。トアル。吾モイナカラツリヲタル、

題義公禪房

義公習禪寂、結宇依空林。

此ノ義公ト云。人ハ坐禪ズギテ、習禪寂、ヒキコンテ、イラニ、菴室ニライテ、ハ、空林ノ人カゲモナイ。林ヲヨダテ、ニトリ

作テ、戶外一峰秀、階前衆壑深。

景色モヨイ。処テ、座鋪ノ戸ヲヒラクト、マ向一、峯カ高ク秀イデ、ミル。下タミレハ、谷々カ、

カク連ツテ、夕陽連雨足、空翠落庭陰。

ニリフシタ、立カフソテ、通ルカ、雨ノア、レ、雲、ノ中、ニズキタツテ、ミル。水カ、古、向カ、茂テ、ナリト

ナク家ハ影カサレシ、コシ、テ、ラ、グ、ラ、ク、見ユル、

都取蓮花淨、方知不染心。

庭ノ池ニ蓮花ノキヲ、ラカニ咲テ、アルヲ、ミテ、義公ノ心モ世俗ニソ

マヌ清淨ナト、云フヲ知タ

終南山

王維

太乙近天都、連山到海隅。

終南山一名太乙山ト云。此ノ山ニライテハ、甚タ高ク、天帝ノ御座ニ近イト云テ、都ニ近イト云。終南山ヨリ、ツギキニ

ツラナツテ、小山、凡ガ四海ノ隅々ニテ、連リアル

白雲迴望、合青靄入看無。

今、テ、向ノ峯ガ、ミ、タガチ、ヨツト、照目ヲスルヲ、白雲カ、合シテ、

面ナリ、山ヲ遠クヨリ、ミレハ、一面ニ青々トミ

分野中峰變、陰晴衆壑殊。

山ノ上モ、廣大、ナリ、ニ、八、宿

ノ分野モ、中峯ニ變シ、分テアル。谷アイヲ見ヲロセハ、或ハ曇テ、小雨ナトガフリ、或ハ晴レ、切テアル。谷モアル。是ニテ、山ノ大キナヤウスヲ云テ、下ノ二句ヲサナリヲ云

宿隔水問樵夫。

トコ、ゾ、人家ニ宿シ、タイト思フヲリカラ、谷水ヲ隔テ、向ニ木ヨリ、ガイルユヘ、コ、ラ、ニ、家ハアル、イカト、リ、タイ、モノ、子ヤト、問イカケルテアル

過香積寺

不知香積寺、數里入雲峯。

香積寺カアルトハ、キケ、ヒ、ツイニ來テ、ニ、ヌ、ニ、知ラヌ、白雲ノカ、ツタ、峯ヲ、ロケテ、數里、山ヲ、クニ入

無人還深山、何處鐘。

古木ノ三生ハ、茂テ、人還モ、ナイニ、ツイテ、是ハ、香積寺、ズ、ナリ、ソウ、ナト、心、ボソク、成タリ、フ、レ、ス、ツト、山ノ、奥ノ、方ニ、遠ク、鐘ノ、音ガ、スルニ

ヨツテコレハ思テ行テ

泉聲咽危石 日色冷青松

寺ニ至リツイテノ景ナリ。サスガ寺ホ下有テ寺マワリノ洞泉

ナドノサラト危石ニ咽ニテ流ル。景色イカサ。物ヅカナナチヤ。危石トハ石ノ出張テ高ク成テアル云山ヲクノユヘタ日影モ青々トシテ松ノ間ニシコム物スサシタサトニユル

寺暮

空潭曲安禪制毒龍

水ギワニツリト坐禪ヲシテ居ハ吾ガ心中ノ毒龍ヲ制伏シ

出マヤツテアル

登辨覺寺

寺ハトコニアル知レヌ

竹逕從初地 蓮峰出化城

初地ハ入り口ノ義ニテ入リ口ハ竹ヤブデ其竹藪ヲワケ入レハ思ヒモヨラヌ又ニ寺ガアル。化城寺ノ思ヨラヌ

天地カラ寺ガ出現シテ

窓中三楚盡 林外九江平

窓ノ向ニハ楚國ノハテカラハテガ盡テ三ハ林ヲウチコシテ洞庭九江ガ

面ニミユル

嫩艸承趺坐 長松響梵聲

嫩艸ハワカ艸ノ上ニツクリト心ヨク趺坐シテイハ長松ノ間ニ御經ヲヨム声カヒ

ビキ聞

空居法雲外 觀世得無生

浮世ヲハナレテ空居法雲ノ外ニ無常ヲ觀シテイハ無生法恐ヲエタカト思ハル。維摩

經是天女所願具足得無生法恐云ヲ引用ユ

送平淡然判官

軍ニ從テ行ヲ送ルナリ

不識陽關路 新從定遠侯

後漢ノ班超出テ西域ヲ征ス五十余國ヲ安集シ定遠侯ニ封セラシメ今始テ定遠侯ノ頭ヲ役ニ隨テ西域ノ

傍ラ出口ノ陽關ノ路ヲモシラス行カルナレハ

黃雲斷春色 畫角起邊愁

段々邊地ニ赴カルニ隨イ空ヲモハレヤラス春モタヘテ物サヒシ

イ道中テアラフ其上ヘキナレ又笛ノ声ナドヲキカレタナラハ心細イテ有フ

瀚海經年別 交河出塞流

西域ノ瀚海アタリハ甚タ遠イナレハ

分流ニテ塞ヲ出テ流ルヲミテ通ラル時分ハサククタレラルデアアラフ

須令外國使

知飲月支頭

邊塞ヘ行カレテ胡人尼ガ使ヲコシテアルナラハ昔シ漢ノ時月支王カ首ヲ切

レ必ス氣ヲナフヲセラルナ。匈奴カ月支王ヲ切テ首ヲ飲器ニ作タ故事ヲ用ユ

送劉司直赴安西

絕域陽關道 胡沙與塞塵

中國カラ絶ヘ切タ西域安西ノカタワラニ行カルニツイテハ陽關ノ道スガハ胡國ノ地ハ渺々トシタ沙ハラテア

三春時有雁 萬里少行人

西域ノ地ハ春モ寒イユ雁ナドカイルカヤウナ処ナレハ一日アルイデモ行人ニ由合ヌヤウナサヒイ処ナレハ

首宿隨天馬 蒲萄逐漢臣

其元ノユカルニツイテハ漢ノ李廣カ如ク中國ノ威勢ヲミセテ西域ノ名馬首宿ノ馬艸ナトヲ貢ニ上ケ蒲萄

酒ナドテ漢臣ヲ逐イ當令外國懼不敢覓和親

カケ獻スルヲミヤレ

ノ高祖ノ如ク匈奴ト和睦ヲシテ

親類ニナルヤウナ手ヌルイ
「フシヤルナ

送邢桂州
邢氏ナリ桂州ノ太守ニ成テ行ヲ送ル

鏡吹喧京口風波下洞庭
太守ノ「フ」吹キモナトヲシテ通ルニツイテ喧シクニギヤカナ「フ」チヤ今此ノ京ヨリ舟ニテ南方洞庭ヲノリコシ

赭圻將赤岸擊汰復揚舠
赭圻ハ吳ノ置所也所ナリノ舠ハ船ノ意ナリ赤岸ハ水波ナリノサテ西方ノ山ヲミル吳國ノ陣屋ナドノア赤圻

望三峯ヨリ赤岸山下ヲ兼リ下シ櫓ナドテ波ヲ擊ツ船
カスト輕クユク気色モヨイツイテ舠ヲアケテ見レハ

青
月カ横スチカイニ海ニツラフテ「ツ」自ニ「潮」モニチ來テドコト云カギリモナク青ク見ユル

明珠歸合浦應逐使臣星
桂州ハ漢ノ合浦ノ近クニユカルナレ昔漢ノ順帝ノ時孟嘗合浦ノ太守ニ成テイタルハ前ノ太守カ貪穢ナユヘ他境ニ徙タ珠カ孟嘗蕭介ナニ再ヒ合浦ニ歸タ云「フ」カアル今其元モ孟嘗カ如キ人ナレハ外ヘ散タ明珠モ歸リ集ルデアラフ○使臣星ト云後漢ノ李郃能ク星ヲ知テニ使臣ノ益ニ向ヲ見テ使ヲ遣メ蜀ニ入タ云故事テ使臣星ト云テハリ太守ノ「ニ」ナル珠ト星ト縁ナル文字ニ「フ」ニ合テ用タ多ク也

使至塞上

單車欲問邊屬國過居延
漢武帝ノ時蠻夷漢ニ屬スルユヘ屬國ト云○居延古「流沙」ナリ○大勢ノ大將テモナク手ニワリ少クテ單

車ニリテ段々天子ヘ屬シテイル
屬國ノ吟味ニ邊塞ヲ通りヌケ

征蓬出漢塞歸雁入胡天
漢塞ヲ出テ蓬ノ飛ブ「ト」クアルモナク遠クニ行

大漠孤烟直長河落日圓
沙漠ニ出テ山モナク風モナク「フ」家ヲリ立チ上ル煙モナク「フ」サワリモ

蕭關逢候騎都護在燕然
蕭關關ノ上ニ候騎ナリ都護ハ「フ」ニアルト問タレハ燕然山ニイルト云カ定メテ遠イ「フ」デアラ

觀獵
獵ヲスル者トシ「ダ」ツテ一日アルイタヤウスヲ云

風勁角弓鳴將軍獵渭城
冬ニナルト風カガシイユヘ弓ノニモカワイ「フ」ガラク弦ノ音カ鳴テカリヲスルニヨイ時分ユヘ將軍渭城カカリニ

出艸枯鷹眼疾雪盡馬蹄輕
艸カ枯レテ鷹ノカケヒキモ目バヤニスル「フ」久雪モナエテ孤兔ノヤウナモノモ「フ」ニイルト云カ三ヘテ鳥モ

忽過新豐市還歸細柳營
獵ヲシテ忽マモナク長安ノ新豐ニ市ニ寄テヒルヤスミシ「フ」ニハソレヨ

回看射鵰處千里暮雲平
早ヤ日モ暮合ニ成テ一日獵ヲシタ処ヲフリカッテ「フ」ハ遙ニ遠ク暮雲カ

知
ツ「フ」平ラカニ「フ」カリト云モノハ面身イモノデ思ハス知ラス遠イ処マデユクモノナヤ云義デアル

送張子尉南海

不擇南州尉高堂有老親
南海人ノイザル処ニハ常モノナラハユクマイケレ「樓」此ノハ母親ノタダバカリニユカル「フ」毒ナ「フ」ナル

南海人ノイザル処ニハ常モノナラハユクマイケレ
樓

臺重蜃氣色里雜鮫人

南方八替々処デ海中ニ樓臺ガデキル此レ蛤ノ吐ク気ニヤト云テ城ノアルヲコメテ云又海中ニ魚ノ化ナド有テ蜃ヲ織テ

イル南都賦註鮫人水底居從水中出寄寓人家賣綰ト云語ヲ引用

海暗三山雨花明五嶺春

番山馬山梵山ヲ三山ト云五嶺賦ニ

モアル通リ南方ハ暑氣ノ強イ処テ海上モ常ニ雨ガフリ

此鄉多寶玉慎勿厭清貧

此ノ南海ノ地ハ寶玉ノ澤山ニ出ル処デ欲フカテ奉行カユクト玉カ外へ去ルト云ホト隨分大義ナカラ清貧ヲ中テゴサレ

寄左省杜拾遺

杜子美モ岑參モ同レ拾遺デ役所カ左右ニ隔テアル

聯步趨丹陛分曹限紫微

參内スルヲリハ丹陛ヲ聯步シテ上リ退テハ禁裏ノ御殿ノ左右ニ散カナルヨリ紫微ヲ限リ分曹シテアル

曉隨天仗入暮惹御香歸

上ノ句ヲウケテ曉方參内スルヲリハ天子ノ御先拂ノ役人トカ天仗ノホコナドヲ持テ我レニ隨テイル素ヨリ御處ノ

ヲ二暮方歸レモ天子ノ御香ノ香イラ手前ノ裝束ナドトメテ歸ルテアル

白髮悲花落青雲羨鳥飛

モ役カモナイヨリ花ノ落ルヲミテモ又此ノ春モ空シク過行クヨトナカワレシク思ハレ青雲ハ立身キキ其元カガクト立身スルヲ羨イ

書稀

吾モサラバ天子ハ御諫ヲ申上テ功ヲ立タイ思ハレ臣當代ハケツコウナ御代ハ開事ガナイニ諫書ヲ上ルヲモナラ又去テ実ハ御諫メ申テモトリアゲナイヲ云

登總持閣

高閣逼諸天登臨近日邊

總持閣ニ登テミバゴト高ク天ニモトクヤウニ思ハレテ下ヲ見ヲロカ禁裏ノ御殿ガミル空ヲニ近イ去

晴開萬井樹愁看五陵煙

井ハ町ワリノ折節天氣モ晴レテ長安ノ町ワリ萬家ノクワクニアル樹ニナハキリトミハ

檻外低秦嶺牕中小渭川

此ノ句ヲ第二句ウチテ云檻外ヲミレハ秦嶺モ

五代ノ天子ノ陵ナドノ風景ヲミレハ何ナク愁ガ生ニテクル

早知清淨理常願奉金仙

廣ク低テ窓ヨリ渭水ヲミレハ遙遠クタイサクミル秦嶺ハ南山ナリ

送劉評事充朔方判官賦得征馬嘶

元ハ前ノ者九枚ガエモスルカ死デモ

レ及跡ハ行ク云朔方ノ都護ノ下役ニシテ見レ征馬嘶ハ樂府以來馬ノアワレヲ作リテ其人ヲ送ルノナヤ

征馬向邊州蕭蕭嘶未休

征馬今朔方ニ向テカルユハ物アワレ蕭々ト嘶テヤヌ

故此詩モ征馬嘶ヲ以テ題トスルナリ

思深常帶別聲斷為兼秋

聲ノ絶スルハ為兼秋ナリ

岐路風將遠關山月共愁

關山ノ月ヲミテ其元ノ哀レニ思ハレテ思イ

贈君從此去何月大刀頭

今此ノ征馬嘶ヲ詩ニ作り送ルデアルカ元ハコレヨリ去テイツゴロ歸ラルンテアラ

フ○古樂府何當大刀頭環也ト
云語テ、劍ノ柄ニアル環ナリ

送鄭侍御謫閩中

謫去君無恨閩中我舊過

今度謫居セラルニツイテ、イカカリ氣ノ毒ニ思ハルテ、アラフカ我モ舊閩中ヲ通テミタガ余リ替タイモナ

イト慰テ実ハ悲イ
ヲ取リ揃テ云

大都秋雁少只是夜猿多

南方七閩ト云テ廣イ一ノ秋ノ時分雁ハ少ク只アルモノハ猿ハカリヂヤ

東路雲山合南天瘴癘和

東路ノ長キ雲ガ一面ニ合シ曇テアル處ヲ通テユカルヲ難ク思ハレヤツカ仕合ハ秋ノフユ南方ノ暑氣モ

退キ瘴癘ノ惡ニミアラレ
ラルハ、ツカイモナイ

自當逢雨露行矣慎風波

追付石レカササルデアラフ程ニ苦勞ニシヤルナ當代ハ

ツカフナ御代テ雨露ノ思イヤリガ深イ隨分息災テ風波ヲツシミ身ヲ大切ニシテゴサトナクサ

使清夷軍入居庸

御用ノ使ニユク居庸塞ト云關所ノ
アル處ニ行キカリテ作ルナリ

匹馬行將夕征途去轉難

伴ノモノモナク匹馬ヲリ毎日々々合戰ノ元不知邊道中ヲレテ行ク程難所ニユキカリ

地別秋訝客衣單

邊塞ノ地ノ格別サイト云フシラス手前ノ衣裳ノウスイニニ寒イハ合点イカヌト云カナゲクノデア

聲苦山空木葉乾

溪水トドモ寒ラシテ石ニアタリニキツカニテ音カシテ物悲シクカタワラノ空山トドミバ木末モ皆黃落シ乾テヒノスツク

莫言關塞極雨雪尚漫漫

關塞ノ道ノ難難コレキリニ極ルト云ニイゾ行クサキヲミレバ雪カフリツモリ漫漫トハテシモノナク中々大

抵デユカル
フデハナイ

自薊北歸

薊北ヨリ敗軍
レテ帰ルナリ

驅馬薊門北北風邊馬哀

敗軍ノニゲ足ノウユ馬ヲ追立テ薊門ノ蒼茫

遠山口豁達胡天開

山路ノ入り口ニ入テミレバ蒼茫トハテモ三ニヌヨリ見レハナラマト思テトリイソイテ馬ヲ追立テ出タレ豁達トラシヒライタ

（出テ能ク見レバヤハリ胡ノ地ナヤト敬馬クヤウスヲ云

五將已深入前軍止半廻

サテ此度ノ軍ノ負ニ成タト云ハ先手ノ大將カ案内モシラヌ

（出テ能ク見レバヤハリ胡ノ地ナヤト敬馬クヤウスヲ云

誰憐不得意長劍獨歸來

コノヤウニ本望ヲトゲスノスニノト討死ラレタ故チヤ

（ト思ハレコレヲ誰モ憐ミナクサステクル者ハアルイ

醉後贈張九旭

張旭ハ草書ノ名人下酒ノミノ風流モノチヤ座鋪テ共々酒ヲノミテ咄ヲスルヤウニ此詩ヲ作タモノチヤ訓解ノ註ヨクナイ

世上漫相識此翁殊不然

世上ノモテガサニテ交リモ深クナクニ漫ニ相識ト云カ此翁ヒトリ不然ガワリモノデ中々常ニ通リノモノ見レラデ

ハナイヲバカリ
ヨク知テイル

興來書自聖醉後語尤顛

ナンノアヂヲラフトモ思ハズト興ニイルト草書ナドヲカクガ自然ニデキルサテ醉テク

秦州雜詩

雜詩上云 沢山アル中カラ
一首ヲヌキ出シタモノナリ

鳳林戈未息 魚海路常難 世ノ乱レヲナゲイテ秦州ニアル鳳林關アタリモサワ
ギガ今ニヤメヌ魚海縣ナドモ路ガフサカリ常ノ往來

候火雲峰峻 懸軍幕井乾 毎夜々々アイツノ火カ山々ニ高クミル懸
軍ハ此方ノ義經ヒヨドリコレヲセラレタ

風連西極動 月過北庭寒 風
連ハ此方ノ義經ヒヨドリコレヲセラレタ

何時議築壇 大将ガキテアラフナラハ此ノヤウニ胡ガサワグマイモノヲト思デアルナニト都ニ
ソレニツケテモ此ノ外ニル故老ノ功者ナモノハ漢ノ飛將軍李廣ガ如キヨイ

送遠 此詩ハ三日モアトカラ
作テヤツタト見ヘル

帶甲滿天地 胡為君遠行 今世界中ニヨロイ武者ガミナテアルガフレタ
時分ニドフレテ遠キニカルゾトヲレニデイフ

盡哭鞍馬去孤城 トメテモトミフズ鞍馬ニナリ孤城ヲ去ラ
ルニヨリ朋友ハミナクヨリ外ノフハナイ

草木歲月晚 關

河霜雪清 草木モ黃落シ歲モスエニ成タフユヘサキ行カレテモイカフ難受ナフデアラフ
清ノ字寒イミ味合ニナル春ハキナハ下ニツカフトソカイゾコナフ

別

離已昨日因見古人情 ヤウク一兩日イセ別レタケレ其元ノヲコイシフ思フニツイ
テ古人カ別レテ悲シダハイカサベ尤ナラデアルと思フ

題玄武禪師屋壁

何年顧虎頭 滿壁畫滄洲 晉顧愷之字虎頭 壁ニ山水ガエガイテアル而モ仙
境ノ滄洲デ常ノモノ繪トハミヌ顧愷之カ書タデコ

赤日石林氣 青天江海流 クモドリガシテアルガ書
ニクイ日ノヒシ能ク

錫飛常近鶴 杯渡不驚鷗 錫飛常ニ近ク鶴
杯渡不驚鷗

廬山路真隨 惠遠遊 廬山ノ路ニ真ニ隨フモノ同シデアル

玉臺觀

滕王元嬰ノ
臺ナリ

浩劫因王造 平臺訪古遊 浩劫ハ道書ノ文字デ世界ノ始ノヲニナル○サテ此玉臺ハッ
ソノ始ハ誰ガ建タト云ニ滕王元嬰ノ建ラシタデアル玉臺

綵雲蕭史駐 文字魯恭留 綵雲蕭史駐
文字魯恭留

五

鳳鳴ヲ作ラシハ鳳ヲ其屋ニ止ル

宮闕通羣帝乾坤到十洲

カヤウナ道觀ノ中

公鳳臺ヲ作ル居テ數年仙トナル

レヨリ段々四方ノ神ヲ祭テアルニツイテ宮闕ハ天帝ヲ立テレヨリ樓下ツタイ羣帝ノ人傳有

笙鶴時過北山頭

列仙傳周靈王ノ太子晉笙ヲ好ム後仙ト成リ白鶴ニ乗スト云ヲ引テ

滕王元嬰モ仙人ニ成テイルネ

有フガデ目ニ見ヘマ

觀李固請司馬題山水圖

方丈渾連水天台總映雲

海上ノ仙境方丈ハ水ヲクルリト取リテ書テアリ陸

則有方丈蓬萊登

人間長見畫老去恨空聞

天台方丈ナドハ道ヲ修ヒテ天

空ヲ詩カリテキイルレハ

范蠡舟偏小王喬鶴不羣

方丈ハ水中ニ小舟

是レハイカサ昔シ范蠡ガ功ナリ名トゲテ退ク天ノ道ナリト云テ去リ五湖ニ舟ヲウカト云ガソノ范

蠡ガ舟デアラス偏ノ字デアエウラキカレル又天台ノカタワラニ鶴ガ一匹格別ニモガイテアルガ昔ハ靈王

太子王喬ガ鶴

此生隨萬物何處出塵氣

ニ集テユクナラバ又ハ天台ニテモユカレ

イモノデモナイカ何フ云テモ此ノ世界ハ萬物ニ隨テ塵氣ヲ出ヌ中々仙境ヘ至ルハナラ又繪テ

ガカリニテイルヨリ外ハナイ

禹廟

禹ハ天下中ヲカケワリ水ヲオサメラレシハ

禹廟空山裏秋風落日斜

人カゲモナイ空山ノ裏ニ禹王ノ廟カアル時分ハ

荒

庭垂橘柚古屋畫龍蛇

龍蛇橘柚禹貢ノ文字デアアル廟ノアレハテタ荒庭ニ橘柚

雲氣生虛壁江聲走白沙

廟ノカタワキ壁ノスキカラ雲カチラク立ノボル下ノ

己ハ禹ノ切テ水ニ舟陸ニ車

早知乘四載疏鑿控三巴

禹ノ四載ニ乘テ山河ノ

泥ニ八轡山ニ標書傳ニミ

セワラセラル始メニ治メ

旅夜書懷

子美方南方ニウロタテイル時分

細州微風岸危檣獨夜舟

此ノ川岸ニ舟ヲツナイテ岸バタ通リヲミレバ微風カ草ヲ

星隨平野闊月湧大江流

舟ノ中カラ平野ノ方ヲ望

名豈文章著官因老病休

吾カ身ヲツクク思

飄飄何所似天地一

テニルニ名ト云モノ文

沙鷗

コシヤウニシダビョイト舟ニ乗テイルト云モノハ何ニタトタモノデアラフク向ノ沙ハラニイル鷗ノヤウナ身ノ上デアル

船下夔州郭宿雨濕不得上岸別王十二判官

夔州ノ外郭ヲクリ下レ宿シテイルドリ雨ガアリ
吾ガ友王判官ノ外ヘモユカズ残念思テ留別ニ作ル
依テ沙宿舸船石瀨月娟娟
大船ヲリ船

ト云フ水カ沙石ノ上ヲ流ル、ヲ瀨ト云ハ沙ヲカチニシテ大船ヲツナグテ上リ、舟ノ中カラミレ岸ギウ石ナドノ出アル水ノサセニ月影ガ娟々ト清ラカニサレテ面目カリニ
風起春燈

亂江鳴夜雨懸
大風ガワイテ燈ヲケレクニナリ江水ガ鳴テ
雨カクタニウニフリカリ岸上トフモノナラス
晨鐘雲外濕勝

地石堂偏
城下ノ方デ時ノ鐘ヲツク音ガスルスケレテ
景色ノヨイ寺ナレ行テイルノ上ラ残念ナ
柔艣輕鷗外舍懷覺

汝賢
サテ夜アケ方ニ見レハ小舟ガ輕鷗トツ成テ自由ニワルアラヤリアルカサナラフ王判官ニ逢テコヤウモノヲ何ヲ云テモ大船ニ自由ニナラフ凄然ト哀レヲ含ミイカサ小舟上ニハ自由ナモノナヤ
汝トハ柔艣ヲサス

登岳陽樓

昔聞洞庭水今上岳陽樓
洞庭ノ風景クヲ咄シキイタイタガ
吳楚東南
今岳陽樓ニ登テ直ニ見ヲロスニ

圻乾坤日夜浮
イカサマキ、及ダホド有テ吳楚ハ東南ノ方ニ打ヒラケテクワラト
見、乾坤ノ中ナルヨリムルモノガヨルヒルトナク水上ニ浮デアル
親

朋無一字老病有孤舟

方々ヲナガシテ都ヲ思イ出シテタ々此南方ニワロ
タエテイレ氏故郷ノ朋友氏カラ一字ノヲトシモナク

此小舟バカリヲタノレミ
テイルト云ハサミイナヤ
戎馬關山北憑軒涕泗流
今關山ノ北アタリテ朝居
中故郷ヘカエルヲモメツタハナラヌ軒ニヨツテ故郷コイシウ思ハレテ頻ノニナミダカ流ル
ルヒト五句王聚登樓ノ賦ノ句ヲウケテ云

次北固山下

王濟

客路青山外行舟綠水前
舟ヨリミレ青山ノホトリ川通りニ客路ノ往來ガヒ
キツイテアル手前ハ始終舟ニノリ、固山ノホトリニキテ

潮平兩岸潏風正一帆懸
潮カハハイニミテ、兩岸モグワラリ
レウチヒライテミレハ風モ追イ風スハ帆モニコクニカ

海日生殘夜江春入舊年
今此ノ固山ヨリ東方ニハ
一夜モダセツスキデアラフト

鄉書何處達歸雁洛陽邊
江南ノ音タフヲミルニツケテモ故郷ノフヲ思イ出シテ文ヲヤフト思フチモ便リモナイ
ニミ、歸雁ノ洛陽ノ方ヘ飛ニアツラテヤリタイト云テ、實ハ便リノニクキヲ云

江南旅情

祖詠

楚山不可極歸路但蕭條
楚山極ムカラスバテシモ限リモナク遠イ処ヲヒトリ
吳ノ方ヘカエルニ道ガテ蕭條シテモノサビニイ

海色晴看雨江聲夜聽潮

海ノヨモテヲミバ近ク暗テイカラ遙遠ク雨ノ降テイガミルハ一説ニ海色ハ晴テイナカラヨクキヲツケテ遠ク

ヲミバ雨ノスルヲ思ハルハ登ノ間ハソフモノイカ夜ニルハ潮ガミチテ物サビレク靜ニルニ水ノ音ガミル

劍留南斗近書寄北風遙

腰ニサレテイル劍ハ南斗ノ星ノ近クニ逗留シテ都ヘ至帶

為報空潭橋無媒寄洛橋

吳楚ノ間ハ橋ヲカタクサニアル地方ノ都ヘハメヅラレイモノナク空潭ハ巴タナニタクサニアルヲドフジ都ノ友ニヤリタイト思ヘトトリツイデクレルモノガナイ

蘇氏別業

別業居幽處到來生隱心

サニ此ノ蘇氏ノ下ヤレキハ都ヲハナレテ物ノ靜カナ處ナヤ吾常ニ城下ニイルニ隱者ノヲモミキヲシラシダガ今テコノ處

ヘキテモミツカナフニテ南山當戶牖

澧水映園林

向ハ終南山カ戸牖ニヤタリ澧水ハ園林ニウツロフテ庭ヲ流ルモノ同

前テ面竹覆經冬雪庭昏未夕陰

ヤレキハワリニ竹ガウエテアル冬ニキエ殘タ雪ガ竹ノウヘニ覆イカリテアル庭ノワリニ樹木ガウエ

テアルニ登モヲクタクミル

寥寥人境外間坐聽春禽

カヤウナモノ靜カナ處ニ人ノ間ノ外ナレバ只ツカニ坐シテキケバ禽ノ声ナドガキ

コハノミテ俗塵ヲハナレタフナヤ

望秦川

李頎

秦川朝望迥日出正東峰

秦川ノヒロトシタ処ニキテ遙ニ望メハ限リナク廣イフテ朝日ガツト東方ノ山ノ頂カラ出テ

近山河淨迤邐城闕重

遠近ノ山モ川モサロニウツロイサツハリトハ都ノ方ヲ望メハ遠近トガクツミテ城闕ノイクモ重リ立テアルガ見ル

秋聲萬戶竹寒色五陵松

家ニトニ竹ノウエテアル風ガアタリテ鳴ル音ガキニ五陵ノ松ノウエコシテアルヲミレバドウモサハルニ

客有歸與歎淒其霜露濃

急ニ故郷ヘ歸リタクナリ淒其トシテ霜露モユク成テ時節ノウツリユクヲミレバカナレテアル

宿龍興寺

綦毋潛

香刹夜忘歸松清古殿扉

香刹ハ寺ヲ今此ノ龍興寺ニキテミレハ風景ヨイニシイテ夜ニテ歸ルヲ忘レテアル松ノモミニミ茂

テアリ寺モ古ル

燈明方丈室珠繫比丘衣

方丈ノヲクノ方ニ常燈ガヨルヒトテ明ラカニアリ老僧ガ衣ニ玉ヲカケテ清淨ニ衣服

ヲキテ白日傳心淨青蓮喻法微

空ヲニ白日ノカウテアルヲミレハ老僧タチノ傳心ノ清淨ナラシル庭ニ蓮池ガアルニヨツテ蓮花

ヲミテ譬喩ノ法ノ微妙ナガレル

天花落不盡處處鳥啼飛

庭ノ花ノチウテクルヲ鳥ガフクニトビニワルヤウスイカサテ清淨ナラナヤ

胡笳曲

王昌齡

城南虜已合一夜幾重圍

城ノワリヲエビスカ一夜イクエトモナクトリカニイル自有金鉞引能

令出塞飛晉劉琨胡騎三カミテ難義時軍中ニヨク筋ヲクモカ有テ樓ニ三筋ヲ
アル出塞ノ曲ヲ遠クフイタハ曉方胡馬が悲ニタヘ皆去タフガアルの自幸ニ胡笳ヲ上手ニクモガ
聴臨關月三奏高樓曉胡人掩淚歸
苦清入海風微只サアワレナ曲ヲ關月ニシテキ
三奏高樓曉胡人掩淚歸クニ悲ニミタヘスの笛ノ曲ニ關
胡笳三度フイテ曉方ニ至テ高樓ヨリミレハ悲ニ
タエズテ淚ヲナカシテ一人歸リ二人歸リ皆歸々

同王徵君洞庭有懷

張謂

王八氏徵君ハ天子八月洞庭秋瀟湘水北流
八月洞庭秋瀟湘水北流八月口洞庭ニキテ秋ノ風景洞庭ノ
還家萬里夢爲客五更愁故郷ヲイシフ思フニ毎夜々々故郷ノ家ニ還タト云夢ヲ
不用開書帙偏宜上酒樓モノデハナシ酒バカリノニテ然ラハラスガ
故人京洛滿何日復同遊五君親イ友カ都中ニミチテイルヅレノ日カ都ニカ
破山寺後禪院

破山寺後禪院

常建

清晨入古寺初日照高林ヒヨリモヨイニ朝トク起テ山寺ノ奥ノ院ニワケ入テ
曲徑通幽處禪房花木深道スカラノ景ヲ云フノ二句妙句チヤの
山光悅鳥性潭影空人心禪院ニユク道ガ曲リク子ツテアル
萬籟此俱寂惟聞鐘磬音イカサニコフシテイクラハ

曲徑通幽處禪房花木深道スカラノ景ヲ云フノ二句妙句チヤの
山光悅鳥性潭影空人心禪院ニユク道ガ曲リク子ツテアル
萬籟此俱寂惟聞鐘磬音イカサニコフシテイクラハ
萬籟此俱寂惟聞鐘磬音悟フレソフナモノチヤ風

渡揚子江

丁仙芝

桂楫中流望空波兩畔明楚辭ヲ引テ桂楫ト云ハ舟ニ無タリニナルの今コノ揚子
林開揚子驛山出潤州城北ノ方揚子江ノ驛ノ海道ガ林ノアヲタカラミヘ江
海盡邊音靜江寒朔吹生靜ハ浪ノ音ノナイヲ揚子江ハ海ニ近イニ盡上云
更聞楓葉下淅瀝度秋聲川バタ通りニ楓ナドガヲチテアルの新
聞笛張巡ハ玄宗ノ忠臣テ睢陽ヲ守リ安祿山方ノ者
張巡二曲レテ龍城ナリ難ク討死スル少シニエニ作タ詩也

聞笛

張巡

岩崑試一臨虜騎附城陰岩崑ト高イヤグラニ登テ敵ヲウストラヒバ不辨風

塵色安知天地心ハナタニスナセナハ天ノ思召通リナレハ惡人ハワルイハツナルニヨクヤクニ逆ヲ以

門開邊月近戰苦陳雲深門ヲヒライテミレバ逆塞ノ方カラ

旦夕更樓上遙聞橫笛音アサモバンモ樓上ニ番人ヲノボセテ敵ノ

岳陽晚景張均

晚景寒鴉集秋風放雁歸日モクレニアフエ鴉トモゾロクニテグラニ水光浮日

出霞彩映江飛上ノ句ヲウケテ洞庭ヲ見ラロセハ夕日カヨコスカイニサレテ水ノ面ヲカメシニキ

洲白蘆花吐園紅柿葉稀洲ノマツ白ナ沙地ニ若カヒトキワ白フ咲テアルハ

長沙卑濕地九月未成衣長沙暑氣ノツヨイ処ニ九月ジニテモウスカタ

穆陵關北逢人歸漁陽劉長卿

穆陵關北逢人歸漁陽君上云ハ則題ノ人デ今

逢君穆陵路匹馬向桑乾君上云ハ則題ノ人デ今

楚國蒼山古幽州白日寒別

城池百戰後著舊幾家殘漁陽ニ帰

處處蓬蒿徧歸人掩淚看只蓬蒿ノハテアルヲ

題松汀驛張祐

山色遠含空蒼茫澤國東松汀驛ハ山中ニアル馬ツギニ山ヲクノ方ヲミルニ遠

海明先見日江白迥聞風見ヲロスニ海ノヲモテモ

鳥道高原去人煙小徑通見ヲロスニ海ノヲモテモ

那知舊遺逸不在五

湖中舊遺逸ノ隱者ト云モノハ水地ノ中ニテモ五湖ノ中ニ引込ムモノカト思ハゴノ小徑ヲクニモ

湖中舊遺逸ノ隱者ト云モノハ水地ノ中ニテモ五湖ノ中ニ引込ムモノカト思ハゴノ小徑ヲクニモ

湖中舊遺逸ノ隱者ト云モノハ水地ノ中ニテモ五湖ノ中ニ引込ムモノカト思ハゴノ小徑ヲクニモ

湖中舊遺逸ノ隱者ト云モノハ水地ノ中ニテモ五湖ノ中ニ引込ムモノカト思ハゴノ小徑ヲクニモ

湖中舊遺逸ノ隱者ト云モノハ水地ノ中ニテモ五湖ノ中ニ引込ムモノカト思ハゴノ小徑ヲクニモ

湖中舊遺逸ノ隱者ト云モノハ水地ノ中ニテモ五湖ノ中ニ引込ムモノカト思ハゴノ小徑ヲクニモ

湖中舊遺逸ノ隱者ト云モノハ水地ノ中ニテモ五湖ノ中ニ引込ムモノカト思ハゴノ小徑ヲクニモ

湖中舊遺逸ノ隱者ト云モノハ水地ノ中ニテモ五湖ノ中ニ引込ムモノカト思ハゴノ小徑ヲクニモ

聖果寺

聖果寺ノ下ノ錢唐云云
甚々繁昌ナ船ツキアル

釋處默

路自中峰上盤回出薜蘿

サテ此ノ聖果寺ニ登ルニ中峰マデイクスレモ道ガ
カレテイモ中峰カラハ一筋道ヲアチフコチラフガ

生テ登ルツタカツラサド

到江吳地盡隔岸越山多

寺ニ至テミハ風景ノヨイ処デ
江水ニ到テコトガ吳國ハテト

云デガミ江水ヲ隔テ向方ニ

古木叢青霞遙天浸白波

古木ノコンモリト茂
アルヤウスガナニト

越ノ國ノ山々トモガミハワタル

下方城郭近鐘磬雜笙歌

ナクモ月々ミハ遙ニ江水ヲミハ海ノテト夫ガ
下ツニテリ白波ノミツヤウスガ残ル処モナク見ル

トハ錢唐ノ城郭ヲ繁昌ナ処ユヘウチハヤシスル
ガ寺ノ鐘ノ音ニ雜リ聞テフキユルデアル

唐詩國字辨卷之三終

唐詩國字辨卷之四

五言排律

五言排律ハサミノ説アレバ排律ノ義ニミカヨイ譬ハ大名ノ供ニワリノ如クセイノ平ラニ
ワロワタ男ヲエラシテ左右ニワカツガ排アル其如クニ隨分堅イ美イ文字ヲトリソロ
ニテ對ヲトラチハナラヌ四句ソテ轉シテユク上ノ四句テ
サシキノフヲ云ハ下ノ四句テ亭主ノフヲ云フナリ

送劉校書從軍

劉氏ナリ書記ラシテ
從軍テユクヲ送ルナリ

楊炯

天將下三宮星門列五戎坐謀資廟略飛檄佇文雄

對句ヲ以テ云
出ス天將軍ト

云星ノ下テ隨書天文志天將軍十二星在焉北主武兵中央大星天之將也左星為左將軍右星為右將軍
軍星即旄頭星也コニテ大將ノフニナル三宮ハ明堂辟雍靈臺ノ三殿ナリ星門ハ軍門ナリ上ノ天將ノ對ニ
五戎ハ五兵弓矢戈矛戟戟ナリノ先ツ出立ノヤウスラ云大將ヲ禁裡ハ參内シテ暇申シテ營舎ニ歸リ人衆
ヲ口用意スル坐謀陸屋坐シテ大將ノ謀ヲタスクルナリ廟畧ハ天子ニ大事ガテキルト大臣ガヨリ合テ宗
廟ヲイテ謀ヲ定メラル爰テ惣大將ノ謀ヲ一ニシテ檄文ハ軍中テ急ニ人衆ノ入ル時ハ檄ヲハセテ人ヲ集ルナリ
馬ノ上テカクヤウナガアルノ勤方ノヲ云其元ハ征伐ニ出ラレテモ軍場ハ出ス大將ノ側ニ召レテ居テガフ謀
ヲメグシテ大將ノカケヒキヲタスクラルイカサメスグシテタルチヨウト檄文ヲカケテ云テモ
文章ノスレタ者ナリケレハナラヌ其元ノヤウナ文雄ヲ用イタル書記ノヤイサツコニテナリ

烏號明月弓秋陰生蜀道殺氣繞湟中

裝ノサカナヲヲ云ニ立テ花陰山ノ赤
土ヲ以テ研タテタヌノ玉チルヤウナ劍

蜀道ノ烏號ノ明月ノ如クナル弓ヲ持テカル以下ニ句行テ先キノ景ヲ云時節ガ初秋ノフニ蜀道ノヤウナモツロ
ソ秋陰カ生シテ寒イ時分デアル殺氣トイハ秋ハ殺伐ノ氣ナレバ敵ニ討勝フ処ノ殺氣ガ湟中ニ繞テ此方

ノ軍勝ニルト 風雨何年別 琴樽此日同 離亭不可望 溝水自西東

今コノ風雨ノ砌リニ其元ニ別レルガイソ迄ト云限リモナイコゾヤ今日琴樽ヲ同シテ賑シイコゾ離別ノ后風雨ノヲリニ思ヒ出スデアラフ離亭ヨリ溝水カミユレ望メレヌナセナレハ吾カ此ノ離別ヲ悲シム目デミルユ心ナイ水ノ西東スルニテカナシテ見ラヌトナリ

靈隱寺

靈隱寺ハ杭州ナリ晋ノ咸和初西僧慧理靈隱天竺兩山ノ間ニ登テ嘆曰此中天竺國靈鷲山ノ小嶺ナリ知ラス何ヲ以テ飛來ルト云テ庵ヲ結

名テ靈隱トイヒ其峯ヲ飛來トイフ山ニ靈鷲塔アリト云々此ノ詩ハ駱賓王カ坊主ニ成テイテ宋之門カ跡カヲ來テ作タトモ云説アリ

鷲嶺鬱蒼蒼 龍宮鎖寂寥 山ノヤウスヲ云ヒ出シテ鷲嶺鬱然トシ岩巖ト高イ処手カ立テアル龍宮トハ寺ノノナリ門ヲトザシテヒソソリト人

落天香雲外飄 門對浙江潮 樓カ門ト向イ合テアルニ對スト云スケタノミヲ出シテ境地ヲ示ル 桂子月中

登塔遠矚 木取泉遙 山ノ高ク遠イ処ニ塔カ建テアルニ蘿ニトリツイテ登リ木ヲクボマテカケヒナドテ遙ニ遠クノ山ヲクノ方カラ泉ヲトルヤウスカアル

霜薄花更發 氷輕葉互凋 霜カウスイニ花カガワルハ咲キモキヒシナイニ草木ノ葉モ凋ムニデハル 夙齡

異披對滌煩 我レ着イ時分ヨリカヤウチ趣異ノ世ヲハナレタ処ヲ面白フ思テイタカ今アツルヘキテム子ヲヒライテ披對心ノ煩置クホニノウヲサツハリト滌シ洗ヒ流シ

夕陽成夕直ニ阿羅漢ノ 待入天台路 看余渡石橋 老僧ナト對シテ云ニダコノヤウナクンデハナイ進付仙術ヲエテ

天台山路ヲ見付テ石橋ヲ渡テオメニカケヤウ 靈隱寺ノヨイニツイテ天台山ニテユクキカツイタトナリ

宿溫城望軍營

通リカリテ軍營ヲ望ミテ 虜地寒膠折 邊城夜柝聞 兵符關帝闕 天策動將軍

タモノ打ハル時分ニ邊城ノ軍營ヲモ皆夜ヲリノ柝ナトキヒク打テダシセヌハ大將ノ重ト云テ兵符ヲ分ツト云ハ天子ヨリアツカリ大切ナコトアル天策ハ星ナリスニテ人事ノ善惡ハ大將一人ニカリテ

天策動將軍ト云テ重トアル 塞靜胡笳徹 沙明楚練分 風旗翻異影 霜劍轉龍文

大將ノ下知カヨイユハ陣中モヒソソリトシテアルニツイテ胡笳ナドモ通リヌケテキコルハ沙ハ陣中リヲヒテイニ沙ノ白イト兵ノキテイル衣裳ノ白イカツキリト見ヘルハ大將ノ營ニハ旗ヲ立ナフヘテ置アリフシ

風吹テ旗アレラフキナヒケル 劍ヲヌキミシテ立 白羽搖如月 青山斷若雲 烟疎

卷幔塵滅似銷氣 白羽ノ矢ヲラビテイルヨロイ武者カ立並ニテイルハ月ノテラス如クデアル天ノ氣モイニ烟ナドモキレクニ成テニ軍事モヤンデ慢ラークハワニ思ハレ

陣中ヨニレハ軍ノ惡氣モキエテ治タヤウニ見ユニツイテ 投筆懷班業 臨戎想顧勳 還

手前モトフソコ功ヲ立テ立身ニタト云志ヲ以下四句ニ云 應雪漢恥 持此報明君

コノヤウニヤストシテラヤウモノナラハ吾モ投筆後漢班超カ如ク功ヲ立テニタイニナリ今ア陣中ヨニレハ大將ノ知古ノ晉ノ顧榮カ

神書

勳功ニモトラス。顧崇カ功ヲ思ヒヤシテ云。漢取ト云。高祖ノ匈奴ニ勝テ親類ニテラシク云。我々今ヲ陣中ノ治ヲミルニ。聖祖顧崇カ如ク。ミヒスヲ平シ。其テカラヲ以テ明君ノ御恩ヲ報シタイモノデアル。

在廣聞崔馬二御史並登相臺

崔氏馬氏二人正ニ御史ノ官ヨリ相臺宰相役處ニツタル尚書ニ成

テイル。南方廣州ニイテ聞テ作テ送ルナリ。

蘇味道

振鷺纔飛。日遷鶯遠。聽聞明光共待。漏清覽各披雲。振鷺ノ如ク行列ヲトシ

二人ツレテ參内セラレ。聞モナク鶯ノ喬木ニツヤリ。立身セラレタヤウスヲ遙ニ遠クキ。及ニタ。今尚書郎ニナラレタユ。朝漏刻ヲ待テ明光殿ニボリ。天子ノ詔ヲカクナレ。直ニ天子ノ清賢ニアカリ。各ニ入レニ披雲。白日ヲソム如ク天子ノ玉顏ヲ自由ニ拜スルアラフ。

喜得郎廟舉嗟為臺閣分故林懷柏悅新握阻蘭薰。サテ其元タチハカヤフニケウツ官ニラル。ユハ後ニ郎廟ヲエテ宰相大臣ニモナリ。ルテアラフ。郎廟之オト云。晉索靖カ子。蘇氏故吏アル。二人カラ同役ナレウケト

リ。テ役所カチアルアル。ナトモノニツ役所ニラタ。ユカラフニ臺閣分テアルハ。ナキドクニツミル臺閣。云。門下省ヲ鸞臺トシ。中書省ヲ鳳閣トシ。尚書省ヲ文昌臺トスナド。云。其役各ニ臺閣ニツテ名トスル。アル文選ニ松茂而柏悅ト有。御史ノ役處ニ松カウエテアル。其元故林ノ間カラ。郎官ニヌキ出サレタ。外聞モヨイト云。テヨコバル。アラフ。今カラ新撰ニ蘭ヲキツタ。郎官ニナラタ。ユハ近寄テ心ヤスス。ユハ。ユハ。漢尚書郎懷香握蘭。趨走月墀。冠去神羊影車迎瑞雉。羣遠從

南斗外遙望列星文。神羊ハ獬豸ナリ。御史ノ冠ナリ。瑞雉ト云。漢ノ蕭嵩。其元尚書郎。除

吏ノ冠ヲ云。フレヨリ上郎官ニナラタ。ハケツコナギ。アル我々遠ク南斗ノ外ヨリ。遙ニ其元タチノ列星ノ文官ニテラレタ。アラフ。ミツテ送ルトナリ。列星天帝坐マワリ郎官ノ星ナリ。崔馬ニ郎官ヲ南極トイハズ。南斗ト云テ列星ト對ニナル。

奉和幸韋嗣立山莊應制

李嶠

南洛師臣契東嚴王佐。居幽情遺綬。冕宸眷矚樵漁。嗣立ハ中宗ノ御ヒツウノ

隱者ナリ。コヲ嗣立洛陽東嚴ニヒキコシテイラル。常ノモトハチカフ。天子モ師匠ノ如ク思ヒ召ス。然レハ東岩ニ引込テイナカラ。天子ノ補佐モ同前ナレハ王佐ノ居トモノチヤ。契ハ上ニカナラフ云。嗣立隱心幽情カ深イ人ユヘニ官人ノ綬冕ヲ遺シ樵漁ノ如クナル隱者ヲ御タツ子ナサル。

制下峒山蹕恩回灞水興松門駐旌蓋薛幄引簪裾。峒ハ嶮峒山ナリ。昔黃帝ノ廣成子ニ道ヲ問ビタ。カアルユ。コヘ子コシダモノチヤ。天子ヨリ御

水ホトリ。御幸ナサルノ山莊ヤウスヲ云。隱者ノフニ門チカニ松カウエテアルカ。天子ノキヌガサヤ旌ナト立テアル駐ト云。座敷ギワ。蘇ナドヲムス。テ直ニ幄ヲハリハレテ大勢ノ官人タチヲ興ノ方ヘ引テユク。

石磴平黃陸烟樓半紫虛雲霞仙路近琴酒俗塵疎。黃陸。日ノ通ル道。テ天

子ノ御通り道。フニテル今コノ山莊石磴ヲ御通りナサルハ。黃陸モ同前チヤ。隱者ノ雲霞ノウチ。御入リナサレタ。コノ天子ノ御座外モ同。テアル。冥ニ仙路ニ近ク琴酒多クシモ俗ヲハナレタ。靜カナリ。チヤ以下ヤシキヲイフ。喬木千齡外懸泉百丈餘崖深經鍊藥穴古舊藏書。先租

作

三

冬ノ外ニアルニ年ハタル大木カウテ立テアル庭ノカキ流水ナドモ百丈ホアリテ高イ処ヨリ
落ル傍ラ岩ガケナトニ成テアル処ヲノイテミレハイカサマ韋氏ノ先祖ノウチニ丹葉ナドヲ子ラレタ
ル又古イ石カケタアトガアル此モ定テ先祖ノウチ道書 樹宿搏風鳥池潛縱壑魚
テモ取テ置タタ外ノウチ以下ニ有韋氏カ異量ニ比シテイフ
寧知天子貴尚憶武侯廬 大木カ生ハ茂テアルニ大鳥ナドカスミソフテ池ナトモ大魚
カヒクツテイルヤウニ見ヘル結句韋嗣立ガ御恩ヲ深クカ
フル云天子ノ貴イ身デヘリクダリ男ノ先帝ノ諸葛武侯ヲ御訪メサレタ如クワザク御幸ノアル云
ハ大抵ノテハナク韋嗣立モアリガタク思ハレト云テアル

白帝城懷古

漢光武時公孫弘カ男ノ成都ニ都シテ
自ラ白帝ト稱シタカアル唐夔州ナリ

陳子昂

日落滄江廻停橈問王風城臨巴子國臺沒漢王宮

夕方白帝城
ノ川キニ二舟

カケ橈ヲ停テコレハ何ト云テイカウツノ有タ処ト風ヲトヘノ王風ヲベテ白帝城カラ直ニ見ラヌカ
周ノ時巴子國テアル又カタワラ古劉玄徳ノ呉ヨリ敗軍シテ歸ラレタ魚腹ヲ改テ永安宮ト名ツケラレタ
カソモ没シテ 荒服仍周甸深山尚禹功巖懸青壁斷地險碧流通
跡方モナリ 見ワタス処ヲ云○蠻夷ヲ荒服ト云王制千里ノ内ヲ甸服ト云○今荒服ノ如ク成テアル外カヤリ周ノ都ニライ
テ甸服デアル深山ノヒラケテ今往來ノナルト云ハコレ禹ノ大功チヤコレデカ上ノ向ヲウケテ云深山ヲ望メ岩カ
サシカツテ青岩カ壁ノ如クケツリ立地險ニ
ノ水モズツトヒトイキニ流レテトアル

古木生雲際歸帆出霧中川途去無

限客思坐何窮

西方山モ高イニ古木ナトニ雲カカリ雲アリタニ木カ生ナルヤウニ三ノ川中ニキ
リ下テアル処ヲ舟ニ乗テカヘイヨ水カ早イニ霧ノ下テマツクロク中ヲドコト云

アアドナレニ衆ヲユク客思モサマク
生シモ思ヒトメルモナリ

峴山懷古

秣馬臨荒甸登高覽舊都猶悲墮淚碣尚想臥龍圖

峴山ハ聞及ン
夕処ニハ夜中

カラシタクシテ朝トク峴山ニ登リ古繁昌ナト有ツラト都ノトヲミゾム昔晋ノ羊祜カ襄陽ヲ鎮テ峴
山ニ遊フヲタラシテ民ヲ思フ惠澤ノ深イ人ニ羊祜カ死ヌト峴山ニ碑ヲ立テコレミルモノ涙ヲカス
後ニ杜預カ墮淚ノ碑トナシタ碑ハ羊字ニ碣トライタモノヤ碑ト同シヤヤ人テヲ峴山ニ登テ墮淚ノ
碑ヲヨシテミレハヤリ古ニカワラヌ相傳ノ孔明カ隱レイタ隆中山ヲ見ゾミツイテ孔明ガ八陣ヲ石ヲ以テ
圖シテミタト 城邑遙分楚山川半入吳丘陵徒自出賢聖幾凋枯
云ヲ思出ス サテ龍城邑ヲミレハ地勢ガ楚國ノ方ニカツテアリ山川ハ吳國ヘ入コシテ唯山カ言キト出テアルガ
ミル襄陽ハ賢者ノ多イ処テ有タト云カ其賢者ノ塚モミヘヌ凋枯ハ死ニシテウタト云義テアル
野樹蒼烟斷津樓晚氣孤誰知萬里客懷古正踟躕 野ニラニ樹木
ナドカミルガ

贈蘓味道

杜審言

北地寒應苦南城戍不歸邊聲亂羌笛朝氣捲戎衣

今其元北地
一行テイラル

ルニサジ寒フテナシギナラフ都へ歸ルモノナラズツトメテイラルト云ハ太玄ナラデアル北地ニ對シテ都ノイヲ南城ト云起句ノ苦ク字ヲウケテ此ノ寒イニツイテ邊塞ノ胡牀カトツテモカレコテモ當ラ

沢山フクデアラフ乱ノ多イ意ニナル北風カハダシウ吹テヨイナドヲフキマクツテイヨク寒ムカラフ

戰欲盡漢卒尚重圍雨雪モヒタモノ降テ關山アタリモ墨リワタリテ暗ク風霜ノ強イニ州木ナドモバラムニアルコレデ第一句ヲウケテ云ヒ以下ハ

雄劔動搖筆羽書飛ソラモレ惡星モ落タハ追付軍モ治ルテコト馬モ肥テ達者ニル時分ニハケケワリニモヨク大刀ヲ帶テ動キモヨカラフ其元ハ

文章ノ達者ニ軍中興駕還京邑明遊滿帝畿方期來獻凱歌舞共ナカサメテ云去リナカラ胡ノ兵モ大半尽タト云其上ハ

春暉大將ノ怒人數ヲシテ京ニカエラルニハ朋友兵カ都ニシテ待テイル今カラ定ツテイル來春一首尾ヲ歸テ凱陣ノ歌ヲ獻シテ天子ヨリ御酒宴ヲ下サレハ共々歌舞シタラフ

酬蘇員外味玄夏晚寓直省中見贈沈佺期

並命登仙閣通宵直禮闈大官供宿

購侍史護朝衣員外ハ尚書省ニ屬シテ神仙門ノ内ニアリ故ニ仙閣ト云崇禮門ハ尚書下合門ナル禮闈ト云今モソナク七同レ郎官テ凡ハ仙閣ニノボルコトニ夜ハ其テ當番員外郎ノツトメ處崇禮門ノワキテ九禮闈ニ寓直シテツテヨサルゾレニハ天子ノ太官ノ臺処カラ夜食ヲ供シテテウ侍史ハ女官ヲ郎官ノ一ニハ女官ガ二人レテ明朝參内ノ朝衣ニ加羅

同役郎官カ六月ノ末天子ノトイ番

侍史詩ヲ作テコレタニ酬フナリ

購侍史護朝衣員外ハ尚書省ニ屬シテ神仙門ノ内ニアリ故ニ仙閣ト云崇禮門ハ尚書下合門ナル禮闈ト云今モソナク七同レ郎官テ凡ハ仙閣ニノボルコトニ夜ハ其テ當番員外郎ノツトメ處崇禮門ノワキテ九禮闈ニ寓直シテツテヨサルゾレニハ天子ノ太官ノ臺処カラ夜食ヲ供シテテウ侍史ハ女官ヲ郎官ノ一ニハ女官ガ二人レテ明朝參内ノ朝衣ニ加羅

同役郎官カ六月ノ末天子ノトイ番

侍史詩ヲ作テコレタニ酬フナリ

購侍史護朝衣員外ハ尚書省ニ屬シテ神仙門ノ内ニアリ故ニ仙閣ト云崇禮門ハ尚書下合門ナル禮闈ト云今モソナク七同レ郎官テ凡ハ仙閣ニノボルコトニ夜ハ其テ當番員外郎ノツトメ處崇禮門ノワキテ九禮闈ニ寓直シテツテヨサルゾレニハ天子ノ太官ノ臺処カラ夜食ヲ供シテテウ侍史ハ女官ヲ郎官ノ一ニハ女官ガ二人レテ明朝參内ノ朝衣ニ加羅

同役郎官カ六月ノ末天子ノトイ番

侍史詩ヲ作テコレタニ酬フナリ

購侍史護朝衣員外ハ尚書省ニ屬シテ神仙門ノ内ニアリ故ニ仙閣ト云崇禮門ハ尚書下合門ナル禮闈ト云今モソナク七同レ郎官テ凡ハ仙閣ニノボルコトニ夜ハ其テ當番員外郎ノツトメ處崇禮門ノワキテ九禮闈ニ寓直シテツテヨサルゾレニハ天子ノ太官ノ臺処カラ夜食ヲ供シテテウ侍史ハ女官ヲ郎官ノ一ニハ女官ガ二人レテ明朝參内ノ朝衣ニ加羅

同役郎官カ六月ノ末天子ノトイ番

侍史詩ヲ作テコレタニ酬フナリ

購侍史護朝衣員外ハ尚書省ニ屬シテ神仙門ノ内ニアリ故ニ仙閣ト云崇禮門ハ尚書下合門ナル禮闈ト云今モソナク七同レ郎官テ凡ハ仙閣ニノボルコトニ夜ハ其テ當番員外郎ノツトメ處崇禮門ノワキテ九禮闈ニ寓直シテツテヨサルゾレニハ天子ノ太官ノ臺処カラ夜食ヲ供シテテウ侍史ハ女官ヲ郎官ノ一ニハ女官ガ二人レテ明朝參内ノ朝衣ニ加羅

同役郎官カ六月ノ末天子ノトイ番

侍史詩ヲ作テコレタニ酬フナリ

購侍史護朝衣員外ハ尚書省ニ屬シテ神仙門ノ内ニアリ故ニ仙閣ト云崇禮門ハ尚書下合門ナル禮闈ト云今モソナク七同レ郎官テ凡ハ仙閣ニノボルコトニ夜ハ其テ當番員外郎ノツトメ處崇禮門ノワキテ九禮闈ニ寓直シテツテヨサルゾレニハ天子ノ太官ノ臺処カラ夜食ヲ供シテテウ侍史ハ女官ヲ郎官ノ一ニハ女官ガ二人レテ明朝參内ノ朝衣ニ加羅

同役郎官カ六月ノ末天子ノトイ番

侍史詩ヲ作テコレタニ酬フナリ

購侍史護朝衣員外ハ尚書省ニ屬シテ神仙門ノ内ニアリ故ニ仙閣ト云崇禮門ハ尚書下合門ナル禮闈ト云今モソナク七同レ郎官テ凡ハ仙閣ニノボルコトニ夜ハ其テ當番員外郎ノツトメ處崇禮門ノワキテ九禮闈ニ寓直シテツテヨサルゾレニハ天子ノ太官ノ臺処カラ夜食ヲ供シテテウ侍史ハ女官ヲ郎官ノ一ニハ女官ガ二人レテ明朝參内ノ朝衣ニ加羅

書

書か五字ナヲレタレハ明文ニ成テ帝ノ御キゲニ入タガアル。儼若神仙去紛從霄漢

其元ノ英オデ文章ヲ書レタナハ定テ御キケニ入テアラフ。回千春奉休曆分禁喜趨陪

神仙人去テヒラリト宵漢ヨリ下ルゴトク分骨ノスケ通ル。目通リヲ往來スル衣裳ツキカ儼ニスリツナナクヤ
千春正ニカヤウチケツコウナ御世ニ奉シツカテオ徳ノスグレタ其元ト分禁正ニ趨陪スルハ仕合セナギト喜
シ存スルチ春共カワラヌケツコウナ御代ト云フ。趨陪走イキテウヤウフ。陪ハ相伴フ。分禁正ニ去ハ幸氏ハ中
書郎テハ尚書郎。正ニ御近習公キ役ナレ禁中ノ内テ役所カチツ分禁ト云

奉和幸長安故城未央宮應制 宋之問

十二月二十日ノ御幸ナリ漢ノ都ノ跡未央宮ノ有タルハ。漢王未息戰蕭相乃營宮壯麗

長安ヨリハ必北ヘヨツテアル御幸ノ作ヲ和スルナリ。一朝盡威靈千載空

タルハ威靈モア。皇明帳前跡置酒宴羣公寒輕綵仗外春發幔城

トカタモナクナリ。中。今徳ノ明ラカナ天子ノヲ外行幸有テ昔跡ヲラナサカテモガシニナト帳思ノ君ツニ羣臣モ

御酒宴ヲ下サレハ天モ子ノ行幸ニ寒モウタ暖モ思ハレ綵仗ト云ハ天子ノ御先拂ニテ道具

テホコノマリノトモモテ金銀ノ箔ヲ以テサキニ五色ノフサナカサケテアル。樂思廻斜日歌詞

ニレハ御殿ノ外ニ立テアル。綵仗ノ外ニ去カリ御殿中モ若ク春カレクナリ。樂思廻斜日歌詞

繼大風今朝天子貴不假叔孫通。廻斜日淮南子故事テ天子モ樂シ思モ御酒

宴ニ日ヌ水クシタク思モ西傾名目ヲ御威勢ヲ

以テヨヒカヘシ日ヲ三合反ハ魯陽公カ故事アル。天子ノ御制作ヲホテ昔漢高帝沛宮ニ御幸有テ酒醉ニ

シテ大風起テ雲飛揚ト云テスレタ。三云カ今自天子ノ御制作歌詞モ大風ノ歌ニ相繼テヲトラヌスレタ

ヲル以下抑揚ノ天子ハヨクサツラ漢ノ高祖ハ在郷カラ出テ天子ニナラレタニ朝儀ガ治ラシテ叔孫通ヲカリテ

朝儀ヲ起シタ云カ今天子ニライテハ元ヨリ貴イニ叔孫通カウチモヲカルニ及ハ高祖ヨリニサツタナリ

漢ノ初群臣飲酒ニ功アラフ。醉テ安リニ呼ヒ劔ヲ拔テ柱ヲ擊ツ高帝感之叔孫通起朝儀諸

侯王以下震肅ス帝曰吾今乃知爲皇帝之貴也ト云ハレタガアル。奉和晦日幸昆明池應制

世説ニモアル通り正。月晦日ノ行幸ナリ。春豫靈池會滄波帳殿開舟凌石鯨度槎拂斗牛廻

云靈池トハホメタ云ハアル。春昆明池ニ御幸ナサルニツイテ池ノ滄波ニ臨テ假リ御殿ガ押レ開テ立テアル

武帝ノ時ニ池ニ石鯨ヲシラヘタカアル御坐舟ヲ押シ込テ通ル。同シ池中ニ牽牛織女ヲ石ヲ以テコレヲタ

カアル其アタリヲ梓ヲサシテ乗テニワルノ槎ノ字斗牛ノ字ニ縁カ。節晦莫全落春遲柳暗

アルハ假テ梓ノ字ニカヘ以下二句正月晦日上云フヲキカセル。節晦莫全落春遲柳暗

催象溟看浴景燒却辨沈灰。黃柳ハトケイノヤウナ柳テ堯ノ時ニ生シタ當代ヲホメ

シ散ル今晦日ノ一ニ全タ落ト云。春ナガラニタ餘寒ガアルニ柳ナドモモエ出ヌハ暗ニ催スト云。象溟ハ池

ノ大キナリヲ云。溟海ト云ハ海ノ一ニナルニ溟ニ象ルト云ナリ。浴景トハアサ日ノ海水ニ沐浴スルヤニ出

ルヲ云。ニハ池ニ日影ノウツルヲ見テ浴景ト云テアル。池ノ深イハ三ツル燒灰ヲ武帝ノ時

此池ヲホルトテ底カラホリ出サレテ摩唐位法蘭見テ却灰ト云フヲ知タコレ甚タ深イナヤ。鑄飲周

文樂汾歌漢武才不愁明月盡自有夜珠來。今日ノ天子ノ御制作ハ漢

武帝ノ汾河ヲ渡テ秋

風ノ辞ヲ作ラレタニモ少カラヌ今日ノ音樂ハ周ノ文王ノ樂ニヲトラヌ今日ハ珍ラシイ御遊興ヲ終ニ
夜ニハミテ還御ナラヌ今宵ハ晦日ノ月ガナケレバモ若クニナラヌ大方魚ガ明月ノ珠ヲ含テ
来ルテアラフノ昆明池ノ魚ガ武帝ニ
珠ヲ献シタリガアル

和姚給事寓直之作御史ヨリ給事
ニ成タト見ユル

清論滿朝陽高才拜夕郎還從避馬路來接珥貂行其元ノハ大
禁中ヲモス

クレタモノト朝廷ハバノ評判ニ高オヲ以テエラセ出サレ即官ニ仰付ラレタの日暮入對月門拜ス
夕郎上云其元ハ人ニ馬ヲサケラルル御史ノ役ヨリ來テ御近處ニキヲ紹ラサハサハ給事ノナニハラレタ
後漢ノ桓典ガ故事ナリ絶句ニアリ○珥
貂トイタチノ尾ノヤウモノヲ冠間サシテ

茂蘭署得久芳御近處ニキヲ天子ノ御ノハ述付テ格別ニ御寵愛ヲウケラレトノ御史ノ時ニ白
簡ニ邪惡ノ者ヲ書付テ直ニ天子ニ御目ニカケルキツイ霜ノ如クナル威勢ヲ廻テ其
元ノ本役所柏基ヲ烏ヲウツシテ其元ノ役替ヲセラレタニ跡ヲ敏察言
ニル答即官ノ役所蘭署モ其元ヲ得テヨリ外分モヨクサシテアル

禁靜鐘初徹テテシ
テテシ更疎漏

更長曉河低武庫流火度文昌寓直ノヤウスヲ云林裏ニヨモスカラモ靜ニシテイラ
ル時ニ鐘ヲツキ出スト早ク通りヌケノキコノ受ノ
ノ方ハ天河カ低レ時分カラ七月ノ二大火星星モ西南ニアル文昌宮ノ方ニワタリ

寓直光輝

重乘秋藻翰揚暗投空欲報下調不成章寓直ノヤウスモ其元ノ番ヲシ
テイラルユニ人モカクハツニ思

ヒ○乗秋ハ文章モスグレテヨク出來テアラフ翰ハ文章ノノナガモ鳥ノ高ク飛上ルヤウナト云意ヲ含テ
アル○思ヒモヨラズ名詩ヲミルモノナラヌ此方ニ暗ニ投シテクレタニ出來ヌナガラモ和ラシタフ思ハ何ヲ
云テモ下調ノノ章句ヲナサヌガ
残念ナト謙退シテ云ナリ

早發始興江口至盧氏村作

候曉踰閩嶂乘春望越臺宿雲鵬際落殘月蚌中開宋之問カ
南方ニ左

近セラレタ時分南方始興縣ノ江口ヨリ發足シテ盧氏村ト云處ニ來テ作ル○候曉夜ノ明ルヲ見合セ
待テ閩山ヲ越ヘテ越ノ方ヘユク春ニ乘シテ越テ亭ヲ跡ナトヲ見○鵬際トハ莊子ニ北溟有魚其名爲
鵬化而爲鳥其名爲鵬々之背不知其幾千里也怒而飛其翼若垂天之雲トアルユニ雲ト鵬トツリ
アイニ成テ鵬際ト實ニ天際ノノニナル宵ノ内カラ宿雲カミヘタカ曉方ニミレハ天際ニ落テ見ヘヌト云
ナリ○蚌ハ水中ニアルモノヲ蚌ノ貝ノ中カラ玉ガ出ルト云ナリ

桂香多露裏石響細泉回山路ノ体ヲ云夜ノアケルニ隨テ桂香カナトノ音々トシゲリテ
アルガミル枕柳ハ南國ニ澤山アル木テ葉ノ大分ツイテアル

抱葉玄猿嘯銜花翡翠來南中雖可悅北思日悠哉山ノ木葉ノカ
ゲテ猿ノウツ

フク声ガキコ中國ニシラレイ翡翠鳥ガ花ヲ含テトビマルカヤウナ面白イギヲ雖
可悅面白イハナセナレハ都ヲ思フ北思カ日ハルカニ成テイツ歸ルト云ナリモ知レヌ
髮眞髮俄成

素丹心已作灰何當首歸路行翦故園萊
思ラタ丹心モ灰トナリナニモカモヤクニタヌ心ハ火ナリ火ノ色ハ赤ニヨツテ丹ト置タモノデ火ヨリ灰トツリ合テアル何當首歸路都ニ歸テアラナラ故園ノ草ハ茂テアル処ヲ刈リ拂テ引込ム氣ニ成タ古詩ニ方同勝戰者去テ
蘇頌

同錢揚將軍兼原州都督御史中丞
同ト云本集ニツイテ撰シタモノニ其通リ

右地接龜沙中朝任虎牙然明方改俗去病不為家
ニ當ル其元ノ方ル右地西域ノエビス口龜沙ニツイテアル処大切ニ朝撰於其元ヲ虎牙將軍ヲ重官ニ仰付ラレテツカササル虎牙漢將軍ノ号テ龜沙ト對テ其元ノ胡ノ地ニカレテ漢ノ張然明カ如ク吏ノ風俗ヲ改メテセラル漢武帝霍去病カ為ニ第ヲ治トス去病辭メ曰匈奴未滅何家ヲ以テスルヲセシト云ナリ

風搖漢鼓邊月思胡笳
フエテ天子ヨリモキツト壇ヲ設ケテ大將ノ禮ヲ人ノ盛ナラテアルコト度大勢ノ人數ヲ引ツテ塞ニ出ラハ誰カミテモ華ヤナラナカシ又月夜ニ胡笳ヲキカルデ有ト今オレガ思ヒヤル

旗合無邊正冠危有觸邪當
旗合トハ人數ノヨクワラタフニル此ノ方正シキ夷臣カ自ヒ逃付ハナルマイ殊ニ御史ヲカチテカナルニニオソロシイ鬼ヲカフツ

看勞旋日及此御溝花
テ居ラレウニ依テ夷臣カ恐レルデアラフノ解郭ト云ハ御史ガキツト吟味シテ觸レアルフノ勞旋ト云ハ邊塞ニ出テ手カラシメアルト天子ヨリイフ苦勞ニ有タトテ御酒宴ヲ下サレルヲ云ハ大方邊塞ニユカレタナラハ其ニ治メテ歸ラルニテ有フニ依テ御酒宴ヲ下サルノガチヤウツ此ノ御溝花ノ咲ク時分テアラフ祝テヤルナリノ及トハ足チガフニモ及ブハナクヤウツヲ行ク及ナリ

奉和聖製送經華嶽
天子ノ行幸ナサルニツイテ經華嶽ト云ガ天子ノ題テ大華山都ノ西ニ當テ天下ノ五嶽中ノ一ナリ

重嶺應緹騎薄雲迎
先ツ此ノ華嶽ハ都ノ西ニ在テ皇京鎮護ニナル山テ頂上ニ三峰ルニ天子ノ御車ノ玉ノ蓋ト云モノガコタミヒビイテ山ニ應シ緹騎ノ赤イ裝束シタ御先手ガウヌ雲ヲワケ上ルニ迎トイフ

白日懸高掌寒空映削
白日懸高掌ノ掌ノアルアタリニ懸テ三ノ華山記ニ華山四面峻如削成上有五崖比竈破巖而連

成軒遊會神處漢幸望仙情
自下遠望如常第○寒空上云ハワラフ晴レ切タラテ削成峯ニ映シハツキリト三ノ昔コノ山テ黃帝軒轅氏ノ神仙ニ會セラレタ処漢武帝ノヲ山ニ行幸レテ高臺ヲタテ神仙ヲノグマレタ情モ今日天子ノ思召モ同シテアルト昔

舊廟青林古新碑綠字生羣臣願封岱廻駕
テコレコリスグニ天子ニモ駕ヲ廻ラシ岱山ニ御幸ナサレ封禪ノ御儀式ガ有テ天子ノ鴻名ヲモ勒シ我我マデモタラシレテカエリタイモノト天子ヲオスメ申ス心ニ云ナリ

勒鴻名
青林ノ中ニ山神ヲ祭テアル舊廟ハモノ古リテ三ノ此ノゴロ建ラレタ石碑ニモオヌラカニ云ガ生レテアル以下訓解ノ註ワルイ○羣臣臣ガ謙々岱山封禪ノ義ガアレカント願テイルニツイ

張說

西嶽鎮皇京中峯入太清玉鑾

天子行幸ナサルニツイテ經華嶽ト云ガ天子ノ題テ大華山都ノ西ニ當テ天下ノ五嶽中ノ一ナリ

重嶺應緹騎薄雲迎

白日懸高掌寒空映削

成軒遊會神處漢幸望仙情

舊廟青林古新碑綠字生羣臣願封岱廻駕

勒鴻名

青林ノ中ニ山神ヲ祭テアル舊廟ハモノ古リテ三ノ此ノゴロ建ラレタ石碑ニモオヌラカニ云ガ生レテアル以下訓解ノ註ワルイ○羣臣臣ガ謙々岱山封禪ノ義ガアレカント願テイルニツイ

我マデモタラシレテカエリタイモノト天子ヲオスメ申ス心ニ云ナリ

秦和聖製早度蒲關四字天子ノ題テ蒲關ハ汾水ノ関也張九齡

魏武中流處軒皇問道廻長堤春樹發高掌曙雲開昔魏武侯吳起下

西河二舟ヲ泛テ美哉山河ノ固是魏國ノ寶也ト云レタ処今天子モ都御歸リナサル義レハ古黃帝軒轅氏ノ廣成ニ道ヲ問ハレシ回事テアルト聖人ニ比云汾水ノ堤ニウエテアル並木茂春ラニテ花

ヒラキ以下ノ句ヲ題ノ早ノ字ガキニル華山ノ高掌ノアル方ヲ遙ニ見望メ夜々々ニ隨テ雲モヒラキ龍負王舟度人占仙氣來河

津會日月天仗役風雷天子ノノユ水中ニイル龍モ王舟ヲ負テ度リヨノ人ニ天子ノ御歸リナサルヲ云氣ヲ見テリ老子ニ比云河津ガ會

日月天子ノ御供ヲ風雷ガ御先拂ヒラストニル文選ノ相如ノ賦ノ意テアル天子ノ旗モサマアルガ皆模樣ニ日月風雷ヲ圖テアル其ノ云タモノデアル會日月ト正月晦日ノヨキカセタモノデ晦朔ノ間ニ月

カ會スルニ月ガナクナルデアル東顧重關盡西馳萬國陪還聞股肱郡元首咏康

哉東方關ヲ通リ尽ミ西方ノ國々ノ諸侯タチモ天子ノ御歸リヲニ皆御迎ニ出ルイカサメ敬慕一デアル古漢ノ世カラメ此ノ蒲關ヲタリハ都チカクノニ股肱ノ如ク大事ニ思召ス外チヤ元

首天子ノ四海康哉安寧ニ治タマフ詩ニ御作りナサレタヲ見テ股肱ノ者モ皆康哉ヲ咏シ我モ亦天子ノ和韻ヲ仕リマス云フナリ書經ニ元首明哉股肱良哉庶事康哉トナリ

和許給事直夜簡諸公簡諸公ヲ題シ作タ詩テ九齡王諸公内ニ和スナリ簡手紙ノヤウニシテカハスナリ

未央鐘漏晚仙宇霽沈沈武衛千廬合嚴局萬戶深クレアイノヤウスカラ云タ

テテ未央宮ニ於テ入相ノ鐘モナリ日モクレテ禁裏ノ御殿モニモリトオクシク沈タトオクフカク見ヘル武衛ノ夜モスカラハリ番ヲスル役テ役所カクルト取りニウヅテアルニ合ス上云萬戶ニキツト番ヲシテイテ非常ノ者ナトカマツタニ左掖知天近南窓見月臨樹搖金掌露

ノギミノナラヌヤウニイル云フ庭接玉樓陰其元ノ語テイル左掖ハ直ニ天子ノ御近処有南窓ヲヒラクト月影カツムリノリカッテニユルニ接ト云左他日聞更直中宵屬所欽聲華大國寶夙夜

侍臣心此中カラ其元ノカワリ番ニ出ラルト云フバキイテイタガシカト知レナンタニ中宵チヤウドアタシテキタト云意テ屬所欽上云ホメテ其元ノウラニ聲華人ト云モノハ誠ニ大國ノ宝逸興乘高閣雄飛在禁林寧思

竊耕者情發為知音オノノユ興ニ乘ノ高閣ニ登リ詩ヲ作テコサレタガ今夜禁裏ニ寓直シテイル中ニモ其元ニ先達テ飛フ者ハアルミ誰

テモ其元ニツシクモハナシ雄飛ト云ハ男鳥女鳥ニ先立テ飛フ意テアル吾レ元ヨリ詩ヲ作ル氣モナカク其元ノスケレタ詩ヲ見テ思ハスニ和スル情ノ發スルハ其元ノ詩ヲヨビモカア

ル何トトフ思ヤルヲ寧思ヤトカヘツテミハヒレヌノ竊耕ト云ハ樂ノヲナレ此方ノ小謠ヲヨク多ク者ノ迹処ニ居テキクトキニ手前ニ心覺ハアルモハ面白イ処ニユクト思ハスニ手拍子

ヲウツヤウチガ竊耕デアルノ知音ハ鍾子期伯雅ノ故事テ琴ノ音ヲキレル音樂ノ上ニツイタフナリ

酬趙二侍御史西軍贈兩省舊寮之作西軍ノ大將テ

非車

上ツテイテ舊

上ツテイテ舊

上ツテイテ舊

上ツテイテ舊

上ツテイテ舊

上ツテイテ舊

上ツテイテ舊

上ツテイテ舊

寮トイハモトノ相役テ九齡モ同役テ 石室先鳴者金門待制同操刀常願

割持斧竟稱雄 石室天子ノ秘書ヲ藏メテヲカル藏テ予者ノ集ル外テ先鳴

室テ大勢集テイル中テモ人ニ先立テ鳴出レタハツナタナヤ金馬門ニ天子ノ詔ヲ待テ同ク及第

ヲシタモノユヘツナタノ器量ノスケラフヨク知テイルノ操刀割上云ハ世貴帝ノ言ヲ述テ民ヲ治ル

ヲニナル元ヨリオノスケラタ人ユヘ刀ヲ操テ何ツムツカレイ治メクイカアラハ 應敵兵初起

縁邊虜欲空使車經隴月 征旆繞河風 應敵ト云ハコカラアタマカチニ 出スニ隨分敵カサワイテノ方カ

ヲ軍ヲシケルヲ待テトツクトヤウスタ見トケテ此方ノ人数ヲ起シ敵ニ應ニテフセグミツテモ此ノ方

ノ勝テイルノ縁邊トイハ縁ハ衣裳ナトイヘバクルリノヘリノニナル邊塞ノ北カラ西ヲオニハシテ夷兵カ

皆々其元ニ追ハレテ逃テシマフデアラフ 御用テ往來スルコトニ 忽枉兼金訊非徒秣馬功

使車旗ヲ立テ 隴頭河ノアタリヲ往來セラルデアラフ 忽枉兼金訊非徒秣馬功

氣清蒲海曲聲滿柏臺中 此ト隙ノナイ中カラ詩ト云モモツテアルケツコナラ

コレカ柱テアル公其元ノケツコナ詩ヲミルニ徒ニ馬ニ秣ニ武功ノミニアラス文章モスケレタ 顧已塵

人ニアル器量ノスケラタ人ニ蒲海アタリモ靜謐ニ治リ其名キモ柏臺アタリニ滿ルテ有テ 顧已塵

華省欣君震遠戎 明時獨匪報常欲退微躬 其元ヤウナスケラタノモ

テミハ何ノ功モエス歴々トツ役処ニイテ華省ヲケカニテイルハヒカニイ 一チマコナタノ遠戎ニ威テ

フルワルハウラヤメイコテアル御當代ハ明德ヲ御上ニ云ニナラツ功ヲ立テ 御恩ガ報ニテケラフナラ

奉和聖製送尚書燕國公說赴朔方軍 大臣燕國公張

座人當萬里城 仰付ラルニ依テ廟算去算ハ分リコナリ 宗臣ハノ大臣ト云意ノ鎮リテ

朔方三ノ大臣ノ征伐ヲ事トセラルハ一通リノ軍ヲ治ルヤウ大將トハチカフテ休兵コトヲモトニテ行カル

大臣トイハ天ニ於テハ三台人事ノ上テハ三公ニ當テ甚タ重イコト其人トイハ人ヲ萬里ノ城ニラタル

ホトノ人ニ夷兵カメツタニ 朔南方偃革河右輶揚旌寵賜從仙禁光華

出帝京 此ヤウチ人ニ朔南方ニカレテ直ニシヅベリ 兵革ヲヘフシ泊ルデアラフ河右ノアタリニ旌旗

御製作ヲ下サレ花ヤカ ナ鮮テ都ヲ出ニユカル 山川勤遠略原隰軫皇情為奏薰琴倡仍題

珣劍名 山河ノ遠イ處ニテ謀ヲメグラシ勤ル心テユカル世界ノハテ野原沢ノラクマテ天子ノ公ナ

カ「ニナル又琴ノ糸ヲシメヨセルモノヲ云シメタルト云意ナリ」ソレニ今其元ノタノニ南風ノ詩ヲ

音頭ヲ取テウタハレテアル此送別ノ詩ヲサレテ云ハ倡ハランドヲトルナリ 仍ヲ其上ニモ天子ヨリケ

ソコヲ珣劍ニ名ヲカキツケテ 聞風六郡勇計日五戎平山甫歸應疾留

下ナル肅宗ノセラレタナリ 非律

疾功復成

關風トハ先ノヲ云ガキニル処ハ郡ノ武士氏其元ノ家風ヲキイテヨロコビイサン
テ待カケテイルコフシタ勢ヒノヨイフナレヘ日ヲ討テ追付庚辰カ平ラズテ有
仲山甫ハ周ノ宣王ノ大臣ニ張説ニ比ノ云上ノ句ヲウケテ五戎ガ忽ニ
平ラズクニ定メテ早ク歸ラルテ有フ張良カ如ク骨モヲラズ大功ヲ立テ
席豈難行四牡何時入吾君聽復聲
樂器ノ歌鐘ヲ下サルヲ追付
三見ルデアラフ今邊塞ヲヨク治メラタナハタニミノ上ヲユクヤウニ心易クナルデアラフ凱陣
リハ四牡ノ車ニ乘リ何ノ時カ早フ歸ラレテ吾ガ君ノ其元ノ復ス声ヲキイテ悦ハセラルヤウニ
シタイモノデアアル漢ノ哀帝鄭崇カ
復差テレル尚書ノ故事テ親イ義ナリ

奉和聖製暮春送朝集使歸郡應制

朝集使ハ國々ノ郡主
ノ方カラ人別帳ナド
ヲ持テ上テスグニ正月ノ御儀式ニ逢テ歸ル郡主ハ間ニ直ニ來ルモアル
郡主ヲ以テ古ノ諸侯ニ比ノ作ル天子ノ御製作ガアルニ付テシテ和スル也
王維

萬國仰宗周衣冠拜冕旒玉乘迎大客金節送諸侯
春秋ノ時
分ノヤウニ
云ヒカケル唐ノ都イヲ周ト云ヒ出レテ郡主ヲ諸侯ニ比ス萬國ノ諸侯カ皆々唐ノ御世ヲ責ヒキツト
衣冠束帶ヲシテ冕旒ノ御衣ヲメシテゴサルヲ拜ニ來ルニヨツテ玉乘ヲ以テ大客ヲ御迎ナサレ
歸ラルハ金ノ節旒ヲ下サレ道中節モ
ハテ歸ラルハ有フ金節玉乘ヲ重置ナリ

祖席傾三省褰帷向九州楊花飛
今カエラルニツイテハナハケサレキノ祖席ハ三省傾イテ皆官人多ク
ハ馳走スル太守ノ車ハ褰帷九州ハ方々ノ國々ノ一時節ガ春ノ

上路槐色陰通溝
今カエラルニツイテハナハケサレキノ祖席ハ三省傾イテ皆官人多ク
ハ馳走スル太守ノ車ハ褰帷九州ハ方々ノ國々ノ一時節ガ春ノ

章類河漢垂象滿中州
都ニ來テハ正月ノ御儀式鈞天ノ樂ニアツカリ國ニ歸ル天子ノ
憂ヲ分テ民百姓ヲ大事ニカケラル以下天子ノ御製作ノア
イサシテ天子ハ只詩ヲ一首作テ皆ニ下サレ天子ノ宸章ノ御製作ハ天ノ河漢ノ如クニシテ其垂象ノヒ
カリカ九州ニ滿キワタテ殘ル処モナイ大ナル義ト手前ノ詩和作ニ天子ヲホメテ云

來預鈞天樂歸分漢主憂宸
御溝ノワリニアル槐樹ナドモ茂テ水ニ陰ガウカフ

送李太守赴上洛
李氏カ上洛郡ノ太守ニ
成テ行クヲ送ルナリ

南山包楚鄧積翠藹沈沈驛路飛泉灑關門落照深
其元ニカハ
商洛山ノア
タリハ古ノ漢ノ時ハ楚鄧ノ間コトニ春ノイニ山ガ青々トシテ藹トシテオクタク沈々トオクカイコト何ホド
ツビイテアルヤラシメ又山路ヲ登テユカルニ遙ニ高イ処カラ飛泉ナドカクギ落シテ落照ノヨリハ關門
ニイラルナラハサグサビシイコト
アラフ深ノ字ニ氣ヲツケテ云

野花開古戍行客響空林板屋春多雨山
其元ニカハ
板屋ニヒイ
テモノサビシイ海道テオク山ノ家ナドモ板屋根ニシアルニ春雨カフリ
カバサガシイ依テ多シト云山城ニ畫モ雲ガ掩テウスグモワテアリ

城畫欲陰
其元ニカハ
板屋根ニシアルニ春雨カフリ
カバサガシイ依テ多シト云山城ニ畫モ雲ガ掩テウスグモワテアリ

丹泉通號略白羽
其元ニカハ
板屋根ニシアルニ春雨カフリ
カバサガシイ依テ多シト云山城ニ畫モ雲ガ掩テウスグモワテアリ

抵荆岑若見西山爽應知黃綺心
通アル又白羽山ナド云高山ハ山カ楚國ノ
荆山ノ方ニタレテアル西山ハ即商山ヲ商山ノ爽トシタ景色ヲミラレタナラハ古ノ商山ニ隱レテイタ四皓
心ノ高イヲモシラルデアラフ奉行ナハ山ヲミル際ノアルヲヨイトスルニカク云テヤルナリ

非律

晁監ハ阿陪仲麻呂^{アハカ}ガ^カテ玄宗ノ時秘書監ヲシテ
イテ日本ヘカエルヲ送ルナリ

ノハドコマデモツイテ、ハテモノイユヘ不可極ト云。滄海ノ東ニナニガアルト云フモシレヌ。古ハ騶行カ天
地ノ間ニ唐ノヤウナ國カ九ツアルト云タカ。其元ノ歸ラル、日本モ九州ノ内デアラフ。方何程遠イ
ヤラシレヌユヘ。メツタニ只
空ニ乗スルヤウシユカ、
向國ニ惟レ看ル日ヲ歸帆。但信風ニ敖ニ魚身ヲ映ル天ノ黑魚眼ニ射テ

レ波^ヲ 糸^エ風^{キケハ} 暮^ヨ日^ノ出^ル目^ヲア^テニ^シテ 行^ト云^カ 帰^ルト云^テモイ^フグ^フモナラズトマル^フモナラズ
風^シタイニ^シテ 風^ヲタ^ノニニ^ユクト云^モノデアル 海^中ニ 鰐^ノ魚^ノ舟^ヲ吞^ミツ^フナ大^ノ魚^ナトガ
時々^ウカ^ニテ天^ニ映^シテマ^ツ黒^ニ三^ハ魚^ノ眼^ノ光^リガ波^ヲ射^テ紅^ニ見^ル
ニ^ル其^ヤウ^ナ処^ヲ通^テユカ^{ルト}ト云^モノハイ^コフナ^ニギ^ナフデアラフ

郷國扶桑外主人

孤島中別離方異域音信若爲通
其元ノ國ハ日ノ出ルニ近イト云フニヨツテ
 扶桑ノ木ノ近処デアラフ。コタノ主人

孤島ノ中デノ天子ニ其元中国カラ歸リ犬キナフバカリミタ目テハサヅキウクツニアラフ異域ニ別レテイルヲニ音信ヲ通スルト云フモナルマイト思ハ別ニテナグリ惜フ存スル

李白 江夏アル時ヲリク 江臨テ
月ヲミル別ルニツイテ思出メ作ル

黃鶴西樓月長江萬里情春風三十度空憶武昌城
今其元ノユ
カレニツイテ

吾モ共ニ行テ武昌ノ黄雀樓ノ月ヲ見タイト思ヒ出シ長江ニ臨シテノ情サグ面白カラフユキタイ
ト思フノミデ春ノクルタヒゴトニ三十年ヲカタ空ク思フバカリテ武昌ヘ行カズニイル

送爾難爲別
銜杯惜未傾
湖連張樂地
山逐泛舟行
今其元氣隨
九隨共々

ユカレヌヘ爾ヲ送りカコトノ外別レニクウ思フ。今コノ酒ヲ飲テシマフト直ニユカルニ依テ少モ壓ヲ長フ多フ
思テ孟ヲカタフケアノミカナル。扱道スガラ昔黃帝ノ咸池ノ樂ヲ洞庭ノ野ニ張ラレタ此レ名所テアルガ
ソレヲ見ナガラ通フルニデアラフ。舟ニ乗テ山ヲ見ナガラ
通ラルナラサゾ面自アラフ。山ヲミナガラ通ルニ逐ト云

諾ダク謂イハレ楚人重キナ一詩傳ハフ謝眺カ清フ

滄浪吾有曲寄入權歌聲

季布ハ楚國ノモノニ故事ヲ出シテ昔ヨリ楚國ハ人ノタノ
モシイ処ト云殊ニ謝眺ト云名高イ詩人モイタ処ニ今ニ其詩

ノ位ヲ傳テ詩人モアラフ。二句謙退シテ云吾ガ漁父ノ歌ノ如キ詩ヲ作テ送別ニヨセルガ、又メテ船中ノ櫓歌ニテモシテクレラレイ

孟浩然

張説丞相ノ相伴ヲ松滋江ヨリ
渚宮マデ下ル道スヲノヤウヲ作
放溜^{ヨウリュウ}下^{カス}松^{マツ}滋^シ登^{ノボ}舟^{フネ}命^{メイ}揖^{イッ}師^シ寧^{ネイ}忘^{ワスレ}經^{キョウ}濟^ジ日^{ニチ}

不憚^ラ互^コ寒時^ノ
溜^ニ放^ス水^ノ山^ノ上^ニヨリ流^レキ^テヨド^ニテ^フト流^ル、川^ニテアル舟ヲ放^テ溜^ニ
隨^テ松^ノ滋^ノ江^ヲ乘^リ出^スツモリ^テ。舟^ニ登^リ楫^ヲ師^ニコレヨリ渚^ノ宮^ニ舟^ヲヤ

リマセイト命ツケル。二句倒句テアル。沍寒ノサムイフリニ不憚。渚宮ニ下ラルハナグサミノタデハ
ナイ。天下ヲ治ル処ノ經濟ノ政ヲ心ニカケテ忘レズイラル、ユヘテアルト云ガ張説ヘノアイサツナリ。○
經濟ハ政事ノ世話ヲヤイ
テ民ヲ治ルヲ云ナリ

洗^{アヘ}幘^{マタ}豈^ニ獨^{モトモト}古^コ濯^{ソク}纓^{エイ}良^ニ在^{コニ}茲^{ココ}政^{セイ}成^ニ人^{ジン}自^{ヨリ}理^{ツク}機^キ息^ス

鳥無疑シク古（陸通仙人）冠ヲ水ニアラフタト云カ獨リ古ナラシ今テ其元モ仙人ニヲラヌ人テアル繆
濯フト云ヤウナ潔白ナ義毛屈原バカリデハナイ良ニ在茲ソコモトデアル以下張説カ

排律

メ方ノヨイヲ云政事ヲナスニモ事カ小細ニテコセツカヌハ人カ自然ニ理シ治ル列子ニアル海上ノ人機ヲ
クリヤニテアル間ハ鳥カウタカハスニワニナツテ遊ニテ去ラナシト云カ今張説モ無心無為ニシテ治ラル
ルニ民モ自
然ニテツク
雲物凝孤嶼江山辨四維晚來風稍緊冬至日行遲

舟中ヨリ三處ノ景ヲ述テ向ハナシ寫ナトミハ寒イ時分ニ雲カ一処ニカタマツテアルニ依テ凝ト云江山モ
四方ノ隅々ニテハワキリトミル冬ノ夕ニ晚方ニ風カイコキヒク吹テ寒ク冬至ヨリ後ハ日モ少シ長フナ
ルニ依テ人ノ心モ
ニヤカニナル
獵響驚雲夢漁歌激楚辭渚宮何處是川暝欲安

之楚全地ヲ過ルニハ雲夢澤ノ方ヲミレハ百姓ガ獵ヲスル音カサワギ立テ雲夢ヲ驚カシテキコヘ
川ハタ通リニスナドリスルモノ庄ガ奥州ノナマリフシノヤウチ歌ヲ鼻ニカケテスハリニ高クウタフ
楚辭ト云ハ書物ノ名ヲハナシコトハ奥州ナマリナド云ホドノナリ激ハニカニ高クハリアゲテ歌フ意
テアル吾ガ行ク渚宮モトヲト云フモ知ラズ其地コノ地ヲナガメテイルウチニハヤ川モクラク成テ是ハ
ドハユクダト思
フヤウデアアル

送柴司戸充劉卿判官之嶺外
高適

柴ハ氏デ司戸官ノモノヲ嶺南ノ判官ニテリ
オサニ成テイル者ノ下役ニテラレテ行ラ送也
嶺外資雄鎮朝端寵節旌月卿臨幕
府星使出詞曹
其元ノユカル嶺外ハ殘ラス雄鎮ヲナシテモツテイル所雄ハ重イト
云意ニ此字ヲ置タモノチヤノ資ト云フヲチカラニ治ル意ナリ○ソレハ
朝廷ニモ格別ニ節旌ヲ電シタマフテ文官ノ九卿ノ劉卿ガ
武官ニ成テ嶺南ノ役所幕府ニ臨ニ天將ニ成テ向ハル
海對羊城濶山連象郡高

風霜驅瘴癘忠信涉波濤
嶺南ノ景ヲ云海ハ五羊城ニ對シテクワリト押一開イ
ノ霜ノ如クツツスル瘴癘ヲ以テ南方ノ熱ニフモカリ出リル
アラフ唯一トスニ忠信ヲ思ヒコシテ波濤ヲモ何思ハスニユカル
別恨隨流水交情脫

寶刀有才無不適用矣莫徒勞
今其元カ流水ニ隨ノ行カルニツイテ吾ガ別レ
ノ恨モ隨テユクヤウニ思ハレユニハナムケニ
吾ガ天爭ノ寶刀ヲヌイテアル其元ノヤウナオノアルハトコヘ行テモ適ハヌトハナク皆人カモテヤ
スモノヲ折角息火テトモフニムダ骨ヲ折ラズニ功ヲ立テ歸ラレイトリ

陪竇侍御泛靈雲池
竇氏カ北方邊塞ノオサヘライルトミル靈雲
池ヨリ川ノリ出シテ船遊山スルナリ

白露先時降清川思不窮江湖仍塞上舟揖在軍中
七月初ノツカ
露モクタフヌハツナヤニ邊塞ノノ二時侯ニ先立テ降り来リ出シタ処ノ川ノ面ノ景色面白テ
思ヒキワラヌイカサニ南方ノ江湖ノ舟遊山ニ出タヤウニ思ハルガ能ク氣ヲ付テミハヤリ邊塞
テ舟モコノカノ
軍中ニアル
舞換臨津樹歌饒向颺風夕陽連積水邊色滿秋空

妓女ノヲトリコソセテ舞モ歌モ川ハタ通リノ木ヲアテニ此ノ木ヨリアノ木ニテナリナニフミ
ト云ウニツレヨリサキハ段々換ヘルテアル歌モクレ方カケテサニ風ト同シヤウニウタフイカサマ面白
イフデアアル夕日カゲカ川ノ面ニ横スジカイニ
水ニウラナリ秋色カ空ニミチテ面白イ
乘興宜投轄邀歡莫避驄誰憐持弱

羽猶欲伴鸛鳴
カヤウニミツラレイ興ニ乘ソ桑タフニツイテモイルガヨイ平生御史ノ
ユハ恐レルナレモ今日オオス打クツロイテユルリトナダサウト存スル
非律

吾が此ノスミヤウナ羽ガイデ大鳥トアハウト思テイルヲ誰レモシホラシイハトアワレデ
クレルモノハアルマイ

行次昭陵 唐太宗ノ陵ナル処ニ行キカリ太宗ノ
功ヲ立ラシメタルヲ問フ心ニ作ルナリ 杜甫

舊俗疲庸王群雄問獸夫讖歸龍鳳質威定虎狼都 隋ノ末ノ
ヲ云ヒ出シテ

隋ノ末ノ舊俗、庸王ガ庸ハ凡庸デナリ、主人ニツカレテカタキニ成テタルヲ云フ、天下中ニ英雄ガ
起テ煬帝ニ云ヒカツテ、ナゼコノヤウセシタト責メ問ツテ取テケルヤウニシタ、獨夫煬帝
ヲサレテ云人ニ見ハナカレテヒトリハナレ、男ト云フ、太宗ノ四歳ノ時、三才者ガ三才竜鳳ノスカタアル
ニツテ天下ヲトル人ト未來記ヲ云タ、果シテ其通りニ成テキテハ八歳ノ年ニ切テ出テ天下ヲトラレタ、乱
世ニ虎狼ノヤウニ人々ノカミテイタ思入
テ太宗ノ御威勢ヲ以テ押潰シレバタ 天屬尊堯典神功協禹謨風雲隨絕

足日月 其主モ太宗ノヲトナシ義ハ手前ハ天子ニナラズニ高宗ニ即位ヲサセテ手前ハ
諸侯ニ成テイフレタ天屬ハ天然ノ御之キト云意、元ノ太子建成ハ惡人ナリ有タ

三堯ノ舜ニタヤウ位ハ自然ニ太宗ノ手ニ入テキタ其世界ノ神妙ヲ云ラレタ、功ト云モハ夏ノ禹王ニモ
オヨラヌ人アル殊ニ臣下モ皆思ヒ合タリニ絶足ノ馬ノ足ノ早イナト云ヤウニ何モナクナツトノマニ
天下ヲトラレタコレヨリ日月ノ如ク 文物多師古朝廷半老儒直詞寧戮辱賢

天子ノ御位ヲ數代御シナサレタ 路不崎嶇 文物ナシヤカモ皆古ヲ師トシ古ノ如クニセラレタ太宗ハ學文スギラセラレタハ朝廷ニ
モ學文ノ功者ナ儒者モ大勢集リギツイ諫メナドヲ云モノヲハ天子モイヤガハモノテ
アルガ能ク諫言シキハ人テ諫フ云モノニ戮辱ヲクワヘルト云フモノナク賢者ハ道ノサカシ
ヤシナク立身サセタル以下訓解ノ註非ナリ起句ヘカヒリテ太宗ノ功ヲホメルナリ 往者

災猶降蒼生喘未蘇指揮安率土盪滌撫洪鑪 往者ハ隋ノ末ノ
云隋ノ末ハ天ヨリヒタ

モノ災カ降ラ蒼生モカタキニ成テイル処ヲ太宗ガリマナシ率土安寧ニ
治メラレ民ヲ撫テ安メラレ天下ヲサハリト洗ヒヌメタルハ洪鑪ハ天地ニ化イ 壯士悲陵邑幽

人拜鼎湖玉衣晨自舉鐵馬汗常趨 太極程ニスドノマタノ氣象ナ男ガ陵
來主モ太宗ノ功ニ感シテカチニ

ナゲカモノハナイノ幽人ハ手前ヲサス吾レ此ノ外ニ来テ太宗ノ陵ニ感シテイルハ御廟中ニ太宗ノ御衣
ヲ入タ唐ノ櫃ガアルガ時ハ御衣カヒトリ出テ箱ノ上ニアルト云フ大功ヲ立タスノ意ハ死テモ消ヘヌト
云ガ誠ニフウモアルソウチ鉄馬ニ乗テ時々カケ 松柏瞻虛殿塵沙立暝途寂寥開國

ニソラルンウデ汗ヲナカシテイルト云フガ 日流恨滿山隅 此方ノ目ハ只松柏中ニ虛殿ノ建テアルヲ見テ塵沙ノケカラハイ暝途ニ
立テタル境界ニハ太宗ノ魂ノサワイテアルカモ見ヘテアル唯寂々トモサカヒ
シフテ太宗ノ國ヲヒラカレタ時分ヤウナハナイニ盛ニナリヲ思ヒ出シテミレ頻リニモノカナシナ
ジテキテソラ中ノ隅々ニテ滿チワタル流ハツキ又意ナリ

重經略 重
二略 草昧英雄起謳歌曆數歸風塵三尺劍社稷一戎衣 草昧ハ天地
ヲケサルヲ

サレテ云ニ依テ隋ノ末ノ乱レ立タ世ノ中ヲ云ニナル此ノ乱レ立タ世ノ中ニ英雄太宗ノ起ラレテ天ノ曆數
ノ歸スルト云フハ先達テ謳歌ニラハレタ隋ノ煬帝ノ生キテイラルウチニ楊枯李盛天之曆數有
爾身ニ云ハヤリ歌ガ出タノ舜ヲ謳歌セシヲ云ヒカケテ云漢ノ高祖 ヨクリヤ
ノ如ク三尺ノ劍ヲリ推テタツタ度軍シテ天下ヲ治ラヌ武王如テアル 翼亮貞文德丕承載

武威聖圖天廣太宗祀日光輝

異亮二字太宗親子、三子唐高祖、二子太宗親子、三子唐高祖、二子太宗親子、三子唐高祖

文德負實ニカラス保ツテイテラカラ天ヨリ大ニウケツサル即位セラレテヨリ號アラギナ武威ヲ袋ニハレサメテ文ヲ以テシテ治ラセタル外ノ計ハ天ノ如ク廣大ニシテ太宗祀七日ノ如クニカヤイテ

陵寢盤空曲態羅守翠微再窺松柏路還見五雲飛

王閬州建泰酬十一

陵ノ寢廟カ山ノ間ニ建統テアル外ノカマノ方ニ武王臣ガキツト番ラシテイル重テ松柏道ヲウカヒ宗廟ノ高イヲ望ミ見レハ何カハシラス五雲ノ乘ノ通ルヤウニ見ユガニ神聖ニテセマフウチ

萬壑樹聲滿千崖秋氣高浮舟出郡郭別酒寄江濤

谷川ヲ乘リ出ス景色ヲ云秋ノ三谷川ノロニアル樹聲ノ鳴ル音ガミチワタリ舟中ヨリ千崖ノイハハノ方ヲ仰イテミレハ秋色ガソラ寒フスミホツテ高クツレヨリ舟ヲ國ハツレテ乗リ出直江濤ノ波ノ上ヲ酒モリノドコロニ

良會不復久此生何太勞窮愁但有骨羣盜

尚如毛

カヤウチ出會ヒテモ明日マデカレ又今ノマ別レテシマスナラヌドコヲテオレハ此ヤウニナギラヌルゾ至極愁ヲキメテ其身毛骨バカリニ成タラニアリ乱砌リナレハ盛人

吾舅惜分手使君寒贈袍沙頭暮黃鶴失侶亦哀號

春歸

蜀ノ草堂三年メテ

苔徑臨江竹茅簷覆地花別來頻甲子歸到忽春華

江ノ方ヘコミチガイテアル春ノユニニ吾ガイル茅ノ軒ノ下ニ花ガ散テアル頻甲子ハ左傳ノ字ヲ用テ頻年ノ意ナリ頻リ申子ヲ歷テ今歸アミレハ三年メテ春ノユニ花ガモ見丁ニ咲テアル

倚杖看孤石傾壺就淺沙遠鷗浮水靜輕燕受風斜

此ノ石モ替ラス元ノ通りデアルヨト氣ヲツケテミテ是ハ一盃ノマスハナルマイト思テ沙地ニツイテノミカケル遠ク向ク水面ヲミレハ鷗ナドカ水ニモ靜ニ浮デテリ燕ガ風ヲウケテ横スナカイニ飛テテク面白イデアル

世路雖多梗吾生亦有涯此身醒復醉乘興即為家

江陵望幸

モト代宗ノ吐蕃ニイナラレルライヤニ思召入江陵ニ都ヲウツソウタイワレタガアル会杜氏江陵ノ東ニキタイテ会テ天子モコヘ御幸ナサレヤ

雄都尤壯麗望幸歟威神地利西通

蜀天文北照泰

上元年中ニ江陵ヲ南都ト稱シタノサテ此ノ江陵ハ尤リッハテ威神ノクライカアガツテキタヤウニ思

非事

ハルハカサマノ外ハ自由ノイニテ地理ヲイハ

風煙含越鳥舟楫控吳人未枉周王

駕終期漢武巡風景ハ越ノ方ヘヨククシテアリ船路ハ吳國ノ方ヘカケ何ヲトリヨセウモ自由ナ

波起涸鱗サレ程甲兵ヲ以テモスヲ防クヤウナメハ聖目ヲ分テ臣ニ仰付ラレテ都ノ御留守

奉觀嚴鄭公廳事岷山沱江圖廳事ト云ハ此ノ方ノ書院サ

江ノ圖カ沱水臨中座岷山赴北堂白波吹粉壁青嶂挿雕梁二句

微茫杉松ノヤウスヨク書キ取タニニ冷トスルヤウニアルハ合点ノユカスト思フホドクノテアルハ

直訝杉松冷兼疑菱荇香雪雲虛點綴沙州得

嶺雁隨毫末川ニチヨツト切レクニ畫テアルガ繪ノナレバワキヘ飛ト云フモナイニニ虚ト云

川ニチヨツト切レクニ畫テアルガ繪ノナレバワキヘ飛ト云フモナイニニ虚ト云

嶺雁隨毫末川

嶺雁隨毫末川

霓飲練光霏紅洲蕊亂拂黛石蘿長

嶺雁隨毫末川

暗谷非關雨丹楓不爲霜秋城玄圃外景物洞庭

繪事功殊絕幽襟興激昂從來謝太傅

丘壑道難忘二句トニ殊絶ニ世間ニスグレタケツコウナ繪テアル。靜カナ山水ヲ愛スル処幽

嚴武ハルハノ楓ノ葉ナドガ紅葉シテアルガ霜ニテハナイ。底山ノ上ニ家ガ畫テアルガ仙境ノ玄圃ノヤウニ

冬日洛城北謁玄元皇帝廟廟有吳道士畫五聖圖

禁籞長守祧嚴具禮掌節鎮非常サテ北ノ老子ヲ天ニ於テハ第一重イニ北極ニ

唐ノ世テ老子ヲ先祖アリニシテ廟ヲタテ祭テアル其中ニ吳道士ト

配極玄都闕馮高

女都ハルハノ楓ノ葉ナドガ紅葉シテアルガ霜ニテハナイ。底山ノ上ニ家ガ畫テアルガ仙境ノ玄圃ノヤウニ

女都ハルハノ楓ノ葉ナドガ紅葉シテアルガ霜ニテハナイ。底山ノ上ニ家ガ畫テアルガ仙境ノ玄圃ノヤウニ

女都ハルハノ楓ノ葉ナドガ紅葉シテアルガ霜ニテハナイ。底山ノ上ニ家ガ畫テアルガ仙境ノ玄圃ノヤウニ

トモリヲシテテラクの掌節ハ主大將イデ大勢ノ武ヲ
ツレテ非常ノモノ入モマヤウニ急度番ヲシテイル 碧瓦初寒外金莖一氣旁山

河扶繡戶日月近雕梁 屋根ノ瓦ナドモ青々トシ初寒外ト云ハ冬至ノイニサムクニシルニ
九金莖ナドカツト高フ人間ノ氣ノジラヌ天ノ元氣ノカタラテ

モトイテアルヤウニミハ繡戸云ハ廟ナリモノヲシタ戸ビラテ廟ノワリニ山河ガトリニハシテアル扶ト云ハ左
右カカヘイルヤウナアバイナリノ高イ処ニ廟カ立テアルニ天ノ日月モ雕梁ニホド近フ隔ラヌヤウニ見ル

仙李盤根大猗蘭奕葉光世家遺舊史道德付今王 庭ニ李子樹カ
大ト根バリモ大ニ老子ノ德モスエハリニ盛ニナルノ蘭ナドノウエテアルカ見テニ枝葉カサカテアリノ後漢

ノ宣帝ハ猗蘭殿テ生レタユヘコヘ田シタ枝葉ノサカルト云モノハ子孫ノ繁昌ニナルヲ漢ノ大史公司馬遷
カ史記ニ孔子ナドヲ世家ニノセ老子ヲハ列傳ニセテ何氏思ハヌヤウニナル然レモ老子ノ道德經ト云モ

ノカタクナラヌモノ今王玄宗ナドノ時代ニ成テ德ガ盛ニラハレテキタ玄宗ノ老子ニ註ヲセラレタ以下
道士カ繪
ヲホメル

畫手看先輩吳生速擅場森羅移地軸妙絕動宮牆 吾
先輩ニモスケレタ画カキ匠カ沢山アルガ吳道士ガ画ニツクハナイノ擅場ト云ハ相撲トリテイハ大關ナド云

義テ画カキノ中デモ道士ニツクモノハナト云フニナルノ天地ノ間ニアルトアルニ草木ナドヲウツシテ持テ
キタヤウニミハテ神妙ニエカイタモノニ 五聖聯龍衮千官列雁行冕旒俱秀發

廟ノ壁カラ動テ出ルヤウニ見ユル 五代ノ天子タカ方衣龍ノ御衣ラメシテ列ツラ子テ画テアリ天子ノワキニツクモ官人
旌旆盡飛揚 旌旆天子タカ方衣龍ノ御衣ラメシテ列ツラ子テ画テアリ天子ノワキニツクモ官人

ガ席領ツラカテアルハ冕旒ノ玉ノ冠ヲメシテ御座ナサレガイツモ發明ニミハテ旗
ナドモヒラクト飛揚スルヤウニ見ユル 翠柏深留景紅梨迥得霜風簾吹玉

柱露井寒銀床 柏樹ノ下カ茂テ日ノ影ヲトメテオグラフニ銀床ナドカ霜ヲウケテ紅葉シテ
アルノ廟ノワリニ風鐸ナドカサガツテアルカ柱ニツキアタツテアリノ屋根ノナイ

井ガ冬ノコトニ井桁 身退昇周室經傳拱漢皇谷神如不死養拙更何
マテ氷リカツテアル 在郷ノモノテ素讀ヲサセラレタナルホド能ク懷キヲメ治ルト云ヤウニシヨリ治タラ老子ハ神ヲ思ニメヤシ

郷 老ノ周室ヲ世ニイヤレイ書物藏ヲ番ラシテイラレタガ世ノ衰ヲ見カギリテ引込レタソレヨリ周
室ガイヨク衰タ其後ノ音モ沙汰モナカツタガ漢文帝ノ時ニ至テ老子經ヲモツテ無為ニ治ルト云テ

在郷ノモノテ素讀ヲサセラレタナルホド能ク懷キヲメ治ルト云ヤウニシヨリ治タラ老子ハ神ヲ思ニメヤシ
ナフテイレハ死スモト云ハレタ人ハ賢カワルイ隨分拙ニオロカナガヨイトイハレテアルガ老子ノミテシカレタ通り

ニモシ死ナズニイラレヤウナラバ拙ヲヤレナフテ大方ゴゾニ居フルデアラフト云テ實ハ當時ノ仙人グルイ
ラスルニアテ云ナリ 聖善閣送裴迪入京 聖善閣道觀トミル
裴迪京都ノ行別ル也 李頎

雪華滿高閣苔色上勾欄藥艸空堦靜梧桐返照寒 朝夕雪ガ高閣
ノウニ消殘テア

疾携手暫同歡墜葉和金磬饑鳥鳴露盤 上ノ手ナ詩人バカリ集テ詩ヲ作
ニカヤウチモノ靜カナ境地イヅレモ

向西看舊託含香署雲霄何足難 今伊水テ其元ニ別ニツイテ其元ハ灞
水ヲワタリテ東ノ方ヲミテ別レヲオシミ

伊流惜東別灞水

水ヲワタリテ東ノ方ヲミテ別レヲオシミ

我ハ西向テ灞水ノ方ヲコシテ思テ望ミ看ルデアラフ。今都ニカレハ其元モト即宮ノ一ニモナク立身セラルデアラフ。託ハヨセアツケル意ニ便リニナルデアラフト云フナリ

早秋與諸子登魏州西亭觀眺 岑參

亭高出鳥外客到與雲齊樹點千家小天圍萬嶺低此西亭ハ山上建テ有テ高ク飛鳥ノ上ハ出テアル今コノ処ニ上テミレハ雲中ニイルヤウナリ亭ヨリ見オロセハ樹木ノ間ニ千家ガヒト云フボツチリト點ヲウツタウニ三四方ガタレ下リ山ガヒクウミル

急雨過關西酒榼綠青壁瓜田匳綠溪遠ク陝北ノ方ヲミレハ初秋ノ一ニ虹ガキエコツテアリ關西ノ方タリヲミ

テイルウチニ冬チニ小雨ガ降テ通ル亭ノ左青壁ノキリ岸デ其友亭ガヨリカッテアルヤウニミル榼上云ハ吸筒ノヤウナモカヲ酒ヲ出シテノナリ亭ノ右ノ方ハ谷川ガ流レテ通ル其カタワラニ瓜田ガ作テアル

微官何足道愛客且相携唯有鄉園處依依望不迷常ハ官ガミル

ラナゲル今今日ハ其ヤウナコトゾナイ愛客ツキ合ニ世間ムキノコハウチ忘レテ云フニタラス面白ケレハ唯高イ処ニ上ルト故郷ノ方ガ依々トシテドフモ望ミ不迷ハツキリトミテキノドクデアル

清明宴司勳劉郎中別業 清明三月ノ節寒 祖詠

田家復近臣行樂不違親霽日園林好清明烟火新劉氏ハ田舎スミヤウミレテチ靜ニシテイルケレハ亦カモ亦天子ノ近臣デアロ應テ不違親ト云ハ郭有道ガ語ナリ隱者スミヤウミレテチ靜イラルガ行樂ヲ親シイモ不違風流ナ人デアル三月ニソラモ晴レ切テ園林ナドモ面白イ清明ノ日ハ火

ヲ切リカハルニ以文常會友惟德自成隣池照窓陰晚杯香藥味春論

ニモアル通り劉氏ハバトナレイル人デ朋友ノツキ合ニ文章ヲ以テ德モスグレタ人ニ聚テイル者モ皆同シモノスキナ人バカリギヤノクレ方風流ニ池ノハタノ某草畠ノキワデ酒モリラスルニ某草ノ香イガ杯中ウナハ

ラク欄前花覆地竹外鳥窺人何必桃源裏深居作隱淪欄前ニハ花ガミキモ桃源ノウナ深クカクレデモス此ノヤウナ処ニイレバヤリ桃源ノヲモキニ必ラスデアル

モナク地ヲ覆テ咲テアリ竹藪ノ外ノ方ニ鳥ガ人音ノセヌ時ナキハ古ノスル時ハナカヌニ窺フト云何ソ桃源ノウナ深クカクレデモス此ノヤウナ処ニイレバヤリ桃源ノヲモキニ必ラスデアル

奉使巡檢兩京路種果樹事畢入秦因詠歌 兩京ノ路ノナミ水ガ枯レ

タ処カアルニ植ヘセイト仰付レテ奉行ニ成テウユルナリ秦トイハ長安ノ都ニ歸テ作ルデアル某樹ノ道通リノ為チルヤウニ果栗ナドヲ種ル也

聖德周天壤韶華滿帝畿九重承渙汗千里樹芳菲御當代天子ノスクレタル処ニ聖德

天地ニ行ハルニ春モドカニテリワタリ中華ニミナクテ吾ガ九重禁裏ニ於テ天子ヨリ兩京ノ路ノ果樹ウニセイト諭言ヲタムリノ王言如汗ト云フ意デ渙汗ト云フ易ノ渙ニ又詩デアルヨリミナ里道ハタ通

リニ花ガ實ノル芳非ヲ植タテ見タレハ 陝塞餘陰薄關河舊色微發生和氣動封植衆心歸

陝西ノ方タリモ餘寒ガウス成タヤウナリ關河アタリモ並未ヲ植テミタレハ元トサヒレイ早色ハナクナリ衆心ノナレハ陽氣ガ發動シテ諸木モ根ツク時分テ勿論民ノ為ニサレハミナ衆心ガ歸レ悦ヒ立テウユル

木ノ根本ハ土ヲヨセルナリ 春露條應弱秋霜果定肥影移行子蓋香撲

ニヨク根ガクデアルノ封植ハ 春露條應弱秋霜果定肥影移行子蓋香撲

木ノ根本ハ土ヲヨセルナリ 春露條應弱秋霜果定肥影移行子蓋香撲

木ノ根本ハ土ヲヨセルナリ 春露條應弱秋霜果定肥影移行子蓋香撲

木ノ根本ハ土ヲヨセルナリ 春露條應弱秋霜果定肥影移行子蓋香撲

木ノ根本ハ土ヲヨセルナリ 春露條應弱秋霜果定肥影移行子蓋香撲

使臣衣

春露ヲカフツテ條毛弱クカヤイナラフケレ秋ニ成テ木ノ実ノリガヨイテアラフ都海

道ノユニ歴々ノ公子方ガキヌ登ヲサレテ通ラルニ色々ノ木ヲウヱツケテアル路ヲ段々ニ影

ガウツテ通ル又御用ヲ通ル使臣ノ衣裳入徑迷馳道分行接禁闌何當扈仙

ナド花々香ガバツトウチツケルマニ香テアル

躡攀折奉恩輝

吾カコノ並木ヲウヱタ街ハテミ分ハ天子ノ御成リ道テヤイカト迷フヤワテ

行營酬呂侍御

劉長卿

行營トハ行クサキニ俄ニ出来タ陣屋ナリ此營ニ三軍イキツシタ大臣カ大將ニ

成テイテ國々ヲ年貢ヲ取テ兵糧ニスル呂侍御ハ其下役テ詩ヲコレタニ酬ナリ

漢將營受辭瞻左鉞扶疾拜前旌

劉長卿ハ淮陽太守威テイルニ兵糧ヲ出セノ

キテハ鉞ヲバ子ナラフ淮陽ニテノナルニ汲黯卧閣故事ヲ出シテ少々氣色ガワイト云テモ吾ガニ臥テイル

一モテス毎日大將ノ陣屋キテ御キケシ伺イ大將ノ下示ヲ受テ出府テ大將ノ左ノ鉞ニ立テアル下カラミダ

氣色ガウルウテモカハス先手

井稅鵲衣樂壺漿鶴髮迎水歸餘斷岸烽至掩

孤城

年貢ヲトルモ呂侍御ノセワノキヤシガヨイニツレテ著テイル貧乏ナモノモ思ハズ二年貢ヲ出ス鵲

以下二句淮南ノ治ニクイヲ云洪武後ニナシ役立ヌキ岸

分リカ殘テハヒタキサワキカ起テモヤイル孤城ヲ多クササアル

晚日當千騎秋風合五兵孔

璋才素健

然レ仕合ナリ人ニヒクイ騎ニモアルヤウナニ云ノ来ラルコ

早廻檄書成

日クレモノサヒイ時分モナニ思ハヌ此ノヒスノサワク時分ナレ

大將ノ兵ヲ各シテイルニソレカニシル殊ニ其元ハ古ノ陳琳ニ少ラヌ

送鄭說之歙州謁薛侍郎

鄭說ハ諸生トミル薛侍郎ハ侍御ノ官

漂泊來千里謳歌滿百城漢家尊太守魯國重諸生

ナレ侍御ヲス落フレテ千里ノ都ヨリ来テ今歙州ニユカル其元ノ方ル処兵

入亂山行

歙州ハ孔子ノコサツタ処ニ風俗モヨカツタカハスイヲ治メクイヒゴキケハ薛侍郎清和茶

俗變人難理江傳水至清船經危石住

下

下有康成

滄洲世ハナレタ隱者ノ趣ヲエテ今其元上処ニキタラ思ハレ

老得滄洲趣春傷白首情嘗聞馬南郡門

又唯クエクイタニテイルガリナカラ薛侍郎ノ門下ニイラル模様ヲミシタ

漢馬融

カ第ニ鄭玄カアリレ如ク主從ニスラオデアル

上云カ挨拶ヤ鄭氏ニ鄭玄カ故事ヲツカフ

唐詩國字辨卷之四終

唐詩國字辨卷之五

七言律

七言律ハ一句ヲ下スカムツカシ。先ツツリ合格調カオモテ五言律ノヤウニ
故事ヲタクサシ用イテモワルイ。一向ニ故事ガナケハ見トモナクテナラヌ

古意

古意ハ樂府題ナリ樂府ニ盧家ノ少婦トナリテ又盧
家ノ字ヲ莫愁ト云モカアルト云ニシテモヨイ

沈佺期

盧家少婦鬱金堂海燕雙棲玳瑁梁

起句ノ分ハ離レモノニ成テニ通リニ見ユ
ニ通リハ盧家ノ少婦ガカサリタテタ

座敷ノ内ニ夫婦ナカヨウ海燕ノナニ棲テイルヤウニシテイルトウララテ夫ヲ征伐モツテ今ニ歸ラヌト云
モニル又ラレガ此盧家ニ嫁入シテキテ海燕ノ並ニ棲テイル如ク夫婦中ヨウイタモノヲフツト夫ガ征伐ニ出テ
今ニ歸ラヌト云義ニモ
九月寒砧催木葉十年征戍憶遼陽

咄シシ出シテ盧家
ノ少婦ガ夫婦中ヨウ

白狼河北音書斷丹鳳城南秋夜長

白狼河ノアタリハ遠イヲニ狀文ノ便リモ
斷ハ我ハ丹鳳城南ニ只ヒトリ夫ノノミ

誰爲含愁獨不見更教明月照流黃

此ヲリカラ誰
カ何モノゾイデ

フルフ笛ノ曲モ多イニ夫トヲ慕フ獨不見ノ曲ヲ吹ク更月マテ闌ノトバリニサレコニ入心ホツイノ流
黄ハ漆色ノ名テ此方ノ玉虫色ナド云ヤウナエノテ女中ノ闌ノトバリヲ流黃色ニスル題ノ古意ハ固
然ニキカ作テアルニ獨不見ト題シテアルノ訓解ニ木葉ノ出処カ出シテアル甚タワルイ遼陽ト對テ
ハツレタカ結句初唐ノ格テ面白イ木葉ヲムリニ地名ニシタガルハ詩ニ不案内ナ義デヤ

龍池篇

龍池篇ト云商雅ニ玄宗ノ親王ヲ隆慶坊ト云御座有々時坊ノ南ノ大地カサケテ大キナ池カ出來タヲ中宗ノト者ニ占セテ御覽シタス

此処ヨリ後天子ニナル人カ出ヤウト云々
案ノ如ク玄宗ノ出テ天子ニ成タシヲ出
龍池躍龍龍已飛龍德先天天不違

易ノ乾ノ卦ノ言ヲ以テ先ツ隆慶坊カタハラノ池ヨリ龍カ飛テ出テ已ニ天子ニ成タ易ノ乾ノ卦ノ言ニ飛龍在天ト云其龍ノ德ハ先テアラハレタケレ天ノ御存シナサレタユニ天ニ違ハズ天子ニナラセラレタス此句ヲウ

池開天漢分黃道龍向天門入紫微
開タ処ヨリ出タ龍カ天門ニ向テ紫微宮ニ入リ天子ニ

邸第樓臺多氣色君王鳧雁有光輝
ソノ隆慶坊ノ邸第樓臺ニテモ格別ニミツ

多イカ能ク成リ天子モ時々行幸ナサレ君王ノ御覽ナサレヨリ水中ノ白雁ニモ格別リズニナツタ
為報寰中百川水來朝此地莫

東歸
ソレニ天下ノ百川ノ水モ必ス東海ニ流ルニ及バ又皆此地ニ來朝シタカヨイノ水ノ東海ニ歸スルヲ官人ノ都ニ來朝スルニ喻テ云

侍宴安樂公主新宅應制

安樂公主ハ中宗ノ御娘子ニ此度新タニ御別業カ出來タニツイテ天子ノ御幸

ナサレテ御酒宴ニ預テ作ルナリ
皇家貴主好神仙別業初開雲漢邊
皇家ハ天子ノ家第ト云ホレフ此姬宮アギナ

物スキヲナサレテ人間ヲ離レタ神仙スキヲナサル
山出盡如鳴鳳嶺池成不讓飲龍

川
ニサテ此ノ赤子ノ築山ナトモ昔ノ鳴鳳山ヲツシ池ト云ハ黒龍カ出テ水ヲ飲タ渭水モ不讓廣大ナリデアル
粧樓翠幌教春住舞閣金鋪

借日懸

公主ノ化粧ヲナサル化粧樓カトモ見ナ幌トバリナトカケタテ不斷常住春トビツテ有ルヤウニ思ハルト云カ女中ノ顔色春ヲ留メテイツニテモ若クテ居ルト云ニナル舞

閣ニオテアル金銀ノ金ナ具モ天子ノ御威勢ヲ以テ日ヲ借
敬從乘輿來此地稱觴獻

壽樂鈞天
レ今我天子ノ御供ヲシテ此地ニ來タ故ニ公主ノ天子ヘ孟ラ上ラレテ日出度壽ヲ獻セラレ常ナラヌ音樂ヲ聞テ樂ト云モノハ有難イコテアル鈞天樂ハ天上ノ樂テアル

紅樓院應制

紅樓院ハ此ノ方ノ紫宸殿テ護摩ヲ燒祈禱ヲスルヤウニ彼方テモ内道場カ立テ有テ天子ノ歸依僧ガ聚リテ祈禱ヲ

スルソコヘ天子ノ行幸ナサレテ詩ヲ作リシイト有テ作ワタテアル
紅樓疑見白毫光寺遍宸居福盛唐

裡ニ白毫ガ有ツモノナイモノト疑イ見レハヤハリ紅樓院ノ御佛ノ白毫テアル此寺ハ天子ノ御座所宸居ノ近クニ有ルソ何故ナレハ唐ノ御代ノ福ヲ祈禱スルテアルノ法華經佛放眉間白毫相光ヲ

支遁愛山情漫切曇摩泛海路空長
昔ト支遁カ切ト急ニ清淨ナ地ヲ覺シタト云ガ曼漫リニツタナフト云モノ然レハ禁裡ノ内ニ紅樓院ノヤウナ清淨ナ処カアルナレハ山ヲ愛シ引コムニハ及ヒサウモノナイ者デアル達

摩ノハルく遠イ処ヨリ海ヲ渡テ來ラレテ程ナク山ヘ引コモレタハ曼ダ路ヲ歩メレタト云モノテアル抑揚

經聲夜息聞天語
直ニ天子ノ御殿ヘ近イ天子ノ御咄ノ音ナカ聞佛前ノ

誰謂此中難可到自憐
深院得徊翔
香ノ烟ト天子ノ御香烟トツニ接ス
誰謂此中難可到自憐深院得徊翔世

者ハミナ此中ニ天体ノ一デハ至ラヌト云カ今吾レ深院ニ徘徊スルヲ得ルト云モノハ我身ナカミ任合セナ義ト自ラ憐レムノデアルトナリ

再入道場紀事應制

前ノ詩ニモ云通り禁裏ノ内道場テ時
時官僧ガ聚テ法華八講ナト有処ノ

ヲ紀スルノデアル再ト云ハ南方ニ度トザ一役ニ追ヤラセタ者ガ
中宗ノ御即位ニヨツテ召カハサレ御近所ニ成タモノト見エ

南方歸去再生天

内殿今年異昔年

此度御恩ヲ以テ南方ヨリ召返サレ再ニ御前近ク召仕ハルト云
モノハ天ニ生タ如ク有難イ義イカサニ御代ノ易タ故カ内殿モ

御前代ノ時ヨリ物コ

見開乾坤

新定位

看題

日月

更高懸

上ノ句ヲウケテ
現在乾坤ヲ開

關ナサレ天子ノ新タニ御即位ヲナサレタ
故ニ内殿ノ道場モ御宸筆ノ額カ懸テアル

行隨香輦

登仙路

坐近爐煙

講法

筵

吾レ御近所役ノ一故ニ天子ノ仙遊ナサルハ折ニハ不斷香輦ニ隨ヒ御
供ヲ申シ今此道場ニ來リ坐シテハ官僧タチノ法華八講ナト聞ク

自喜深恩

陪

侍從兩朝長在聖人前

カヤウチ深恩ヲ蒙リ不斷陪侍從御先代ヨリ今當代
兩朝ノ聖人天子ノ御前ニ振舞ト云ハ有難イ義ト自ラ喜フ

遙同杜員外審言過嶺

杜審言ト居ニ南方ニ左遷セラレ審言ガ
過嶺ト云題テ詩ヲ作タテアルハ遙ト云ハ

遠イニ追思テ志ヲ
同フスルニ依テ云

天長地潤

嶺頭分去

國離家

見白雲

其元ト同ク南方ニ
遷セラレニ依テ定メ

幾ツ居ナク別レテ皆チリクニ別レ行ク國ヲ去リ家ヲ出テ嶺ニ登テ故郷ヲ望メハ故郷ハ見ヘス
シテタビ白
雲ニ見エ

洛浦風光

何所似

崇山瘴癘

不堪聞

洛陽ノ風景ハ一ツモ似タ
ガナハ只氣ノ毒トハ南方

へ左遷セラレト多ハ瘴癘ニアテラレテ生テ都へ
歸ルモハスクナイ我ラモ死スルデ有フト思ヘキタタ

南浮漲海

人何處

北望

衡陽雁

幾

君

内テモ北ノ方吾ガイル処ノ回雁峯ノアタリマテ雁モ少々キタイレヨリ南ハ一向雁ガ飛バ

上云ハ故郷へ便

兩地江山

萬餘里

何時重

謁聖明君

今其元ト江山萬餘里ヲ隔
テイルガイツビシ罪ヲ御

免ナサレテ天子ノ御目見ラ
スルデ有フト心細イコトアル

興慶池侍宴應制

韋元旦

滄池潸沆帝城邊

殊勝昆明

鑿漢年

起句ノ四字文選ノ字ヲ用テ滄池ト
云ハ只海ノ如ク廣イ滄沆ハ水青

鼓振樓船

天子ノ行幸ノ一岸ギワニ御幸路ガツイテ道ノ兩カワニ旌旗ヲ半ラセテ格別
ニ道ヲワケテツケタルヨリ天子ノ御座船ヲ中流ニ浮ヒテウチヤシナドモテ樓船

雲峯四起

迎宸幄

水樹千重

入御筵

風景ヲ船ノ中ヨリハ山
山形ガ高ク起テニミテ

雲峯四起

迎宸幄

水樹千重

入御筵

宴樂已深

魚藻

咏承恩更欲奏甘泉

去レ程ニ今日ノ御酒宴ニ長シ深シテ御樂ニナサルハヤウスハ詩經ノ
魚藻ノ詩ノ如クテアルニシテ詩ヲツクリマセイト仰ヲウケタユ

雲峯四起

迎宸幄

水樹千重

入御筵

宴樂已深

魚藻

へ及バズナカラ揚雄ガミ子ヲシテ甘泉ヲ奏シヤウソトノ甘泉コノ詩ヲサシテ云合テ諷意ガモツテイ
ル揚雄ガ甘泉ノ賦ニ天子ノ御酒宴ヲ盛ニ云イ立テ実ハ諷スルナリ

侍宴安樂公主新宅應制

蘇頌

駸駸羽騎歷城池帝女樓臺向晚披天子ノ御成リニ先ハ羽騎ガ馬ズマ
メ城池ヲテ來ルツテ公主樓臺ヲ披

露灑旌旗雲外出風迴巖岫雨中接武士ノ駸々馬ノイキツテ過ルヲ云ナリ
テ待ケテゴサナサレハ羽騎矢ヲ負テイル

徑全低月樹枝座敷ノ當軒マミヲ瀧永ノ落ルヲ見テ天河ト云實ハ織女ノ居処トニ
義チヤ岸ノワリノ徑ノワキヘウテアル樹木ノ枝ヲタテアルヤウスマ月

宮殿ノ桂ニ見立テ識宮殿ノ桂ニ見立テ識
ニ天女ノミカト思ハル簫鼓宸遊陪宴日和鳴雙鳳喜來儀宸遊ナサレテ賑ハフ打合モアリ我々モ御酒宴ニアツカリ公主御夫婦モ雙鳳ノ和鳴スル如ク
中ヨク威儀ヲトメテ天子ヲ御馳走ナサルハ喜ハシイ一チヤ。來儀ト云ハ鳳凰ノ羽ツクロイニテ聖
人ノ世ニ出タリニナリ今公主御夫婦威儀ヲトメテ
出テイサセラルニモナリ泰ノ弄玉ガ故妻ニモナル

東望望春春可憐更逢晴日柳含烟東望望春春可憐更逢晴日柳含烟
ニ來リ四方ノ氣色モウツカニ別ヒテ東

奉和春日望春宮應制

宮中下見南山盡城上平臨北斗懸ノ方ノ色ヲ望メハ木々ノ猶アイラシク
柳春氣ニ更リ含烟トホシイ色ニテ
高イヲ云此ノ宮ヨリ見下セハ南山ノハツレカバツレニテガミヘ
城上カ平ニミハ北斗ノ高フ懸テアルヲ見ラヌヤウニ見
舞觴前上ニ廣大ナリヲ云テモアハ小イヲ云ワカ草ナモ鳳輦ノ來ルヲ
含メ承ル氣色ニミハ花モ舞ニツレテワサト盛ノ中ヘトヒコムテアル宸遊對此歡無

極鳥弄歌聲雜管絃コト処ニ天子ノ行幸アリテ景色ニ對シ御機嫌ヨク面白キ極リナリ春
イニユハ鳥ノ心ヨクナクコト管絃トガヒトツニ成テヒト水面白イ

奉和初春幸太平公主南莊應制

主第山門起灞川宸遊風景入初年山門ハ山莊ト同シテ公主ノ南莊ノ山屋
敷ヲ云都ノ南灞水ノ近ク山ニ立テア

鳳皇樓下交天仗ル今日天子ノ行幸ナサレ御遊興アハサル
風景モ春ノ何ヤ春イテ面白イナル鳥鵲橋頭敞御筵鳳凰樓ト云キ公主ノ樓ニメツラフ天子ノ行幸イニ天仗ヲ交ヘ立テ
ア御遊興ナシキヨリニハ鳥鵲橋ト云キ橋カ高ク敞ニリツハ見ユル往往花間逢綵石時

時竹裏見紅泉庭ノ花木ノ間ナドヲ廻テミハ見下ナガアチコチニアル綵石ハ五色ノ石ニ織タノ
支機石ヲモチコシテ云竹裏ニ泉ナドカキレニ湧テアルヤウス紅ハウツクレイ意

今朝扈蹕平陽館不羨乘槎雲漢邊女中ノ居処ニ此ノ
ヤウニカサツテ云今朝扈蹕平陽館不羨乘槎雲漢邊供ラシテ何ノ苦モナク天河ニキタヤウニ思ハル昔槎ニ乗シテ雲漢ニユクヤツナリハ羨シクモナイ○平陽公主
ハ武帝ノ女テ是モ灞水ノ近所ニ屋敷有タニヘカリ用太平公主ハ天子ノヲバナリ

八來ハ來ラレヌカ天子ノ御

樣樣イカタ

武帝ノ女テ是モ灞水ノ近所ニ屋敷有タニヘカリ用太平公主ハ天子ノヲバナリ

八來

樣

武帝ノ女テ是モ灞水ノ近所ニ屋敷有タニヘカリ用太平公主ハ天子ノヲバナリ

八來

樣

武帝ノ女テ是モ灞水ノ近所ニ屋敷有タニヘカリ用太平公主ハ天子ノヲバナリ

八來

樣

幽州新歲作

去年荆南暖處外ヨリ北方ノ夷サカイ幽州ニテ奉行ニナリ春々スラ哀テ作ル

張說

去歲荆南梅似雪今年薊北雪如梅

去年荆南ノ暖ナクニイタム冬ノ中ヨリ梅カ咲テ雪ニ似テ有タカ今年ハ薊北幽

州ノ至極寒イテハ春モ雪ヲ下シテ

共知人事何嘗定且喜年華去復來

此二句ヲクツテイカセヨウロクテイルガ人事ノ定メナイト云ハ兼テ知テイル且喜邊

鎮戍歌連日動京城燎火徹明開

我邊塞ノヲサニ成テイルハギナレ成歌ヲ毎日々々キイテイル春メカレイハナイ今

正月ノ二京城ニ庭ニカリ火ヲ

遙遙西向長安日願上南山壽一杯

夜ノ明ハテタキトラサン昌チテ有ニ隔テアルニセメテ志ニ西ノ方長安ノ日ニ向テ只ユクハナラヌ願ハドフ天子ニ壽ヲ上リタイモノデア

滄湖山寺

南方滄湖山ア多ノ役人ニ成テイルトミヘル山寺ヘ上テツクル

空山寂歷道心生虛谷迢迢野鳥聲

今此ノ寺ニ來テミバスキト物音モセヌウニ靜カナユトニモナク佛道ヲ慕フ道心カ

生シテキタ何モナイ谷アイヲ望ミ

禪室從來雲外賞香臺豈是世中情

生スル皆テアル禪室ト云ハ元ヨリ世間ヲ離レタ雲外ニ坐シテイルヤウニ思ハレテ中々面白シ此香臺ノ寺ト云モ分世間ノ情ヲハナレタモノユニ道心カ生ス第モ

雲間東嶺千重出

樹裏南湖一片明

此寺ヨリ東方ヲミレハ雲ノ間ヨリ山々ガ幾重ナクミ樹木ノ間南湖水ガ皆ハ見ヌヤウニ明カニミル一片ト云フ

若使

由同此意不將薜蘿易簪纓

古ハ巢父許由山モリヲシタラ高イノマウニ云カ我ラハ高イトセヌナハ我ハ官人テイナカフモ道心ヲ生ヌ隠者

裝束ヲ以テ官人ノ冠ニ易ヘテ引込ハセヌヤウニ窮屈ニ引込ハセヌ

遙同蔡起居偃松篇

蔡氏起居ハ御近所役禁裏ノ起居ガイル役所ノ庭ニ松カアルボテ起居ニ此ス〇偃松ト云ハ笠松

枝ノ長ク横ニ清都衆木總榮芬傳道孤松最出羣

清都ト云ハ文字ガアルユニ云〇都ハ衆木モスベテ格別ニス

名接天庭多景色氣連宮闕借氣

此松ノ下枝カ池ノカヘサシカツテアルニツイテ池ノ水ヲ吸テ

的停華露偃蓋重重拂瑞雲

ハ幾重ニテナク聲々ウニ成テ高ク天子ノ目ヨクイ瑞雲ノ松テアル

不惜流膏助仙鼎願將楨幹捧明君

此松ノ下枝カ池ノカヘサシカツテアルニツイテ池ノ水ヲ吸テ

所存ノ人ト起居ニ此ニテ云

奉和春日出苑曝目應令

此詩訓解ノ註ヨクタイの此太子出苑曝目ナサレタ御作ニ和シセイトル令

應令和スルナル曝目ハ共ニタリニ目ヲヨセテ見ルノ令ト太子皇后御言ハラ令
上云教イハ諸侯王御言ハニナル賈曾太子ツギノ者ナレ御用テ外ニ出テイテ作
廻金輅春遊博望開サテ太子が早朝ニ銅龍門ヲ通テ出御ハマカト閑安御言ケシヲ伺テク
ラハ其ツイテニ金輅ニテ御遊ニ春遊ナサレ博望苑ニ云ハ漢

武帝苑ノ名チヤ故ニカリ用テ云以下ノ渭水晴光揺草樹終南佳氣入樓臺
二句ハ此御意ヲ其時ハカフ有フト思フテ云

渭水晴光揺草樹終南佳氣入樓臺
渭水ノ晴レヤカナ晴光カ御苑ノ草木ニウツラフテ直ニ渭水ガ庭中ニアルヲ思ハレ終南山ノ目出
タイ氣カ樓臺ニハリコニテクルヤウニ元題ノ曝目上云ミヤ以下ノ二句御供ニ出タ者ヲホメテ云フ

已從商山老託乘還徵鄴下才
御苑ニ御遊興ニ御出ナサルニモ御モリニナル詔語ヤフナ
老人ヲ召ツラレ太子ハ學文スキスソノリノ軍ナドモ

書物ヲセテ何レモスケタオ人ヲツラレ
詩文ヲ作ラル故事ニツレニ世説ニアリ

臣在東南獨留滯折逢睿藻日邊來
遠國ニ留滯シテ御供ヲセバ殘念トハ云ヒナガラ
太子ノスグレタ御作ノ來ルニ逢ト云ハ喜ハシイナヤ

奉和初春幸太平公主南莊應制 李邕

傳聞銀漢支機石復見金輿出紫微
公主ヲ織女ニ比レテ云ニツイテ古ハ海邊人
今公主ノ庭ノ石ヲミハレハ支機石ト云モデモアラフカト度ノ換タレヲ其上ハ
天子ノ御成リノ時紫微宮ヲ出テ此処ニ行幸ナル云珍シイノ風景ニヨツヘテ云

織女橋邊鳥鵲起
織女橋ハ云ニキ橋ノ下ニ鳥鵲ガ飛ビ立ヤウニテ居リ
仙人樓トモ云ニキ樓ニ鳳凰ガトゾヤウニ見ユル

仙人樓上鳳皇飛
織女橋ハ云ニキ橋ノ下ニ鳥鵲ガ飛ビ立ヤウニテ居リ
仙人樓トモ云ニキ樓ニ鳳凰ガトゾヤウニ見ユル

座飄歌扇濕水當階濺舞衣
滯リタル風ガフヨクト座敷ハ吹キ入テ飄リテ歌テ
イル團扇ヲ飄レテイヨク風流テアル泉水ニ落コム

今日還同犯牛斗乘槎共泛海潮歸
今日ハ古ハイカダニ乗テ織女ノイル天河ニ至テ海ノリ出シテ歸タ者ガ有タト云今ハ今日吾ガコニキタソレト云ヤウト
同シテナルノ犯ト云換授テ來ルニキタラ云牛斗モ織女ト云ニキ答テ居ガ拙クナルコニ牛斗ト置タモノチヤ

和左司張員外自洛使入京中路先赴長安逢立

春日贈韋侍御及諸公

遜遜

自洛使スル上ヨリシテ張氏ガ題ナリ○洛陽ヨリ御用テ出テ中路カラ外者ヨリ先キ西ノ方
長安ノ都ニ來テ立春ニ逢ヒ韋侍御及ヒ諸公ニ送ル作ヲ和シテナル題ニ氣ヲ付テミヤシ
間數雁廻更逢山上一花開
ニ雁ノ歸ルニ云ナレテ數雁ト云ハ大勢ツレ立テ來ル
キモガ中路ヨリ韋侍御一人先立テ來タユニ數ト云次ノ句ハ立春ト云フヲ

河邊淑氣迎芳艸
河邊ノ春ノ暖ナ淑氣ガ芳艸ニ草ヲ生ヘ出ヨカレト迎ヘテイルヲ云フ
迎上吾ガユタ先々ニ芳艸カハエテアルニニ迎ト云林下ニ冬ニカラ咲テ

秋憲府中高唱入春卿署裏和歌來
吹タラ直ニ散ラント云リニテ待テイル

七律

以下訓解註ヨクナイ御史ノ役所ヲ秋憲ト云ツイテ題ノ韋侍御ト云ハ是レ中ノ禮部ノ別稱ヲ春卿ト云ツイテ題ノ諸公ノ中ニ禮部郎ノ官ノ者ガアルト云ル韋侍御ノ其元ノ詩ノスレタル処ノ高唱カヘリ其元ガヨイニ春卿署裏ノ歴々々々ガ和作ヲセラレタヤウススグレタフテアル共言東閣招賢地自有西征作賦才
ソレニ東閣丞相方ノ歴々々々ノ云フ評判ニ其元ノハ潘安仁ガオニモ劣ラヌト云テホメラル、此レ又題ノ自洛入京ト云フ西征ト云テキカヒタモノデヤ、ハツカシイフテアル

黃鶴樓

此レ評判ノ詩ヲ歌行ニ云イナルホト風調ノ高イ詩デヤ

崔顥

昔人已乘白雲去此地空餘黃鶴樓
昔フ処ハ仙人カ来リ遊テ黃鶴ニ乗レテ去タ今コノ地ニ空ニク殘テアルモノハ黃鶴樓バカリテ仙人ハ再ヒ来ラヌ
黃鶴一去不復返白雲千載空悠悠
仙人ノ来タ室モ思ヒ来ラヌ其時ヨリ易ラヌモ

晴川歷歷漢陽樹芳艸萋萋鸚鵡洲
ツキリトニワタリ漢陽ノ樹木ガ歴々トシテカゾヘラルヤウニミル昔黃祖ノ禰衡ヲ殺シ鸚鵡洲ノ方ヲミル芳艸ニ萋々トハエテ鸚鵡ノ賦ヲ書タ禰衡ハ見ヘヌ
日暮鄉關何處

是烟波江上使人愁
樓ニ上テ暮方ニ成タニ故郷ガ戀レフナリ思出シタ々望テミレ何ノ処カ是ナルトモシレヌ只江ナリ烟波ノ方目ヲミラレバ色々ノ愁ガ起テクルハ何ゾト云ニ昔人ハ去リ黃鶴ハ来ラヌ禰衡ハ居ラス故郷ヲ望ムハ烟波ノ方目ヲミラレバ烟波江上ガ我ヲ愁サセルト云カ使ノ字デアル

行經華陰

山名崑崙太華俯咸京天外三峰削不成

秦咸陽ト云カアルヨリ山崑崙ト高イ太華山ガ都ノ方ヘ俯シカカッテアルヤウニミテ太華ノ嶺ノ三峯出カ

何レモ高ク天ノ上ニデモトキツウアルガ人ノ細エニ削リ立タト云テ出来ル武帝祠前雲欲散仙人

掌上雨初晴
向ヲミハ漢武帝ノ仙人ヲ祭レタ祠ニ雲ハ掩イカッテアルモ武帝祠前ニハハツキリト見ヘル河上北枕秦關險

驛路西連漢時平
山川ハ北方ヲ推シ廻シテ秦關方ヘ高フサカホッテ險シクハ松ト云モ高イモノヲ乗ス氣味合ナヤ驛路ハ西方漢時ノ方ヘゾイテ真平ラニミル時ト云ハ神ヲ祭ル地形ヲ升シテ當時ニ當時ノ天子ノ仙人祭ヲシテ置所ヲ云ト見ヘル借問路傍名利客無如此處學長生

今我此處ニ来テ名利ヲ求ルモノモ何カイツカシウニカケマワリ靜カナナハ山ヲ見ス三通ルタワイモナイフチヤ吾ガ思ニ此ノモノシツカナナハ引込テ長生不死ノ仙術ヲ學ビタラ此ノ上ハアルマイト思フ

登金陵鳳皇臺

李白ガ黃鶴樓ヘ来テ作ラフト思フ時ニ先達テ崔顥カ来テ作タ詩ヲミルニ甚ダヨクデキタヌヘソレヨリ取テ返シテ此

鳳皇臺(來テ作タ其評判カ三家詩話ナトニモアル)

李白

鳳皇臺上鳳皇遊鳳去臺空江自流
此金陵ノ鳳皇ト出テ遊シタト云カ今ハ鳳皇カ飛去テ江水ノ空タ流ルハ見ルニミテアル

吳宮花艸埋幽徑晉代衣冠成古丘
見下ス処古ハ吳王夫差ノ宮殿花艸ノヤウチモノモ幽徑ニ埋ミ塵ニ成テシマタ六朝晉ノ時ノ歴々モ

三山半落青天外二水中分白鹭洲
忘天府ノ西南ノ三山ガ半ハ雲ニ掩ハレテアリ半分ヲヨリフナリト下ツタヤウニ見ヘ有客

漂水兩山ノ間ヨリ流レテ建康ニ至テ流レテ分ケテ
自鷺洲ヲトリミシテ流レテ見望ム外ノ景テアル
總爲浮雲能蔽日長安不見使

人愁
都ヲ見望ミ下思ヘ浮雲ト云モ、ガ日ヲ蔽イクラミテ長安ヲ見セヌツイテ人ヲ色々ニ愁ヘ
サセルト云テ、莫ハ高カキナドカヤチ諷者ニタトヘト云ハ天子玄宗ノイニテ諷者ト云モノハヨ

ク君ノ心ヲ蔽イクラクスルモノニ我カ如キモノモ此ノヤウニウタヘテイルト云ハ悲イフチヤノ使上云字ニツ
イテハ元美カ詩話ニハムツカシク論シテアルガ南郭先生ハトラヌ

早朝大明宮呈兩省僚友
賈至

銀燭朝天紫陌長禁城春色曉蒼蒼
燭ヲボト參内ノ道ノ間モ遠ク御城廻リ

千條弱柳垂青瑣百轉流鶯遶建章
樹木茂盛ニシテリテ曉方イユ
城邊モホクシテ蒼蒼ト見ユル
植テアル柳ナドモ幾ク筋モ枝々長クタレアルノ轉ハ鳥ノサイツル声
流鶯ト云ハ鶯ガイタモ繞テ建章宮ノマワリヲトリミシテサイツル

劍佩聲隨玉墀步衣冠
身惹御爐香
官人ノ帶テイル佩玉ノ声ガ皆ヨキ順ニ立並ンテ御殿ノ前ノタキキ上ノオドヲ足ヲロ
ルヲニ天子ノ御爐ノ香ノ
示ヒカ手前ノ機束ト云ル

共沐恩波鳳池上朝朝添翰侍君王
ニ沐浴シテ中書ノ役ヲイメテイルヲニ每朝々々詔下書スル筆ヲマテ君王ノ側テイルト云モハ仕合ノト
存正鳳皇池ト云ハ中書ノ役所ノテイル池ト云ヨリ波ト云フタチヤ

和賈至舍人早朝大明宮之作
王維

絳幘雞人報曉籌尚衣方進翠雲裘
賈至舍人ノ詩ノ和作テアルノ赤イ頭巾
ニ雞人ト云フガ曉方ヲシケ夜アケテゴザルト天子ノ時ヲ告ルゴデ女官タチガ
天子ノ裝束ヲメサセ翠雲裘ハ天子ノ裝束ノリツハナヤスヲホメテ云ナリ

九天闔闔開宮殿
萬國衣冠拜冕旒
朝儀ノ庭ヲ云夜カアケハナルト御門ヲ始メ御殿々々ノ戸モクワリト
トイハ禁裡ヲ
ヲシクルメテ云

朝罷須裁五色詔珮聲歸到鳳
池頭
朝罷ノ後所ヘ歸ルノ五色ト云モ只詔ノヲ美シク云タメトモナイ昔ヨリアルト云フ言ナリ

和太常韋主簿五郎溫泉寓目
寓目ト左傳ニモアル通
リ目ヲヨセテニルヲ云フ

漢主離宮接露臺秦川一半夕陽開
漢ノ文帝露臺ヲ建ルヲモリテ有タカ
百金ノ費ヲ惜シテヤメラレタ漢王ヲカ

青山
リテ當時ヲ諷スル今ノ溫泉宮ハ古ノ露臺ヲ有タタリマデ引続イテアリ秦川ハ幅ノ廣イ
川テアルニアマリ離宮ガ立並ンテアルニニ半分ハ夕日ガサレテ半分ハ離宮ニ掩ハレテアル

盡是朱旗繞碧澗翻從玉殿來
朱旗繞ルト云小谷ナトノ上ニモ王殿カカケ作
リニテアルト云

新豐樹裏行人度小苑城邊攢騎回
新豐アタリハ元ヨリ繁
昌ナクアルニ此間ハ別

水が流シテ出ル

二

二

二

二

二

二

二

二

二

シテ人通りが多い小苑コレモ離宮ヲ獵ナトスル者カ大勢往來スルハ甘泉ノ賦ヲ作ラセタナ今時ハ諫書ナトヲサシル人ハナイニ其元ハ揚子雲カオニモ少カラヌ人ニアルト主簿ノアイサツナリ

大同殿生玉芝龍池上有慶雲百官共觀聖恩便

賜燕樂敢書即事
靈芝ト慶雲トイッレモメデタイモニ祝イモセイト官人ニ宴樂ヲ賜タニ恐多クイッレ見ル外即事ヲ

記 欲笑周文詩燕鎬還輕漢武樂橫汾
古ハ周武王天下ヲ取タ祝イニ鎬ヲ仰付ラセタナナリニ云カ今日

ノ宴樂ヨリミレハカレイヤウニ思ハル漢武帝ノ冷氷ニ舟ヲ浮ヘテ樂レタモ是ニヨリ付モノデハナイ
豈知玉殿生三秀詎有銅池出五

雲
ドウレテ此ノヤウニ笑フナハ何トレテ周文ナトハ玉殿ニ目出度イ靈芝ノ生スナド云ハ知リモセヌ答ノイチヤ龍池上ニ五色ノ雲ヲタビクナド云ハ昔ニモエタヤアルハ三秀カハ芝草ナリ銅池

ハ銅池上堯尊傾北斗樓前舜樂動南薰
堯ハ衢樽ト云フカアル龍池ハ行イナリ

持テ北斗ノ如キ手ノツキタ大外ヲ以テ打ニケク民ニ御酒ヲ下サレ樓前ハ天子ノ御目通りニ於テモ民ノ治タラ悦ハシラ思召シテ舜ノ樂南風詩ノ如キ歌多ク南薰殿ニサワギタツ
共歡天

意同人意萬歲千秋奉聖君
全デハ天子ノ御意ハドレタモ云フヲ知ラナドカ此度デレタナゼナトハ天子ガ聖德ナレハカヤウニ靈芝ニ應云ナト云ヤウナ嘉瑞ヲアラワレ天子ノ聖德ナラ悦ビタマフハ天意モ人意モ同シテアル然ハ萬歲千秋 未迄モカヤウナ聖君ニ仕ルト云フハ歡バシイナリナリ

奉和聖製從蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望

之作應制
蓬萊殿ヨリ興慶宮ニユク廊下道ニ留春閣ト云座敷ナル雨中ノ春望云迄カ天子ノ題デアル

渭水自縈秦塞曲黃山舊繞漢宮斜
留春閣ヨリミレハ渭水ガ五ノ通山ガツリ元ノ如ク武帝ノ離宮ヲトリマワレテヨコスガイニガツアリ

鸞輿迥出千門柳閣道迴看上苑花
蓬萊宮ノ方ヨリ金輿ニ乗シテ禁裏ノ中ノ御成リ道ノ並木ノウツヲアル間ヲ通テ閣道ヨリフリカエツテ上苑ノ花サカリヲ御覽ナサレ

雲裏帝城雙鳳闕
雲間ハ高ノ御殿雙鳳闕ノオコシアルカミニ西ノ人家ノ間ニウエコシアル樹木底カミヘル

雨時令不是宸遊玩物華
何モ知ラヌモノハ天子ガ正月何ニニ通ラルフト思フデアラフガ陽氣ニ乘ン民ニタカマレテ教ヘサツシタルタメデアル一通リ冬物

華ヲモテアツシデナグサニナサルニ云テハ
ナイ時令ハ禮記月令ニアリ

敕賜百官櫻桃
三月晦日櫻桃ヲ廟ニ獻シテスグニ百官ニワカチ下サレル

芙蓉闕下會千官紫禁朱櫻出上蘭
今日桃ヲ下サルニアタツテ皆禁裏ニ千官ヲ御アツメナサレル其桃ハドコカラ出ル哉ト云ヒ朱ト云テ句中ニ對ヲトル

纔是寢園春薦後非關御苑鳥銜

殘ニ鏡ノナインニキニ天子ノ御座処ヘサレ上ゲクヨリ廟ヘ御薦ヲ 歸鞍競帶青絲一ナサレ當目直ニ百官ニ下サル鳥ノクイサレ下サルト云ニハナイ

籠中使頻傾赤玉盤ソコテ皆ナ官人氏ガ馬ニ乗テ歸ルモ大切ニシテ三月イ系ナドヲ以テカザリ立タ籠ヘテ持テ歸ル中使ノ近習衆ノ使役人モ赤玉

盤サハチ入テヲ挑ヲ頻リニヒタモノウチアケテ 飽食不須愁内熱大官還有

蕉熒寒サテ此ノ山李ヲタタサン喰ハ熱カ餐ルヲワルイト云ガソレヲ氣ズカイセスト飽ニテ食カヨイナゼナレハ御臺処ニ熱ヲサマス藥ノ沙糖水カ沢山ニアルニ依テソレヲモロフアノニダガ

ヨイ〇蕉熒沙糖ツクリノレボリル也

酌酒與裴迪

酌酒與裴迪裴迪ガ世間ノ者ノフタノモシイヲ云ニ出シタヘ

酌酒與君君自寬人情翻覆似波瀾ソナタカ余リ世間ヲイキドフラルガ孟ニ

朱門先達笑彈冠白首ニナルデ心易フ合フタ中デモナト貪多ニナルト逢テモ見ヌフリ

動春風寒春ノクニ艸モ細雨ニ逢テ心ヨクソダツト草ヲ以テ小人氏ノ雨露ノ恩ニ預テ立身ヲ

艸色全經細雨濕花枝欲

世事浮雲何足問不如高臥且加餐世ノ中ノ浮

洞門高閣霽餘暉桃李陰陰柳絮飛洞門上高閣ト向イ合テクルリト廻テ道

酬郭給事

洞門高閣霽餘暉桃李陰陰柳絮飛洞門上高閣ト向イ合テクルリト廻テ道

禁裏疎鐘官舍晚省中啼鳥更入

趨金殿夕奉天書拜瑣闥其元ノ役儀ト云ニ嚴ニ裝束ヲシテ金殿ニツタ暮

欲從君無那老將因臥病解朝衣吾ガ身ノ述懷ヲ云ヒ出ヌ我レモドフゾム

過乘如禪師蕭居士嵩丘蘭若禪師ト居士ト云ヒ合

無著天親弟與兄嵩丘蘭若一峰晴今ニ公ノ引込テイラルハ天竺ノ無著

菩薩其弟ノ天親菩薩ト云ヒ合

テ引込テイラタヤウナモノヤ此ノ蘭若ノ食隨鳴磬巢鳥下行踏空林落葉聲
真向フニ一峯が高フ晴切テ境地ニ面白イ
鳥モ食時ノ頃ヲキソケテサバナドヲモロテ喰フ依テ磬ノ音ヲキソト下リルズ
ラヲ歩テミハ空林ニ木ノ葉ノ落ル音ノミキコエテ入音ト云少モノヲ無心ナ鉢ヲ云
逆水定侵香案
露雨花應共石淋平地カラ水ノワ出ルモ香炉臺ヘホトバツテ汚スデアラフ誌公ガ錫杖
ヲ以テ地ヲ突タレハ水ガホトバツタガアルツレ引テ云○禪師
深洞長松何所有儼然天竺古先生深洞ホラ
穴ノ内ニテ
花カフリツテ眞平ヲ成テル
ニガアルト思テノゾイテミタレハギソトシテ釈迦如來ガ
立テテサレ佛ヲ先生ト云フ西陽雜俎ガ出所デアル

奉和聖製從蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望
之作應制
李澄

別館春還淑氣催三宮路轉鳳皇臺別館ハ即チ留春宮ヲサスアタカナ
氣ガ催シテ日々ニ春メカニウ成テクル
三宮ハ蓬萊興慶望春ナリ此三宮ニ路ガ宛轉シ○鳳
皇臺ハ臺ヲモテミイ只美シク作タモノソウナ
雲飛北闕輕陰散雨歇南
山積翠來段々ニ雲モ晴レ寒ミモナク散レテクル
雨ハレテ南ノ青ミモニキタリ
御柳遙隨天仗發林花不
待晚風開御幸道ノ並木ノ柳ガ行幸ニ隨テ段々ニホコロビ
林ノ花ナドモ晚風ヲ待タス朝カラヒライテアリ
已知聖澤深無限更

喜年芳入睿才下ノ句ヲ云々タニ元ヨリ天子ノ御恩沢ノ草木ニテモ限リナクユキワタツタニ
子ノ睿才ノ詩ノ御趣向
ハト云ハヨロコビレイノデアル
下ノ句ヲ云々タニ元ヨリ天子ノ御恩沢ノ草木ニテモ限リナクユキワタツタニ

送魏萬之京
李頎

朝聞遊子唱離歌昨夜微霜初度河二句訓解ノ注カ悪イ○遊子ト云ハ旅人
ノ一ニナル今朝承レハ其元カ離歌ヲ唱ヘ
鴻雁不堪愁裏聽雲山況是
客中過殊ニヒトリホソクニカルヲ物サビシイ中ニ雁ノナクヲ聞ニ堪ヘラヒミ
山路ハ常ニサヘヨウナイモチヤニミシテ客中ニ過ルヲユイユ悲カラフ
關城曙色
催寒近御苑砧聲向晚多都近ヲ成タナラハ秋モ未ニ成テ冬ニモ砧ナドヲ
ウツ声モ格別多ク寒モ多イデアラフ
莫是
長安行樂處空令歲月易蹉跎サテニタニ云テヤルヲカル長安ハ面白イ処テ常
ニ行樂バカリシタナドニ其元モ行未バカリニ
蹉跎ノデキヌヤウニシヤレトナリ

寄盧司勳員外

流澌臘月下河陽州色新年發建章流澌ト云ハ氷ノ流ルヲテ臘月ノ末
ニ氷モトケテ河陽アタリヲ乘リヲロ

スニヨイ時分チヤ定テ其元ノ都ニキツ 秦地立春傳大史漢宮題柱憶仙郎

カレタリハ草色モモ出テ新年デ有ラフ 秦地ハ即長安ナリ立春ノ日ニ太史公立春チヤト云フ傳ハルニ其時分チヤ面 歸鴻

白カラ其元ハ郎官デ器量ノスケタ人ユニ天子ノ御目ニトリ柱ニ題セラルテアラフ 欲度千門雪侍女新添五夜香

東ニ香ヲタキ 早晚薦雄文似者故人今已賦長楊 歸雁ノ都ニ渡ルナトヲ禁裏ニキイテイヤルデ

ソエルデアラフ 楊雄ガ文司馬相如ニ似タルヲ以テ成帝ノ時勅メラト云故事ヲ引ク 身ヲサセニクシラ

題璿公山池

璿公ハ山居ノ僧テ庭ノ 蓮池ナトヲ見テ作ル 遠公追跡廬山岑開士幽居祇樹林

璿公ノ廬深フ幽居シテ 片石孤雲窺色相清池皓月照禪心 靜ナ廬ヲ 祇樹林ノ内ニイラル

タ石モ孤雲モ盡ク開士ノ色相ヲ伺フヤウニニ清淨ナ池ニ 指揮如意天花落坐臥閑 移ラ清カラナ月モ物靜ニ出テ璿公ノ禪心ヲテラシ

房春艸深 此ノ璿公ノ如意ナトヲ振廻サレタラ奇特カ有テ天花ナトカフルテ有フ 此外俗 塵都不染唯餘玄度得相尋

サテ此外俗情ノケガハレイモノニ染ラヌ只俗ナラバ 惠遠トソシタ計玄度ガヤウナ者バカリ許ルシテ

寄ヒラル

寄慕母三

慕母ハ二字氏ナリ三ノ絶句ニニタリ洛陽ノ縣ノ令ニ成テナク

新加大邑綬仍黃近與單車向洛陽 今新タ大邑ヲカラシテ洛陽ノ縣令ニ成テ行カルガ印綬ノ色ハヤリ元ノ如ク黃色デ位ハチカフ此間ニツ

車ニ乗テ洛陽ニ赴カシツテ 顧盼一過丞相府風流三接令公香 行ハキトイハズニ中書令ノ役所丞相ノ府下ニ行テ顧盼シヤルデアラフコレヨリシテ元ヨリ風流ナ相ノリニ餘々ユクデアラフ一度上ニ三度上ニ云數限ルテイ令公香ハ荀彧ガ故事ナリ

花侵縣西嶺雲霞色滿堂 其元ハ治メ方カ上ナ人ユニ南川アタリノ橋ノ花ガソダツテ縣ヲ侵シテ生ヘコムデアラフ潘安ニガ故事ヲ用テ云西嶺ノ雲霞ノ堂ニ滿テ詠テイタルデアラフ

役人ノヒタルヲ好シタルユニコトモシ 共道進賢蒙上賞者君幾歲作臺郎 判モ天子ノ賢者ヲスメタモノニ御褒美ヲ賜ハルト云ガ其元ノヤウノ賢者ハスハル人モ多カラフニ依テモナク郎官ナリニナフルデアラフ

送李回

知君官屬大司農詔幸驪山職事雄 大司農ト云漢以來九卿ノ役テ天下ノ運上ヲ取立ル役チヤ屬ストイハ下役

ニ成タモノトシル金銀ヲ取扱フ役ユヘシゴナイガアル李回ハ潔白ニ勤ルヤウスヲ作ルノ其元司農ノ下役上云ハ兼テ知テイル此度天子ノ驪山ニ行幸ナサルニツイテ先達テユキテ世詔イタシモセイト詔リヲウケテユ

七律

カル役ガフイヒ **歳發金錢供御府** 畫看仙液注離宮 第一句ヲウケテ年々運上ヲトリ立ルハ

天子ノ私ツカイニナルニ依テ御納戸藏ニ納メル驪山ニ湯池カアル仙液トイハ **千巖曙雪旗**

湯池ノノミル今行幸ニツイテキタイルニハミルヲナラヌ仙液ノ離宮ニ注クヲミル **門上十月寒花輦路中**

離宮ヲウケテ山上ニミカリ御殿カタテスグニ旌旗ヲタテテスデ門カミシテアルニ旗門ト云十月時分ハ菊ナド盛リ

ニ咲テ天子ノ御輿ニメテ御覽ナサルヲ御供シテミラルデアラ **不觀聲名與文物自傷留滯去關東** 我速國ニイ

ルニ他國ニイ都ノ聲名文物ノスグタラミルヲモナラ又關東ニ留滯シテ帰ルヲ得ルヲチラヌハイカサマアサマイデアル

宿瑩公禪房聞梵

花宮仙梵遠微微月隱高城鐘漏稀 梵ハ梵音ニラツケテウタフ声明デアル古ハ日本ニモ傳ヘテ有タト云フシテ

イノ殊勝ナヤウスラキイテ声ノ高イ赴ヲ形容シテ云花宮即チ本堂ノ仙殿ヲサシテ云ツイニ人間ニキキナレヌ声明ノ声ガ遠ク微々トカスカニキコル月モ高城ニカクレ曉方ニ成テ時ノ鐘ナドモ聞遠ニキコヘル

夜動霜林驚落葉曉聞天籟發清機 夜ニ兼シテ動ケハ霜林ニ散スルニ其ノ聲驚テ落葉カト思ハレ声ノ高フチ

リテ天籟ニ和シテナルヲトククリトキイテ **蕭條已入寒空靜** 蕭條ハ蕭條ノ聲ニシテ

イバイヨ吾心モ清淨ニヤウシ覺ヘル **楓省仍隨秋雨飛** 楓ハ楓ノ聲ニシテ

音ヲヒクフ乙ヒイテ唱ルトキハ蕭々トシテ寒空ニ入リ靜ニキクニタエカタイ **始覺浮生無住著** 始覺ハ始覺ノ聲ニシテ

其声ハ秋雨ニ托シ響クアルガ如ク寂々トシタヤウスデアアル

今心地欲歸依 コノ心ニ來テ梵ヲキイタツイテハ夢ノサメタヤウニ成テ始テ浮生ニ住著トイフト云フヲ悟リミタハ俄ニ吾心ガ清淨成テ佛道ニ歸依スルニ成タ

贈盧五舊居 盧五ハ死テ旧居ニイル妻子ニ作テアルトキニル

物在人亡無見期 物ハタラズモトノ如クアリナガラ人ハ死去テイヌニ相會テ見ル期ナ

イ物サビシイ庭ニ馬ヲツナイデ思出シテミレハ頻リニ悲ニガ多ク成テクル **窓前綠竹生空地門外青山似舊時**

窓ノ前ニ植テアル竹ナトモ誰レ手入ヲスルト云フモナイニ空地マデヒロガツデアアル **墜葉攢元枯柳宿寒鷗** ソコヲ見マワシテイレハ折節モノサヒシク木ノ葉ガ鳴テ落

ツテイルニテ **憶君淚落東流水歲歲花開知為誰** 盧五ガフヲ思テ淚カ落テ東流ノトモナラ

悲ミヲ生シ **望薊門** 此詩ナドハ賈賓王ガ宿溫城望軍營詩上同祖詠

燕臺一去客心驚 燕臺ハ即チ薊門ナリ今此燕臺

景色モ都上チガイ扱ト思ヒ心ガ驚ク又燕臺ヨリワキ去ル心ニモミル **萬里寒光生積雪**

コノ處ハオサエニキタイル營ノ中テ笙鼓ノ声ガ喧々トカヒスレク賑ニキコヘ

北

三邊曙色動危旌（ノハテユニ三辺ト云ハ東西北ノ方ヲ云三方ノ天ノ明ケ方アサ日ノヒカリガ大将ノ營ノ高イ旗ノ上ニウツラテキラクトスル）沙場烽火侵胡月（沙場ノ火ノ侵ム）海畔雲山擁（擁ニ包ム）薊城（薊城ノ兵乱ノシ）

功還欲請長纓（我レハカイ時カラ投筆吏デハナケレ今コノ薊門ノヤウスヲミテハ忠功ヲ論シ還テ長纓ヲ請テ軍ヲテ功ヲ立テミタイト云氣象ナ氣ニ成タ）

九日登仙臺呈劉明府（九日登高ノ節ニハ漢ノ文帝ノタテラシタ仙臺ハ登テ作ル實ハ仙人ノスキヲスルト云ハアノノイ）

漢文皇帝有高臺（昔漢ノ文皇帝ノタテラシタ仙臺ハ此日九日ニ登臨スルニ夜ノアケルヤウスモ推シ開ケ）

三晉雲山皆北向（春秋ノ時ノ晉ノ地後戰國ニ至テ韓魏趙ニ分タニ三晉ト云高イ山々皆皆）

二陵風雨自東來（北ノ向テアリ左傳ニ有ニ二陵南陵夏后皋之墓北陵文王之所避風雨トアルハ風雨トイハ風景ノミナルニ二陵ノ風雨ガ東ヨリ見來ト云外荷ミイ）

關門令尹誰能識（此函谷關ニ近イニ云ヒ出シテ今モ關門ノ令尹喜カヤウナ仙人ガアルデモアラフクト誰モ人間ニ見知ルモノナイ漢ノ文帝ノ時分ニ河上翁ト云）

河上仙翁去不回（仙人ヲヤダガ有タガドコヘ行タヤラ去テ回ラヌトハ仙人ト云モノモアテニナラヌ）

且欲近尋彭澤宰（且欲近尋彭澤宰陶然共醉菊花杯）

五日觀妓（五月五日ノ人ノ家ニユキテ妓ハバドルヲ）萬楚

西施謾道浣春紗（昔西施ガ苧羅溪ニ布ヲサシテイタ）碧玉今時鬪麗華（碧玉今時鬪麗華ノト云ヤウナ妓ガ）

將萱草色紅裙（マユズミノウツクセイイフモ萱草ヨリスグレテ色ヨク萱草ノ色ヲ奪フト云キミテ將ハ助子ナリノ妓ガ赤イ）

新歌一曲令人豔（ウラノツイタシタバカモ其赤イ色ガ石榴花上ニ出ルテアル姉ト云ハ其上ヘ出ヤウト子タムナリ）

誰道五絲能續命（ヤウス命モ誰道五絲能續命却令今日死君家）

却令今日死君家（昔ヨリ五月五日ハ續命縷ト云テ五色ノ糸ヲ臂ニカケテ命ヲツナグト云ガ今日ハ中々命ヲツナグン段デハナイ美女氏ニ命ヲトラソウナトナリ）

杜侍御送貢物戲贈（ゴノ時天子ヨリ珊瑚珠ナドヲ求メ杜侍御ヲツカハサレツレヲ才覺シテ都ニ上ルニツイテ天子ノ御）

張翥（威勢ガワヨケレハ国々カラ獻スル答ノナルニウハナクテ求メニカハサルト云ハイコフ落タト訕ルキミデ戲ト置タモノデ先ツヲトケニコラ云テヤルト云フチヤ）

銅柱朱崖道路難南海銅柱ノアルアタリヨリ朱崖郡ナドニ云マデハ甚タ遠ク道ノナシギナリ伏波橫海舊登壇南越ノ前漢ノ伏波將軍馬援カ横海將軍ト云ニ仰付ラレテ手柄ラニタ処ナリ

越人自貢珊瑚樹越人ガ都ニ飯伏シテ珊瑚樹ナドヲアノ方カラ貢物ニ差上タト云然レハワザクトリニツカハサルニ及ヒソウモナイモノナリ漢使何勞獬豸冠獬豸冠即神羊楚執法所服冠也

孤舟江上畏春寒其元實ヲ都ヘ持テ上ラレハ道々百姓馬ニツケテ上ラレニクダビレ山中ナトヲ通ラレ時ハ日ノクレスウチニ宿ヲトリタイト思テ日ノ晩ルヲ愁ヘ舟路モ

由來此貨稱難得アルガマダ初春ノノユヘ風ガアラクテ乗リニクカラフ多恐君王不忍看老子ノ守ヲ出シテ古ヨリ君子ハ得ガタキ寶ヲ不貴トアルニ依テ其元ガ珍ラシイ珊瑚樹ヲ持テ行カレテモウルウシタラハ天子ノ見レ忍ビストテワキヘオリケラレヤウモ知レスト云テ實ハナブルテアル

送李少府貶峽中王少府貶長沙李少府ハ峽中西蜀ノ方流ニサレ王少府ハ南方ノ長沙ニ

流サレ一首ヲ二人ハ送ルナリ

嗟君此別意何如サテク笑止ナ義ハ其元此別レハ何ト心得馬銜杯問謫居ゴザル心ホフイノテアラフコナタ衆二人ハト謫居ヲ問ナリ

巫峽啼猿數行淚猿ノ物隣ニナクヲ聽テ悲シウ思テ淚ヲ流サルテアラフ王氏ハ南方衡陽アタリニユカルニハ衡陽歸雁幾封書峽ヲ通ラルノユヘ

上秋天遠白帝城邊古木疎長沙ノ青楓江アタリカラハ都ヘハ遙タノユヘニ心細ク蜀ノ白帝城ナドノ木葉ノミハラニ成タ秋ノ

風景ヲミラレタナラバ聖代即今多雨露暫時分手莫躊躇

聖代即今多雨露暫時分手莫躊躇去リナガラ御サゾモノガナシカラフ

御思深イ時分依テ別レト云テモ暫クノアイダデ追付召シ帰ヘサルニテアラフホドニ別レヲカナシニテ躊躇シテガサルナトイサメルテアル

夜別韋司士

高館張燈酒復清コハ手前ノ座敷デハナイソウナ先ツ結構ナサレキ燈ヲツケテ酒ヲモ隨

分吟味テトリヨセ夜ノ時ノ鐘モセワシウツキ月モ西傾ク時節ニ雁ノナイテ

通ル音ナドノキコル雁ト云ヘハ兄弟ノワラナルヤウスモモツテアル

只言啼鳥堪求侶無那春風欲送行

追付春ニナルト其元ヲ送ラ子ハナラ又侶ヲ求ルトウラハナラ

黃河曲裏沙為岸ユタサキヲ思ヒヤフテ黃河ノ曲リ曲テ沙岸

白馬津邊柳向城通リハ路ガブクシテ通リニクイ白馬津ナ

莫怨他鄉暫離別トハ柳ガ城ニ向イヒツリトウエテアルヲヒトリミラレバカナシカラフ

知君到處有逢迎ルニツイテハ暫ク別レトモ必ズナゲキヤルナ其元ノヤウナオノスグレタ人ハ人ガモテハヤシテ逢迎スルモノデアルト存スル

和賈至舍人早朝大明宮之作

岑參

ト云。夜ガアケテミタレバ、鶯ガ都中ニ
三チワツテナキ春モ盛リ過デアル
金闕、曉鐘開^キ萬戶^ニ、玉階仙仗擁^{ヨス}千官^ニ。

旗露未乾アカルナリ青瑣門ノ近クノ柳ナドモ糸ヲタレ夜アケユ 獨有鳳皇

和^ス祠^{ハタケ}部^{ハタケ}王^{ハタケ}員^{ハタケ}外^{ハタケ}雪^{ハタケ}後^{ハタケ}早^{ハタケ}朝^{ハタケ}卽^{ハタケ}事^{ハタケ}

花サカリノ如クテアルマツ白ナ雪ノ光リ
が明ケ方ノ日ノ光リニツレテイヨクヒカル

色借玉珂迷堯騎光漆銀燭晃朝衣

開晴雲捧禁闥
西山カマツ白フ落月ノ如ク天仗ニゾグミカ、ルヲ能クミシハ雪ノ白イノテアル禁裡ノ御殿カ高ク建テアル下ヲ雲カトリマワシテアルヤウスヤ子ノウエハ

カリ雪ガチヨフポリトアルカ下カ
ラサニゲアゲタヤウニ見ヘル
聞道仙郎歌白雪由來此曲和人稀
王員外陽春

白雲ヲウタイ出サレタガスグレテコイニツイテ
中々和スル者ハナシ此方ナドハ及ビモナイヲチヤ

西掖省郎事

西掖重雲開曙暉北山疎雨點朝衣
實景ヲノベテ我ガル役所ヨリ空ヲ
ヲミルハ夜アケノフエ空ヲモ陰テアル

其間タラ推レ開イテ朝日ノ光リガ三折簾
スラニフル雨カ宮人ノ朝衣ニフリカヘリ

千門、柳色連青、瑣三殿、花香入紫

微ニ千門ノ柳毛盛ニモエ出テ糸ヲ引テ青環ニタレ三殿ニ植テアル花ノ香
天子ノ御座ノ間ノ方ヘホイユム三殿ニ蓬萊紫宸今元ナリ

平明タタシ端タタシ効タタシ陪ハヒ鵬ハヒ列ハヒ

薄暮垂鞭信馬歸
シヨリシテアリトフカフ笏ヲ持テ席順ニ立並ニテ参入
シ暮方ニテ勤テ毎日々々鞭ヲタレ馬ニ任シテ役所ヘカヘル
宦拙自

悲頭白盡不如巖下偃荆扉
ニ畢竟勸ガ「手ユヘニカヤウニ白ヲ自ニテ」テ役替モセズ
イルレヨリハイソク山ヘ引込テ隠者ニテ」ダシト憤テ云ナリ

九日使君席奉餞衛中丞赴長水

節使橫行^ノ西^{シカ}出^ス師^シ鳴^シ弓^ヲ擐^ミ甲^ヲ羽林兒^ヲ
 衛中丞六節旄ヲ賜^ベテ大將ニ成^テユカ^ニ
 一ユニ夷ノ地ヲ自由自在ニシカケ廻リ能^ク

ク落付心デ今西域ノ方へ軍ヲ出テ
氣名家ナ着イモバカリ引ツテユカル
臺上霜威凌草木軍中殺氣傍旌旗

ニ御史ヲ兼テユカルコニ威勢モバゲレク霜威凌草木ト置タモノデ草木ヲナビタスト云ホドコノ
デアルスレタ大將コニ軍中ニ於テ敵ヲチチ多ク殺メガ今ユルノ旌旗ニソフテ見ユル

預知 漢

將宣威日正是胡塵欲滅時上二句ウケテ預イ一カラシテイル邊塞ユカレテ霜威ヲムラル日ガ直ニ胡塵ヲ滅スルニ決定ニア

為報使君多泣菊更將絃管醉東籬コトハニモハ申スハ送別ノコトニ當ノ九月九日ヨリハ賑ニウチハヤシヲシテ

東籬菊三三酒テモ
ノ三アイヲモヨフシタカヨイ

首春渭西郊行呈藍田張二主簿

回風度雨渭城西細草新花踏作泥郊行ト云ハ城下ハツレヲ用モナイニアラクアルク張氏ガ藍田ノ下屋敷ニ引込テイル三星

初低藍田城ノ新花トモ散テ泥ノ如ク成ル秦女峰頭雪未盡胡公陂上日

悔別青山憶舊溪ナハ此白髮ニナルヲワヅカナアアガイヲモロフテイルト云ハ耻カシ

聞道輞川多勝事玉壺春酒正堪サテ其元ニザル藍田ノ近ク輞川アタリハ面白

暮春輞州東亭送李司馬歸扶風別廬

柳鞦鶯嬌花復殷紅亭綠酒送君還時節カラ暮春ノコトハ柳ヒイコト糸ヲタレ鶯モ轉リ花モ咲ミタレ左傳左

裏山其元カ此方ヘ到來セラレテモ故ニイフルコトニ函答ノ月ヲミテ早フ故郷ヘ歸リタイト愁ヘ常々扶風ノ磻溪カエリタイト思テイルコトニ夢ニバカリミテイラフラスガ此度カエラニツイテウツニ

簾前春色應須惜世上浮名好是閒只ヒキコシテイラルハ

淚痕斑其元ノ扶風ニ歸ラレテ故郷ヘ歸リタフ成テ郷關ヲ望ミタチキルマウチヤ今其元

萬歲樓潤州ノ城上ノ西南ノ隅ヨリ刺史王恭カ建タ古迹ナリ

王昌齡

江上魏巍萬歲樓不知經歷幾千秋江水サンジンテアル萬歲樓ハ魏巍ト高フ建テアル萬歲樓ト云カラ經歷幾

年年喜見山長在日日悲看水獨流上ノ千秋ノ句ヲシテ

猿猱何曾離暮嶺鸛鷀空自泛寒洲猿ト云モノハフダシラ離レ落付テイル仕合ナモノヤ下ノ川ヲミレハ白鳥ガ水ニツイテイル言カヤウニ仕合ナモノハ水鳥ノ如ク住ルヲ定メヌアチコケウロタアルク元ヨリ猿ノ山ニ住シ處ヲ得タヤウニ仕合ヨイモハ都ニ落付テ

北

北

北

北

北

北

北

北

北

勤サテ名テイルサテ名吾サテ名ヲサテ名仕サテ名合サテ名ワサテ名ルサテ名イサテ名誰サテ名堪サテ名登サテ名望サテ名雲サテ名烟サテ名裏サテ名向サテ名晚サテ名茫サテ名茫サテ名發サテ名旅サテ名愁サテ名
萬歲樓サテ名上サテ名テ風景サテ名ヲサテ名喜サテ名フサテ名モハアルサテ名イ殊サテ名ニ
クレサテ名左サテ名ナルサテ名上サテ名洗サテ名タサテ名トサテ名ワケサテ名モナクサテ名愁サテ名ガサテ名生サテ名ヒサテ名テサテ名クルサテ名

題張氏隱居氏ハ家ノ字ノ意

杜甫

春山無伴獨相求時節ガハ春デ張氏ガ山ヨリミテイルニ依ア伴フ者モナク只独リニキテ求ム伐木丁丁山更幽

林丘谷アリノ日ノアタラヌ外ハ餘寒デ水ノハツテアル外ヲ通テユクフヨリ張氏ノ門ロニ至テハ石ヲ取テ門ニキナル朝早フ出テ来タモガヤク夕日方ニ林丘ニキツイタ澗道餘寒歷氷雪不貪夜識石門斜日到

金銀氣遠害朝看麋鹿遊二句世ヲハナシタ赴テ云山ヲクニ靜ニシテイルハ金銀ノ氣ヲ知ル上ガ張氏ハ貪ラズ取ル氣ノナイ人ニイヨク能ク知ルテアラフ只見ルモノハ鳥獸ノ世ノ害ヲ避テ遊フヲミルノミナヤ乘興杳然迷出處興ニ乘ンテ遊テ迷フヲミルノミナヤ對君疑是泛虛舟興ニ乘ンテ遊テ迷フヲミルノミナヤ

宣政殿退朝晚出左掖舊史ニ舍元殿之後宣政殿宣政左左中書門下省公為左拾遺屬門下故曰左掖天門日射黃金榜起句訓解ノ註ヨクトイ○天門トイハ宣政殿ノ前ノ門デ春殿晴曛赤羽旗

細細駐遊絲宣政殿ノ大庭ヲミレハ若草ガ非タト心ヨフエ出テアル委珮ト云ハ腰ヲカメ佩玉ヲ垂テアルニ委ト云ソレヲムソクリト受ルガ承ルデアル御座ノソフダキノ烟リハホソホソトタナフボツテイトフアラツメタ雲近蓬萊常五色此時安祿山ガ亂モ治リ肅宗ノ御世ニ成タ時分ニ五色ノ雲ガフダン蓬萊殿ノアタリニタナリアリ雪殘鳩鵲亦多時此時安祿山ガ亂モ治リ肅宗ノ御世ニ成タ時分ニ五色ノ雲ガフダン蓬萊殿ノアタリニタナリアリ

歸青瑣退食從容出每遲侍臣トハ吾ガコト云テ春ノ暖ハ景色ヲミテイルニハハツ時帰ルガセツ時分ニ左掖ヲ出テ青瑣ニ歸ル退食ニ歸ルモイツモ紫宸殿退朝口號紫宸殿ノ御規式スニテ退朝スルキノ口ヲサニナリ

戶外昭容紫袖垂カ天子ノ御先ニ立テ紫ノ袖ヲタレ腰ヲカメテ二人ナガラ天子ノ御足元ヲフリ返テミナガラ朝儀ノ御規式ノアハ紫宸殿ニテ紫内ノケル雙瞻御座引朝儀紫宸殿ニ出御ノ趣ヲ云ハハハ

覆カ千官淑景移御始ク香ノニホヒガ春風ニヒルガツテ御殿中ニミチテ香ハニ居ル外ノ官ハタニニ花ガフリカツテアリ見テイルウチニ暖ナ朝日ノ景カ移ツテ高フ畫漏稀聞高閣報天顏アケ六ツヨリ以後ガ畫漏デ夜漏ニ對メ云漏刻ノアハ速シテキコヘヌト思フ有喜近臣知

宮州菲菲承委珮宮州ニ菲菲ト云ハ腰ヲカメ佩玉ヲ垂テアルニ委ト云ソレヲムソクリト受ルガ承ルデアル御座ノソフダキノ烟リハホソホソトタナフボツテイトフアラツメタ爐烟細細駐遊絲宣政殿ノ大庭ヲミレハ若草ガ非タト心ヨフエ出テアル委珮ト云ハ腰ヲカメ佩玉ヲ垂テアルニ委ト云ソレヲムソクリト受ルガ承ルデアル御座ノソフダキノ烟リハホソホソトタナフボツテイトフアラツメタ

侍臣緩步歸侍臣トハ吾ガコト云テ春ノ暖ハ景色ヲミテイルニハハツ時帰ルガセツ時分ニ左掖ヲ出テ青瑣ニ歸ル退食ニ歸ルモイツモ青瑣退食從容出每遲侍臣トハ吾ガコト云テ春ノ暖ハ景色ヲミテイルニハハツ時帰ルガセツ時分ニ左掖ヲ出テ青瑣ニ歸ル退食ニ歸ルモイツモ

紫宸殿退朝口號紫宸殿ノ御規式スニテ退朝スルキノ口ヲサニナリ

戶外昭容紫袖垂カ天子ノ御先ニ立テ紫ノ袖ヲタレ腰ヲカメテ二人ナガラ天子ノ御足元ヲフリ返テミナガラ朝儀ノ御規式ノアハ紫宸殿ニテ紫内ノケル雙瞻御座引朝儀紫宸殿ニ出御ノ趣ヲ云ハハハ

覆カ千官淑景移御始ク香ノニホヒガ春風ニヒルガツテ御殿中ニミチテ香ハニ居ル外ノ官ハタニニ花ガフリカツテアリ見テイルウチニ暖ナ朝日ノ景カ移ツテ高フ畫漏稀聞高閣報天顏アケ六ツヨリ以後ガ畫漏デ夜漏ニ對メ云漏刻ノアハ速シテキコヘヌト思フ有喜近臣知

宮州菲菲承委珮宮州ニ菲菲ト云ハ腰ヲカメ佩玉ヲ垂テアルニ委ト云ソレヲムソクリト受ルガ承ルデアル御座ノソフダキノ烟リハホソホソトタナフボツテイトフアラツメタ爐烟細細駐遊絲宣政殿ノ大庭ヲミレハ若草ガ非タト心ヨフエ出テアル委珮ト云ハ腰ヲカメ佩玉ヲ垂テアルニ委ト云ソレヲムソクリト受ルガ承ルデアル御座ノソフダキノ烟リハホソホソトタナフボツテイトフアラツメタ

侍臣緩步歸侍臣トハ吾ガコト云テ春ノ暖ハ景色ヲミテイルニハハツ時帰ルガセツ時分ニ左掖ヲ出テ青瑣ニ歸ル退食ニ歸ルモイツモ青瑣退食從容出每遲侍臣トハ吾ガコト云テ春ノ暖ハ景色ヲミテイルニハハツ時帰ルガセツ時分ニ左掖ヲ出テ青瑣ニ歸ル退食ニ歸ルモイツモ

紫宸殿退朝口號紫宸殿ノ御規式スニテ退朝スルキノ口ヲサニナリ

戶外昭容紫袖垂カ天子ノ御先ニ立テ紫ノ袖ヲタレ腰ヲカメテ二人ナガラ天子ノ御足元ヲフリ返テミナガラ朝儀ノ御規式ノアハ紫宸殿ニテ紫内ノケル雙瞻御座引朝儀紫宸殿ニ出御ノ趣ヲ云ハハハ

覆カ千官淑景移御始ク香ノニホヒガ春風ニヒルガツテ御殿中ニミチテ香ハニ居ル外ノ官ハタニニ花ガフリカツテアリ見テイルウチニ暖ナ朝日ノ景カ移ツテ高フ畫漏稀聞高閣報天顏アケ六ツヨリ以後ガ畫漏デ夜漏ニ對メ云漏刻ノアハ速シテキコヘヌト思フ有喜近臣知

宮州菲菲承委珮宮州ニ菲菲ト云ハ腰ヲカメ佩玉ヲ垂テアルニ委ト云ソレヲムソクリト受ルガ承ルデアル御座ノソフダキノ烟リハホソホソトタナフボツテイトフアラツメタ爐烟細細駐遊絲宣政殿ノ大庭ヲミレハ若草ガ非タト心ヨフエ出テアル委珮ト云ハ腰ヲカメ佩玉ヲ垂テアルニ委ト云ソレヲムソクリト受ルガ承ルデアル御座ノソフダキノ烟リハホソホソトタナフボツテイトフアラツメタ

侍臣緩步歸侍臣トハ吾ガコト云テ春ノ暖ハ景色ヲミテイルニハハツ時帰ルガセツ時分ニ左掖ヲ出テ青瑣ニ歸ル退食ニ歸ルモイツモ青瑣退食從容出每遲侍臣トハ吾ガコト云テ春ノ暖ハ景色ヲミテイルニハハツ時帰ルガセツ時分ニ左掖ヲ出テ青瑣ニ歸ル退食ニ歸ルモイツモ

紫宸殿退朝口號紫宸殿ノ御規式スニテ退朝スルキノ口ヲサニナリ

戶外昭容紫袖垂カ天子ノ御先ニ立テ紫ノ袖ヲタレ腰ヲカメテ二人ナガラ天子ノ御足元ヲフリ返テミナガラ朝儀ノ御規式ノアハ紫宸殿ニテ紫内ノケル雙瞻御座引朝儀紫宸殿ニ出御ノ趣ヲ云ハハハ

覆カ千官淑景移御始ク香ノニホヒガ春風ニヒルガツテ御殿中ニミチテ香ハニ居ル外ノ官ハタニニ花ガフリカツテアリ見テイルウチニ暖ナ朝日ノ景カ移ツテ高フ畫漏稀聞高閣報天顏アケ六ツヨリ以後ガ畫漏デ夜漏ニ對メ云漏刻ノアハ速シテキコヘヌト思フ有喜近臣知

宮州菲菲承委珮宮州ニ菲菲ト云ハ腰ヲカメ佩玉ヲ垂テアルニ委ト云ソレヲムソクリト受ルガ承ルデアル御座ノソフダキノ烟リハホソホソトタナフボツテイトフアラツメタ爐烟細細駐遊絲宣政殿ノ大庭ヲミレハ若草ガ非タト心ヨフエ出テアル委珮ト云ハ腰ヲカメ佩玉ヲ垂テアルニ委ト云ソレヲムソクリト受ルガ承ルデアル御座ノソフダキノ烟リハホソホソトタナフボツテイトフアラツメタ

侍臣緩步歸侍臣トハ吾ガコト云テ春ノ暖ハ景色ヲミテイルニハハツ時帰ルガセツ時分ニ左掖ヲ出テ青瑣ニ歸ル退食ニ歸ルモイツモ青瑣退食從容出每遲侍臣トハ吾ガコト云テ春ノ暖ハ景色ヲミテイルニハハツ時帰ルガセツ時分ニ左掖ヲ出テ青瑣ニ歸ル退食ニ歸ルモイツモ

紫宸殿退朝口號紫宸殿ノ御規式スニテ退朝スルキノ口ヲサニナリ

多ハ表ノ高閣ヨリ告ケ知ラスルガヤウナヤウスヲ御覽シテ天子ノ御キゲンヨイ 宮中毎出

御顔ヲ拜スルハ外サマノ者ハナラヌ此方ノヤウナ近臣バカリ知ルヲキヤ

歸東省會送夢龍集鳳池ニソレヨリ御規式ステ宮中ヨリ左省へ歸ルモ御頭

曲江對酒

苑外江頭坐不歸水晶宮殿轉霏微世ノ不遇ヲ憤ルノ曲江芙蓉花御

スミカマハズ歸ラズニル水晶ノ如クスキトラルヤウナ宮殿モホノカニ霏微トシテアルヤナイヤニト云心

ヲトメナミヤウスラ云訓解ノ註惡シ○リソハナ宮殿ノヤウナモノモ奉公ニ心ヲトメズステル氣ニ成テイルニ

イラヌト云 桃花細逐楊花落黃鳥時兼白鳥飛ソレヨリ桃花ヤ楊花ナドノ

ヤウスナリ 縱飲久拚人共棄懶朝真與世相違吾々大酒ヲ飲ラ世間ノ

イト思テ 未拂衣仕官ニ滄洲ノ赴カ遠クナルヤウニ思ハル○滄洲ハ仙人ノイルル處テアル○老イタルニテ思ヒ

ナナルナリ

九日藍田崔氏莊

老去悲秋強自寬興來今日盡君歡秋ハワカイ時サヘモノカナシニ今テ老去テイヨ

テミレハ興モ來リ面白ク成テ今日其元ノ家テ歡ラ 羞將短髮還吹帽笑倩旁人爲

正冠古ハ孟嘉落帽ノ時若イニ依テ風流ニ有タガ今吾ガ冠ヲ吹落サレテミタレバ直ニハダアタラ

水遠從千澗落玉山高並兩峰寒景ヲ述テ藍水ヨリ遠ク谷川ノ流ルヤラス面白

明年此會知誰健醉把茱萸仔細看今日コノマウ

望野野外ハ出テ蜀ノ西ノ方ヲ吐蕃ガ攻ルソレユニ三所ニ番手ヲ置テキツト守テイルヤ

西山白雪三城戍南浦清江萬里橋蜀ノ西山ノ方ニ雪ノ降

海內風塵諸弟隔天涯涕淚一身遙蜀ノ西ノ方ニ雪ノ降

惟將遲暮供多病未有涓埃

天涯ノ分ニ兄弟モチリクニ隔テラリ我ハハツト遠ク

テイルヨリ外ハナイスド露ナリ
程モ君へ御恩ヲ報スルハナラヌ
大カクノミデナ

ハテルデミタロデ
アラフ 跨馬出郊時極目不堪人事日蕭條
去リナカラ馬ニ乗テ郊外ヘ出テ
見ワタセハ速クハ三城近ク入

事百姓ノ家ナトモ日々サビレテクルヲ
ミテハカマハスニ置ガタイドフモ堪忍ナラヌ

登樓

高樓ニ間近ク花ノ咲テアルト云モ、八面
白イ筈デアルニ何ヲ云テモ今、萬方多難

ニシテ兵乱ノ砌ニ心ナラズ遠國ヘキテ
ミルコト面白ナク却テ心ヲ傷メル
錦江、春色來、天地、玉壘、浮雲變古今
錦江

ノアタリヨニレハ春色ハイツモ替ラズ来ルガ玉墨山ノ浮雲ヲ見
ル古今変態シテ大ニ替リハテタト王室ノ乱ノリヨ云フ

北極朝廷終ニ不改西山寇

盜莫相侵
北極ノ動カヌヲ以テ天子ノ御座ニ比ソ面白ライヒトル○天子ノ御座ト云テハ改メト云
コハナイモノユヘニタヒ都ヲ吐蕃ニ奪ヒタレト終ニハ取カヘシタ夫ルニ依テ西域ノ胡ノ

都ヘウチハト云フハ下ニイ寇盜^{ヤクザ}ノホド
侵シタト云テ都ヲフルコトハナイ歟侵ナ
可憐^{ムカシ}後主還祠^テ廟^ニ日暮聊爲^カ梁甫吟

見ハ笑ニナリ云云ノ先主照烈皇帝ノ廟ニ親カラ詣取タ大坂ノ国ヲ滅ビ天下ヲ人ニ奪ハシ後主劉禪モツニ祭ラレテアルト云モノハイコラ外聞ノワルイコトヤソレニツケテモ孔明ガコトヲ思ヒ出シ梁甫ノ吟

ヲスト云テ今コノ詩ヲ此ス実ハ後主ノヤウナ境ヲイハルカ廣ク和シテアルヲ以テ當時ノ風俗ニテテモナ
人カ高位ニ成テイルニ比ス

南方嶺外テ秋興ヲ八首作タ中四首又キ由シテアル杜子美カ詩ハツ
カトゴロオカイノデカツクヨイ情ヲハジキトウクエエアラサスコフモ

アラカト推量シテ
見ルヤウニ作ル
玉露凋傷楓樹林
巫山巫峽氣蕭森
時分ガラ秋ノユニ
白露アロジイテ楓

ノ葉モシホレテミハ巫山ノ十二
峯アリモサビ方ワテニユル

江間波浪兼天湧塞上風雲接地陰

巫峽ノ江水
ナドモ秋風

激シテ波が高クワキアリ巫少クハ自帝城、
アタリモ雲がヒツクテアルヤウミヘテクモリアリ
叢菊兩開他日淚孤舟一繫故園

心
去年モ此ノ処ニ來テ替々処テ菊ヲミルト思テ菊ノ花ヲ詠テ涙ヲ流シタガテ年ニ去年ノ通リニ菊ノ
花ヲミテ泣ク去年ノ処テ孤舟ヲカリ。ヲ処ニツナイテヨイタカ今年モ孤舟ヲツツニ去トメテゾイ

テ乗り出シテ故郷へ歸ルト云フモ
ナサウチト云ヒスマオ分面自イ
寒衣處處催ス刀尺白帝城高急暮砧
今嚴毛秋

ノ末イニエ方々テトリイツイテ綿入レノ仕度ヲスル。白帝城ノ高い処テハ、暮相ガゲニ別ニテセワシク碣
ヲウツガツレヲキクニツケテモ、旗ノアワレヲヒキヲコス

一一

樓ニ登テ曉方夢州ノ山城ノワリニ家ヲ
アル処ヲミレバイカウヒツフリトミ樓ガ

江ノ岸ヅタイノ樹ノシゲツタ中ニ建テアルニ依テ翠微ト云ツレハ毎日
來テツクリトシテニテイル以下ニ句此テ目々樓ヨリ江水ヲミル景ヲ云

信宿漁人還泛泛

清秋燕子故飛飛
昨夜カヲ居ル漁人カヤツバリテ夕舟ニ乗テ浮ミアルクト云テシタ心ハ吾モア
ノ漁舟ノ如ク旅中ニウロタヘテイル秋ニナルト撫ハ南国へ歸ルモノナカガ秋

ノス清秋^{ノス}テナラマダ燕^{ノス}ノ飛^{ノス}ト我^{ノス}カキヤウ^{ノス}カ
身^{ノス}ノ故郷^{ノス}ヘカエラヌニ比^{ノス}シテ云フ 匡衡^{ノス}抗^{ノス}疏^{ノス}功名^{ノス}薄^{ノス}劉向^{ノス}傳^{ノス}經^{ノス}心事^{ノス}違^{ノス}漢^{ノス}
匡衡^{ノス}ハ元帝^{ノス}ノ時^{ノス}ニ上^{ノス}疏^{ノス}シテ功名^{ノス}モ高^{ノス}カタガオレモ上^{ノス}疏^{ノス}スバシタケレ^{ノス}功名^{ノス}モサタモナ^{ノス}イ劉向^{ノス}宣帝^{ノス}ノ時^{ノス}
經^{ノス}書^{ノス}ヲ傳^{ノス}テ名^{ノス}ヲアラワレタガ吾^{ノス}モ若^{ノス}イ時^{ノス}分^{ノス}カラ經^{ノス}術^{ノス}ヲ傳^{ノス}タケレ^{ノス}功名^{ノス}モアラワレ^{ノス}若^{ノス}イ時^{ノス}ノ心^{ノス}ハ
心^{ノス}タイコウチカ^{ノス} 同學^{ノス}少年^{ノス}多^{ノス}不^{ノス}賤^{ノス}五陵^{ノス}衣^{ノス}馬^{ノス}自^{ノス}輕^{ノス}肥^{ノス} 若^{ノス}イ時^{ノス}分^{ノス}ニ同^{ノス}ク學^{ノス}門^{ノス}ヲ
テキタ 立身^{ノス}シテ五陵^{ノス}アタリノ歷^{ノス}タノ富貴^{ノス}ナ者^{ノス}ニ
成^{ノス}テイルニオレハ此^{ノス}ノヤウニウロタヘテイル

三

玄宗^{ノス}ノフヲ思^{ノス}ヒ出^{ノス}シテ述^{ノス}ルバカリデ
別^{ノス}シテ諷^{ノス}スルノデハナ^{ノス}イ

蓬萊^{ノス}宮闕^{ノス}對^{ノス}南山^{ノス}承露^{ノス}金莖^{ノス}霄漢^{ノス}間^{ノス} 蓬萊^{ノス}ノ宮殿^{ノス}ハニ向^{ノス}テ終南山^{ノス}ニ對^{ノス}シテ
ニズツト出^{ノス}テアリ必^{ノス}竟^{ノス} 西望^{ノス}瑤池^{ノス}降^{ノス}王母^{ノス}東來^{ノス}紫氣^{ノス}滿^{ノス}函關^{ノス} 玄宗^{ノス}ノ時^{ノス}分^{ノス}ニハ自^{ノス}
御殿^{ノス}ノ高^{ノス}イヲキカセタ^{ノス} 御望^{ノス}ニサレト直^{ノス}ニ西王母^{ノス}ガ下^{ノス}リ東^{ノス}ノ方^{ノス}紫氣^{ノス}ガ 雲移^{ノス}雉尾^{ノス}開^{ノス}宮扇^{ノス}日繞^{ノス}龍鱗^{ノス}識^{ノス}
立^{ノス}テ老子^{ノス}ノ下^{ノス}ラレタト云^{ノス}是^{ノス}レ實事^{ノス}ヲ云^{ノス}フ 天子^{ノス}ノ龍顏^{ノス}ヲオホフ外^{ノス}ノ雲^{ノス}ヲ如^{ノス}クナル雉尾^{ノス}扇^{ノス}ヲ百官^{ノス}ノ朝儀^{ノス}ノ時^{ノス}ハワキ去^{ノス}レニ依^{ノス}テ其^{ノス}時^{ノス}ハ天子^{ノス}ノ
聖顏^{ノス} 袞龍^{ノス}ノ御衣^{ノス}ヲメシテゴザル御姿^{ノス}ガ朝日^{ノス}ノ霧^{ノス}ヲ開^{ノス}イテ出^{ノス}ル如^{ノス}クキラク^{ノス}ス聖顏^{ノス}ヲ拜^{ノス}シテ有^{ノス}タ
一臥滄江^{ノス}驚^{ノス}歲晚^{ノス}幾回^{ノス}青瑣^{ノス}點^{ノス}朝班^{ノス} 今^{ノス}ヲ去^{ノス}ヒテ滄江^{ノス}ニ卧^{ノス}シテイルニツイテ
我^{ノス}モ昔^{ノス}シハ度々朝參^{ノス}ノ郎官^{ノス}ノナニニチヨ^{ノス}イ
加^{ノス}テイタ^{ノス}ヲモ有^{ノス}タガコノヤウニモヲモヒルモノカナ

四

昆明池水漢時功武帝旌旗在眼中^{ノス} 都^{ノス}ノフヲ思^{ノス}ヒヤツテ昆明池^{ノス}ハ漢武^{ノス}ノ時^{ノス}ニ
ヲ唱^{ノス}セラレタメ目^{ノス}ニ見^{ノス}レヤ^{ノス}デ 織女^{ノス}機絲^{ノス}塵^{ノス}夜月^{ノス}石鯨^{ノス}鱗^{ノス}甲動^{ノス}秋風^{ノス} 池^{ノス}中^{ノス}ニ
アルト玄宗^{ノス}ノ御^{ノス}在^{ノス}位^{ノス}ノ時^{ノス}ニ比^{ノス}ス 秋風^{ノス}ニ動^{ノス}テアルテ^{ノス}ラガ乱^{ノス}後^{ノス}ノ^{ノス}ニ誰^{ノス}モ手^{ノス}サス者^{ノス}モアルマイ 波漂^{ノス}菰^{ノス}米^{ノス}沈^{ノス}雲^{ノス}黑^{ノス}露^{ノス}冷^{ノス}
女^{ノス}ナトモ誰^{ノス}見^{ノス}ル者^{ノス}モナク空^{ノス}クウチス^{ノス}アルテアラフ又^{ノス}石鯨^{ノス}ノ^{ノス}モ 蓮房^{ノス}墜^{ノス}粉^{ノス}紅^{ノス} 昔^{ノス}ハ菰^{ノス}ナドモ人^{ノス}カ取^{ノス}タガ今^{ノス}ハ大方^{ノス}波^{ノス}ニタ^{ノス}ヨラテ底^{ノス}ヘ沈^{ノス}ニシタ^{ノス}クロニ雲^{ノス}ノヤウニナツ
蓮房^{ノス}墜^{ノス}粉^{ノス}紅^{ノス} テアルテアラフ蓮^{ノス}子^{ノス}ト赤^{ノス}フ咲^{ノス}テアルノモ誰^{ノス}トモモナク空^{ノス}ク散^{ノス}テシ^{ノス}アラフ 關塞^{ノス}極^{ノス}天^{ノス}惟^{ノス}鳥道^{ノス}江湖^{ノス}滿^{ノス}地^{ノス}一漁翁^{ノス} 我^{ノス}蜀^{ノス}ヘ來^{ノス}テ關塞^{ノス}ノ鳥道^{ノス}ヲ隔^{ノス}シテ江湖^{ノス}
ニナリ切^{ノス}テイル^{ノス}コニ昆明^{ノス}ノ勝^{ノス}ヲミル^{ノス}コモナラ又^{ノス}極天^{ノス}ト云^{ノス}ハ 天^{ノス}ノカ^{ノス}ラハテキテイル意^{ノス}ナリ道^{ノス}ノ遠^{ノス}イ^{ノス}コニナル

吹笛

夔州^{ノス}ニ居^{ノス}テ吹笛^{ノス}ヲ聞^{ノス}テ關山^{ノス}
月折楊柳^{ノス}ナドノ曲^{ノス}ヲ作^{ノス}ル

吹笛秋山風月清誰家巧作斷腸聲^{ノス} 秋^{ノス}ノ^{ノス}ニ風^{ノス}月^{ノス}モサ^{ノス}ハ寒^{ノス}ヲ清^{ノス}フアリ何^{ノス}者^{ノス}
カハ知^{ノス}ラヌガサリトト手^{ノス}ニ入^{ノス} 風飄^{ノス}律呂^{ノス}相^{ノス}和^{ノス}切^{ノス}月^{ノス}傍^{ノス}關山^{ノス}幾處^{ノス}明^{ノス} 起^{ノス}句^{ノス}風^{ノス}ノ字^{ノス}
ヲ悲^{ノス}シシヤウニ吹^{ノス}テアル 拍子^{ノス}ヨク間^{ノス}近^{ノス}クキコルコノ夜^{ノス}ハ月^{ノス}ガトモカモ明^{ノス}ラカニアラフ 胡騎^{ノス}中宵^{ノス}堪^{ノス}北走^{ノス}武陵^{ノス}一

曲想南征

昔漢ノ馬援が南征シタ時門人哀奇生ト云者か吹ク笛ヲ馬援カキイテカナンシテ
武溪深曲ト云ヲ作テ和シタト云フカ
故園楊柳今揺落何得愁中却盡生

ノコニ故園ノ楊柳モ枯レテシマフ時分テアル今ヲ折楊柳ノ曲ヲ吹クヲキケハ楊柳ガハエ出ルヲウニ
思ハレテ頗リニ故郷ヲ思出シテ悲シク成テクル

閣夜

此時夔州ニ居テ城樓ノ閣
（登テ乱世ヲ悲シテ作ル）

歲暮陰陽催短景天涯風雪霽寒宵

歲ノクレニ晝夜モ短フセハシフ移ル
時分テ天涯ノ風雪トコモカモ晴レ渡

テサハ寒

五更鼓角聲悲壯三峽星河影動搖

今ニコラモサワキガ止ヌ
番手ノ陣屋テ鼓角ノ声

カ物悲シウキコニ三峽アタリノサハサビタ空ヲ望ミ見ハ星影ガキラウウイテ
物サビシク漢武ノ時星辰影動搖ス東方朔云民勞之應。星字分河字三用イ

野哭千家聞

戰伐夷歌幾處起漁樵

今ニ戰カ止ヌ方々テ討死ヲシタ者カ多イニ依テ野ニ哭ス声
カキニ家ヲ死タ者ハ家ヲ哭ス戰場テ討死ヲシタトコヲ死シ

タヤラ死ヌレシヌモノハ野哭スルコノアタリハ大方夷ニ奪ビテ
アルコノアタリコノ家ヲモ夷歌ヲウタヒス

臥龍躍馬終黃土人事音

書漫寂寥

カワリハテタヲミツク思ニ忠臣ノ卧龍モ謀叛人ノ公孫述カ此ノ外ニ馬ヲ躍ラセテ自
帝ト稱シタモ皆土ニ成テシマフタ其レニツケテモナニヤカヤ人事故郷ノヲトゾレナドモ

漫ニドナラフガカハズ
寂寥ト打ステヲク

ヒキレウ

返照

返照ト云題テ作タデハナク晚景ノ西ヨリサスミテ
見ワタス処ノ景ヲ作タモノニハニ迹カフ置タ題チヤ

楚王宮北正黃昏白帝城西過雨痕

コ外ハ昔楚ノ襄王ノ巫山ノ神女ヲ戀
ヒ慕シタガ有タト云ニ依テ詠メテ

レハチヤウド日ノクルヤウニアル實ハ日ノクルレノデハナクテ
雨クモリテアル西方白帝城アタリヲ雨降テ通レハ

返照入江翻石壁歸雲擁樹

失山村

直ニ夕日ガ江ニサレシテ石壁ノ影ガ江中ヘサカサマニサレシテ見カト思ハ襄王ノ花
ニ官アタリニ植テアル樹木ヲ雲ガトリコメテ山村ヲ見失フヤウア生ト通リ景色ヲ述

年病肺惟高枕絕塞愁時早閉門

今ハ年寄テ病アリ元トノ身テハナイニ依テ
只寐テバカリイ此ノ多ク絶塞ニ來テイルモ

世ノ乱レタニト思テ秋ヲ愁テマ日ノクレヌ
ウチカ多ク門ヲ掩イ塞イテイル

不可久留豺虎亂南方實有未招

カヤチ豺狼虎ヤウチ惡人カ大勢イテ乱ラ起ヌ外ニ留ルモノテハナイニハ歸ラフトハ思フケ能度ヤ
魂カ乱ガミイテ魂カ散タカラ招テカエラ子ハ歸ラヌ

登高

風急天高猿嘯哀渚清沙白鳥飛迴

秋ノ末九月ノコニ風モバデシク荒ラモス
ミノホリ寒イニ猿モ物悲フ嘯キ殊

ニ鳥ガ川岸通リヤ川ノ中ナドヲ食物ヲ求
メテニテアルイテモ何モナイニハニ飛迴ル

無邊落木蕭蕭下不盡長江衮衮

向ヲミレハ山モ峯モ一面ニ木ノ葉ノチル音カモ寒シキコヘテ
江水カ不尽ニ常佳ダニ流ル衮々水ノ不絶負ナリ

萬里悲秋常作客百年

吾方身ハ萬里ヲ隔テ、來年モクルレモ旅客ト成テイ生ニシ秋ノ
氣色毛物悲シク一生病方リ他國ニイハレ伴フ者モナク只トリ樓ニ登
艱難苦

カウノ艱難六カリ出逢ニ頭モニ自ナリ老衰ニ酒ヲ止メ
タレバヨク氣晴レニマナテ潦倒ニ落魄ノ身

錢起

二月の春々盛リニ鶯ナトカ鳴飛テ
上林毛陰々トクモリワ々ツテニハル
長

長樂宮ノ曲輪ナドモ花ガサカリニ咲テアサ中ヨリ
キコエテクル時ノ鐘ノ声分夜アケル時ヲツキシメタモ

陽和不散窮途恨
霄漢長懸捧日心

散^ルフウタモナ^ル三^三方^方コ^コ不^不仕^仕合^合ニ^ニキ^キツ^ツカ^カ
ニ^ニモ^モナ^ナイ^イス^ス天^天子^子御^御仕^仕申^申ス^スイ^イ上^上心^心ハ^ハ絶^絶タ^タ 齎^齎 賊^賊 十^十年^年 猶^猶 未^未 遇^遇

我々文章ヲ天子へ御覽ニ入テモ久シイヲヤカテ御上リテモナク慮ヨル
テ役替モセスイルヲ白髮ヲ以テ聲々ニ對スル上云ハ耻カシイヲチャ

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

禁裏大庭上下昨夜降夕雪ガ今御規
式凡処デミルユ天子ノ御恩ヲウケテ雪

長信月留寧。避曉宜春花。

西ノ方長信宮ノ上ヘ降テアル雪ガ月イ如クミツ白クヤリ曠ノ日ミテ面自ラ
ミヘ宜春苑ハ花ノ如ク雪ヲ滿チアレ本ヨリ花テナイユ香イカ飛バマ 獨省積素

禁裡ノ立並ニテアル御殿ヘフリツンテアル氣色ハ独カクツ
リツニ見ル雪ハイコソツメタイモト覺テイタニテ目ハ

元ヨリ其元
ハ桂ニ題セラ

ル上云々ニ名高一人テ殊ニ雪ヲ詠セラレタ詩モ勝レタル絶唱デアル然レ古今ニ並ナイ風流男トイワ
ル漢ノ田鳳ニ相ゾクモハ誰レデアラフコナタナラデナイ

一 鞏洛ヨリ舟テ
乘リ下シ北ノ方

韋應物

鞏洛西方八十里谷深不可測也東
二百里乘車出之三十里東南三山多石

北ヲ望ミ見レハ遠イ山タノ極木
尾ガサヒクト天ノホトリニアルヤ

孤村幾歲臨伊岸一雁初晴下朔風

爲報洛橋遊宦侶扁舟

易ニ知ニ言々ニ言解ニ言々ニ言此ノ誤ヲ作テ審友ニ送ルテカダミ洛陽ノ友々ニ云テ下サレ吾カバドミ落付ト云外ナク乗リ出シタ丹ノ如クテイル

飲馬泉ノヤウスヲ見ル川ハ多通リノ揚柳ガ糸ヲタレテ水ニキ草ナドモミキリト 幾處吹茹明月夜

何人倚劍白雲天 コハルテ朝兒ハ月夜ニ節ヲタリテ六物哀ナクテアリクハ音ヲ思ヒヤツテ云サテコ、ハ何者ガ番手ニミナリ有タス只一フリク劍ヨリカワテ秋ノ空ヲ茹ヲク音ヲモ

從來凍合關山道 今日分流漢使前 去年冬通タリハコハルモ水ガメニハツテアリサヒカツタカ今キミハ春

莫遣行人照客髭 恐驚憔悴入新年 フミカトケテ暖ムル漢使ト御用デ通ルニ手前ヲサシテ云フ

登柳州城樓寄漳汀封連四州刺史 テイテ心易イ四人ノ者モ四州ノ刺史ニ成テイ生ニ皆同シ心テアラフト云赴ヲ作テ寄スルナリ

城上高樓接大荒 海天愁思正茫茫 吾ガイル柳州ノ高樓ヨリ向ヲ見ワタタ

驚風亂颭芙蓉水 密雨斜侵薜荔牆 カ茫々トテシモナクミル吾ガイル愁思モ天ノテシモナクミル如アル

嶺樹重遮千里目 江流曲似九迴腸 ノ水ナル芙蓉ナド吹動シテ通り晴レ間モナク

共來百粵文身地 賜ニ故郷ヤ其元タチノイル方ヲ望ミ見ヤウト思テモ嶺樹ガイクエモ目ヲ遮テ

猶自音書滯一鄉 皆カヤツニ東ノ地流サモニ成テ遠ク隔テイルニ狀文ノ便リスラ一遍トミツテ

秦和庫部盧四兄曹長元日朝廻 思ヤウ手ヲタレバミテ相見ク分ラヌ旨粵文身ハ壯子ノ字ニクノ夷ノヲ云

韓愈

天仗宵嚴建羽旄 春雲送色曉雞號 イルウウニテイイル中ニ雲ナドモ段々アカルウ成テ夜アケノ雞モナキ

金爐香動螭頭暗 玉佩聲來雉尾高 出御ハ知レレ曉方イニ天子ノ御面ニ又螭頭階下ノ切右ノカヲテ龍ノ貌ニシタルヲ云ナリ

承北極 儒冠列侍映東曹 天子ノ朝儀ノ間佩玉ヲナラシテ出御ナサルカキニ又雉尾ヲ以テ玉顏ヲ掩テイイルガ見ヘル

太平時節身難遇 郎署何須笑二毛 ソウスルト北面ノ武臣ガ我服シテ走リ向ヘヒキミイテ護衛シテアリ文官ハ冠ヲソラ子テ東ノ方ヨリ西ノ方ヘヒキミイテ南

面シテイイルヤウ スヲ云トミル

太平時節身難遇 郎署何須笑二毛 ニハ御不足カナクニ立身モナリニクイ因テ郎署ニヲラカヤウナラヤチガ役替モセズニイルモ笑フハナイト云テ笑ハ手前ノ不遇ヲイタムデアアルニ毛ハ左傳ニアリ

唐詩國字辨卷之五終

唐詩國字辨卷之五終

唐詩國字辨卷之五終

唐詩國字辨卷之五終

唐詩國字辨卷之五終

唐詩國字辨卷之五終

唐詩國字辨卷之五終

唐詩國字辨卷之五終

唐詩國字辨卷之五終

唐詩國字辨卷之五終

五言古七言古五絕七絕出來

明和七年寅七月

京室町通六角通下町 書林田原勘兵衛梓

